B1WY-0351-01

Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-5510 ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
ESC/P、ESC/Pageは、セイコーエプソン(株)の登録商標です。
VP-1000、LP-8000Sは、セイコーエプソン(株)の商標です。
PC-PR201、PC-9800シリーズ、PC-9801、PC-9821は、日本電気(株)の商標です。
IBM PS/55シリーズ、PS/Vシリーズは、米国International Buisiness Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntranetWare、NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。
AdobeおよびAcrobatは、アドビシステムズ社の商標です。

All Rights Reserved, Copyright © 1998 富士通株式会社

●ＶＣＣＩ適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。
国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。
対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-5510をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは、最大16枚／分（A4サイズ横用紙）の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

1998年5月

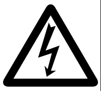
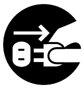
本文中の略語について

Microsoft® Windows® operating system Version 3.1は、本文中ではWindows 3.1と表記しています。
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0/Version 3.51は、本文中ではWindows NT4.0/NT 3.51と表記しています。
Microsoft® Windows® 95 operating systemは、本文中ではWindows 95と表記しています。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してます。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

◆プリンタ設置および移動時のご注意

⚠ 警告

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、6.5Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

⚠ 警告

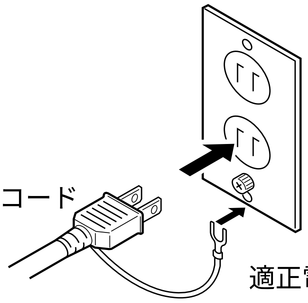
風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

- **電源コンセントのアース線**
- **銅片などを650mm 以上地中に埋めたもの**
- **接地工事（第３種）を行っている接地端子**

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

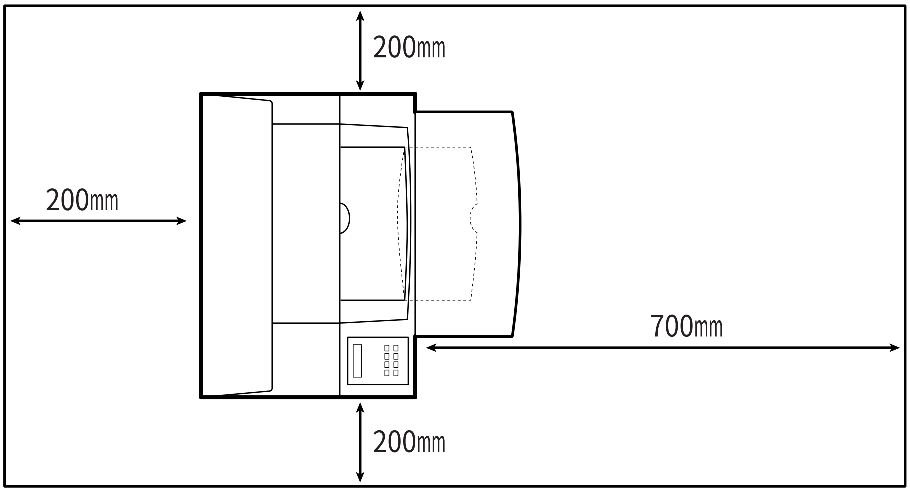
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200mm 以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な400mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタは、重さ約34kg（フルオプション、消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

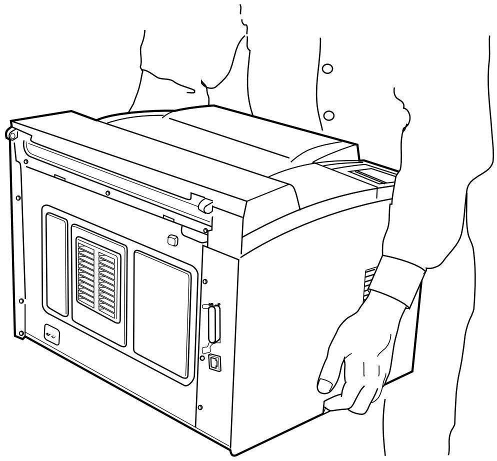
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約18kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタの正面を体の方に向け、底部の取っ手を両手でしっかりと持ってください。必要に応じて２人で持ち運んでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



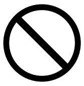
プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

◆プリンタ使用時のご注意

⚠ 警告



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

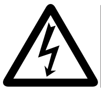
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターに修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。
けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。

・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。

・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。

・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。

・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラーが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

◆プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意

⚠ 警告

プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、設定値の変えかた、日常の保守のしかたなどについて説明します。
本書は、プリンタの設置や操作について説明する「プリンタ編」と、プリンタドライバのインストールおよび添付のユーティリティについて説明する「ソフトウェア編」からなります。

【プリンタ編】

目　次	内　容
第1章　お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第２章　用紙について	プリンタで使用できる用紙と、用紙の保管のしかたについて説明します。
第３章　プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順の概要について説明します。
第４章　外部との接続	添付品の取り付けかたやケーブル類の接続について説明します。
第５章　日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します。
第６章　オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第７章　設定値を変える	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第８章　こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
第９章　オプションの取り付け	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
付　録	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

【ソフトウェア編】

第４章～第８章(　　　部)は、PDF形式のソフトウェアマニュアルで提供しています。ソフトウェアマニュアルについては、「ソフトウェアマニュアルの使いかた」((14)ページ)をご覧ください。

目　次		内　容
第１章	インストールの概要	添付のCD-ROMに収められたソフトウェア類の概要と、これらのインストールの概要について説明します。
第２章	Windows 95/3.1 プリンタドライバのインストールと設定	Windows 95/3.1の動作するパソコンへの、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
第３章	Windows NT4.0/3.51 プリンタドライバのインストールと設定	Windows NT4.0/3.51の動作するパソコンへの、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
第４章	Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ	サーバに接続したプリンタの状態や制御をクライアント側で行えるようにするユーティリティのインストールと設定方法について説明します。
第５章	Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ	プリンタをLAN経由で利用するために必要な設定をパソコン側で行えるようにするユーティリティのインストール方法と設定方法について説明します。
第６章	Printianavi ネットワークポートモニタ	プリンタをLANで接続してパソコンから直接印刷できるようにするユーティリティのインストール方法と設定 方法について説明します。
第７章	Windows NT3.51からのLPR印刷の設定	Windows NT3.51が動作するパソコンをプリントサーバとしたときに、LPR印刷を行うのに必要な設定について説明します。
第８章	NetWare印刷の設定	NetWare環境でプリンタを使用するときに必要な設定について説明します。
付　録		各ユーティリティのインストールの概要や、Printianavi使用中に表示されるエラーメッセージの内容について説明します。

本書の用語

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い　本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

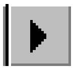
ガイド　本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

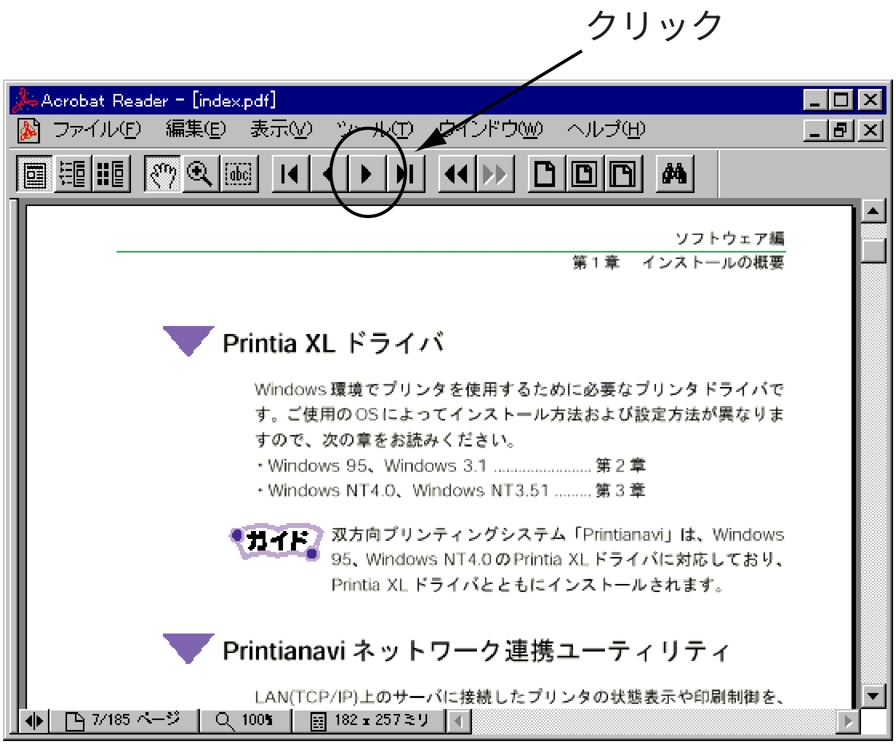
ソフトウェアマニュアルの使いかた

「ソフトウェア編」の第４章～第８章は、ソフトウェアマニュアルという名称のPDF形式のファイルで提供しています。PDF形式のファイルは、添付のAdobe Acrobat Reader 3.0Jで参照できるようになっています。

◆ Acrobat Reader 3.0J の基本操作

ここでは、オンラインマニュアルを利用するために必要な操作や便利な機能を簡単に紹介します。

をクリックすると、次のページを表示します。

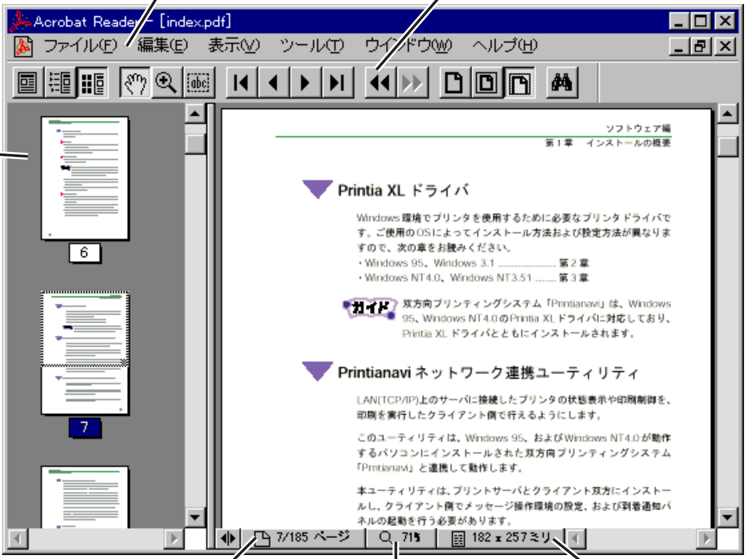


Acrobat Reader 3.0Jを使用すると、次のような画面が表示されます。ボタンをクリックして、必要な操作を行ってください。

メニューバー1
プルダウンメニューからさまざまな操作を行うことができます。

ツールバー
ボタンをクリックするだけで、拡大などの操作が行えます。詳細は、次ページを参照してください。

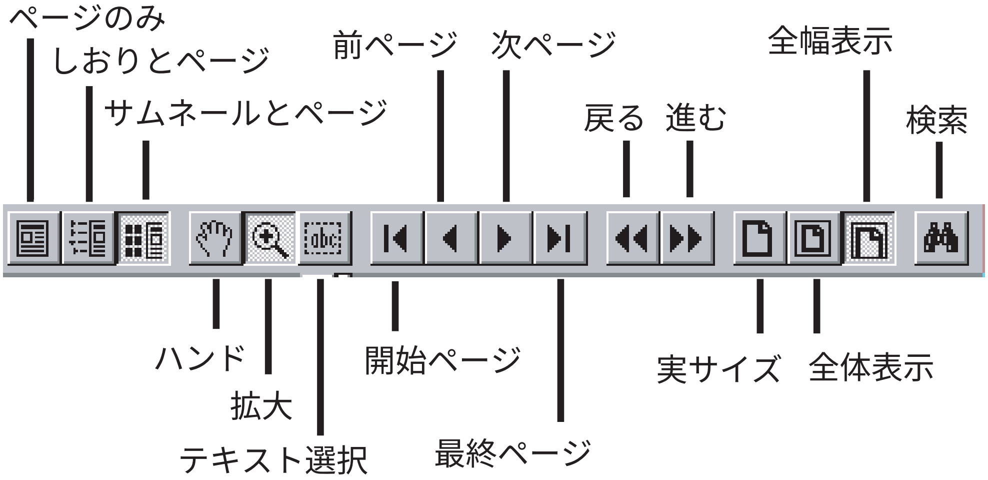
サムネール
ページ全体のイメージです。
ツールバーにある[サムネールとページ]ボタンを選択すると、表示されます。
しおり機能が設定されている場合は、サムネールの代わりにしおりを表示することもできます。



ページ指定
任意のページを表示させることができます。

表示倍率
任意の倍率を入力するか、プルダウンメニューから選択して画面の表示倍率を変更できます。

用紙方向と用紙サイズ
通常は、ファイルの用紙方向と用紙サイズが表示されています。ここをクリックすると、ページの表示方法を変更できます。「2コラム」を選択すると、ページを見開きで表示できます。



ページのみ .... ページだけをウィンドウに表示します。

しおりとページ......
サムネールとページ ウィンドウの左側にしおりまたはサムネールを表示します。しおりの見出しやサムネールをクリックすると、そのページを表示することができます。

ハンド .... 表示方法を「コラム」や「拡大表示」に設定している場合に有効です。このボタンを押すと表示されるカーソルで画面をドラッグすると、表示する位置を変更することができます。

拡大........................ このボタンを選択後、拡大させたい箇所をドラッグして囲んだり、ページ上の任意の場所をクリックしたりすると拡大表示します。同じ操作を繰り返すと、最大800%まで拡大します。

テキスト選択 .... ページ上のテキストを選択します。

開始ページ............ 開始ページへ移動します。

前ページ .... 前ページへ移動します。

次ページ .... 次ページへ移動します。

最終ページ............ 最終ページへ移動します。

戻る、進む............ 1つ前の状態に戻したり、それを取り消したりします。

実サイズ .... 100%の倍率で表示します。

全体表示 .... ウィンドウいっぱいにページを表示します。

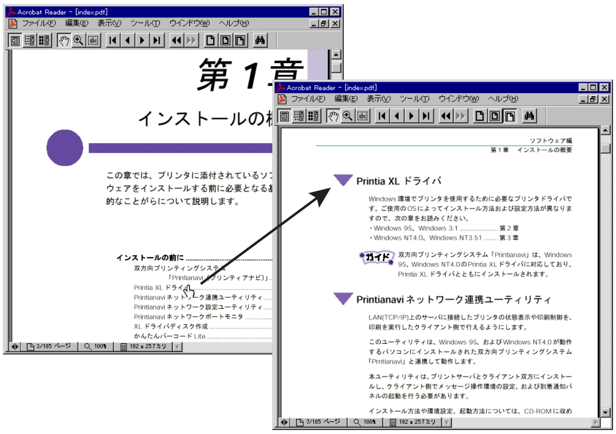
全幅表示 .... ページの幅いっぱいにウィンドウに表示します。

検索........................ ファイル内の文字を検索します。文字がグラフィックイメージになっている場合、この機能は使用できません。

◆ Acrobat Reader の便利な機能

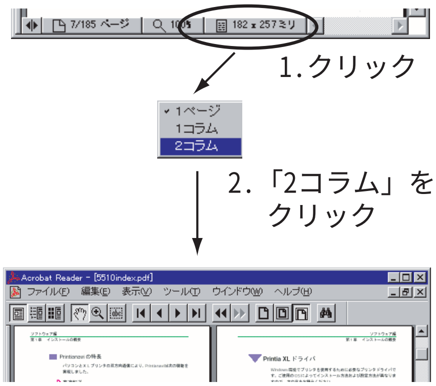
印刷

オンラインマニュアルを印刷する場合は、〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択し、〔印刷〕ダイアログボックスで印刷部数や印刷する範囲を指定します。



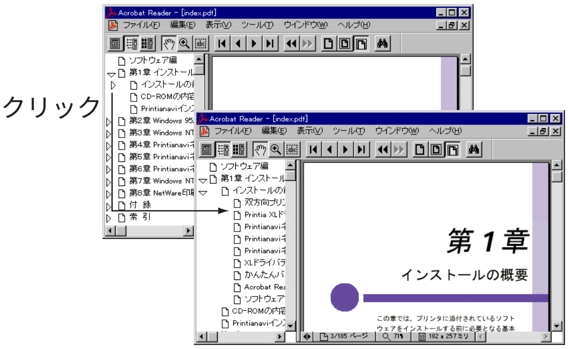
リンク

リンクとは、設定されているページにジャンプする機能です。マウスポインタが👆に変わる場所をクリックすると、リンク先のページを表示します。



見開き表示

〔用紙方向と用紙サイズ〕をクリックして「2 コラム」を選択すると、ページを見開きで表示します。



しおり

見出しをクリックすると、そのページを表示します。▷が表示されている場合、そこをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

目 次

はじめに **1**
本文中の略語について **1**
●警告表示マークについて 1
安全上のご注意 **2**
◆プリンタ設置および移動時のご注意 2
◆プリンタ使用時のご注意 6
◆プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意 10
本書の構成 **11**
本書の用語 **13**
ソフトウェアマニュアルの使いかた **14**
◆ Acrobat Reader 3.0J の基本操作 14
◆ Acrobat Reader の便利な機能 17

プリンタ編

第 1 章　お使いになる前に 3

製品の確認(梱包されている製品) **4**
本プリンタの特長 **5**
各部の名称と機能 **6**
いろいろな印刷のしかた **9**
Printia XL ドライバで印刷する 9
エミュレーションモードで印刷する 9
コマンドでエミュレーションモードを切り替える 10
エミュレーションモードを使う上での留意事項 11
オプション品 **13**
サプライ用品 **15**

第 2 章　用紙について 17

使用できる用紙 **18**
使用できない用紙 **20**
用紙の保管上のご注意 **21**

第 3 章　プリンタの設置 23

設置上のお願い 24
プリンタの寸法 25
設置手順 26

第 4 章　外部との接続 29

パソコンとの接続 30
LAN 経由の接続 32
パソコンと接続するときの留意事項 34
電源コードの接続 36

第 5 章　日常のメンテナンス 39

電源の投入と切断 40
用紙のセット 42
給紙トレイに用紙をセットする 42
給紙カセット(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする 44
オプションの給紙カセット(A4・500 枚)に用紙をセットする 49
プロセスカートリッジの交換 52
プロセスカートリッジを取り外す 55
プロセスカートリッジを取り付ける 56
プロセスカートリッジの取り扱いと保管 59
取り扱い上のご注意 59
保管上のご注意 59
印刷濃度を調整する 60
プリンタの清掃 62
プリンタ外部の清掃 62
プリンタ内部の清掃 63
プリンタを長時間使用しないとき 64
プリンタを移動するとき 65
近くに移動する 65
梱包して運搬する 69

第 6 章　オペレータパネルの操作 71

液晶ディスプレイの表示内容 72

オペレータパネルを操作する 74

オンライン状態とオフライン状態を切り替える 74

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える 74

縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する
(メニュー印刷設定モード) 77

プリンタをリセットする 81

印刷を中止する 81

未印刷データを強制的に印刷する 82

第 7 章　設定値を変える 85

セットアップ項目について 86

メニュー印刷 ～ 設定内容を印刷する 86

テスト印刷 ～ テスト印刷をする 86

エミュレーション設定 ～ 動作モードを切り替える 87

印刷設定 ～ 印刷のときの設定を変える 87

EP モード設定 ～ ESC/P モードの印刷条件を設定する ... 89

EG モード設定 ～ ESC/Page モードの印刷条件を設定する 91

PC モード設定 ～ PC-PR201 モードの印刷条件を設定する 92

環境設定 ～ 日常の操作に必要な設定値を変える 95

補助機能設定 ～ 補助機能を設定する 97

登録 ～ 設定値を登録する 102

保守モード ～ 保守モードを設定する 102

設定の変更手順(セットアップの操作方法) 103

基本的な操作 103

選んだ項目に設定する操作 103

数値を設定する操作 105

メニュー印刷やテスト印刷を行う操作 105

HEX ダンプ印刷を行う操作 106

セットアップ項目一覧 107

第 8 章　こんなときには 115

故障かなと思ったとき 116

紙づまりになったとき 118

紙づまりの取り除きかた 119

印刷品質が低下したとき 124

エラーメッセージが表示されたとき 128

第 9 章　オプションの取り付け 131

オプション取り付け上のご注意 132

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた 132

プリンタ RAM モジュールを取り付ける 133

プリンタ RAM モジュールを取り外す 135

拡張給紙ユニットの取り付けかた 136

拡張給紙ユニットを取り付ける 137

拡張給紙ユニットを取り外す 139

付録 141

プリンタの仕様 142

基本仕様 142

インタフェース仕様 143

用紙関係 144

コマンド（機能コード）一覧 146

ESC/P モードコマンド一覧表 146

ESC/Page モードコマンド一覧表 148

PC-PR201 モードコマンド一覧表 151

キャラクタコード一覧 153

ESC/P モードキャラクタコード一覧表 153

ESC/Page モードキャラクタコード一覧表 154

PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表 158

ＪＩＳ-90 第一水準漢字一覧表 161

ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表 164

ＪＩＳ漢字コードについてのご注意 167

アフターサービスについて 172

ソフトウェア編

第 1 章　インストールの概要 3

インストールの前に 4

双方向プリンティングシステム「Printianavi（プリンティアナビ）」.......... 5
Printia XL ドライバ 7
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ 7
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ 8
Printianavi ネットワークポートモニタ 10
XL ドライバディスク作成 10
かんたんバーコード Lite 11
Acrobat Reader 3.0J（アクロバットリーダー）................ 11
ソフトウェアマニュアル 12

CD-ROM の内容 13

Printianavi インストーラ 14

第 2 章　Windows 95/3.1 プリンタドライバのインストールと設定 15

Windows 95 の場合 16

Plug & Play によるインストール 16
通常のインストール 21
新しいドライバに置き換えるとき 26
プリンタドライバの設定 27
設定画面の表示 31
設定項目の詳細 32
アプリケーションソフトから印刷するときの設定 47

Windows 3.1 の場合 50

インストール 50
プリンタドライバの設定 53
設定画面の表示 55
印刷の設定 55

第３章　Windows NT4.0/3.51 プリンタドライバのインストールと設定 59
Windows NT4.0 の場合 60
インストール 60
新しいドライバに置き換えるとき 64
プリンタドライバの設定 65
Windows NT3.51 の場合 70
インストール 70
プリンタドライバの設定 73

付　録　.. 75
プリンタ接続形態別のインストール手順 76
セントロ接続（プリンタを共有しない形態）........................ 76
LAN 接続（プリントサーバを設置しない運用形態）.......... 78
Windows NT4.0 または Windows 95 環境でのプリンタ共有（Printianavi 印刷）........... 80
Windows NT3.51 環境でのプリンタ共有（LPR 印刷）..... 82
NetWare 環境でのプリンタ共有（NetWare 印刷）............. 83
ステータスウィンドウアイコン一覧 87
Printianavi エラーメッセージ一覧 88
Printianavi ステータス一覧 94
Printianavi トラブルシューティング 95

索　引～プリンタ編～ 101

索　引～ソフトウェア編～ 107

プリンタ編

第１章
お使いになる前に

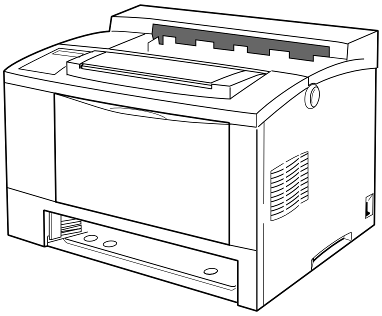
この章では、プリンタの特長や各部の名称と機能、オプション品やサプライ用品など、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認(梱包されている製品) 4
本プリンタの特長 5
各部の名称と機能 6
いろいろな印刷のしかた 9
Printia XL ドライバで印刷する 9
エミュレーションモードで印刷する 9
コマンドでエミュレーションモードを切り替える 10
エミュレーションモードを使う上での留意事項..... 11
オプション品 13
サプライ用品 15

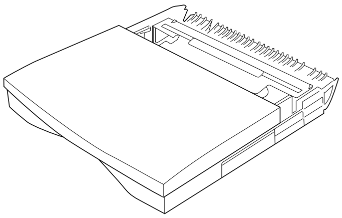
製品の確認(梱包されている製品)

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

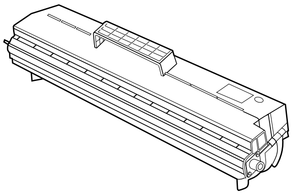
1. プリンタ本体



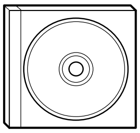
2. 給紙カセット
(A3 ユニバーサル)

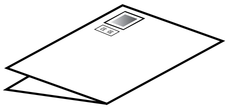


3. プロセスカートリッジ

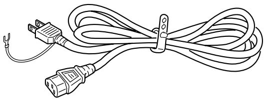


4.CD-ROM、ユーザ登録カード

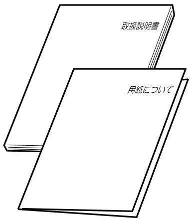




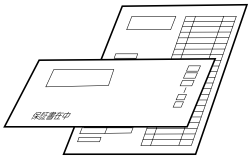
5. 電源コード



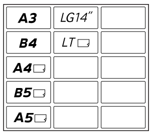
6. 取扱説明書、用紙について



7. 修理・サービス網一覧表、保証書



8. 用紙サイズラベル



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」14 ページ参照)

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

本プリンタの特長

1 Windows 95/3.1 および Windows NT4.0/NT3.51 対応

Printia XL ドライバにより、各社パソコンの Windows 環境のもとで美しくスピーディな印刷が行えます。また Windows 95 の Plug & Play に対応しています。

2 双方向プリンティングシステム「Printianavi(プリンティアナビ)」を標準添付 (Windows NT4.0/Windows 95 対応)

プリントサーバーとプリンタとの双方向通信機能、およびクライアントとプリントサーバーとのメッセージ連携機能により、従来のパソコン用プリンタでは実現できなかったエラーリカバリ等の信頼性に優れるプリンティングシステムです。

3 多彩な動作モード(ESC/P、ESC/Page、PC-PR201)

動作モードを切り替えることによって、次のプリンタの動作をエミュレーションして印刷することができます。

・ESC/P モード　　：セイコーエプソン 24 ドットプリンタ VP-1000 相当
・ESC/Page モード ：セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当
・PC-PR201 モード ：日本電気 PC-PR201 系シリアルプリンタ相当

4 優れた印刷品質

次の特性により、ギザギザの少ない美しい印刷結果を得ることができます。

・縦横１インチ当たり 480/600 ドットの高解像度
・電子写真記録方式の採用
・富士通独自の FEIT（Fujitsu Enhanced Image Technology）機能

5 高速印刷

ファーストプリント 10 秒（A4 サイズ横用紙）。連続では、最大 16 枚 / 分(A4 サイズ横用紙) 、10 枚 / 分(B4 サイズ用紙) 、8.6 枚 / 分(A3 サイズ用紙）の速度で印刷できます。ただし、転送するデータ量が多いとき（例：イメージデータなど）は、時間がかかることがあります。

6 多彩な給紙機能

拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けると次のような給紙機能が使用できます。

・異なったサイズの用紙を３種類まで同時にセットすることができます。
・標準 450 枚、最大 700 枚（拡張給紙ユニット -B 使用時は最大 950 枚）の用紙を一度にセットできます。

7 ネットワーク対応

10BASE-T および 100BASE-TX 対応の高速 LAN ポートを標準装備しました。Printianavi 対応の専用ネットワークポートモニタにより、Windows NT4.0/Windows 95 パソコンから LAN 経由で直接印刷できます。

またマルチプロトコル機能により IntranetWare/Netware や Windows NT 対応のサーバプリンタとしてご利用になれます。

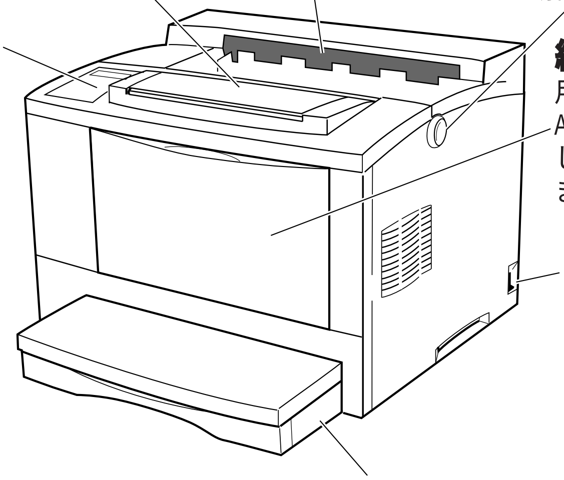
8 パワーセーブ機能により消費電力を節約

9 トナーセーブ機能によりトナーの消費量を節約

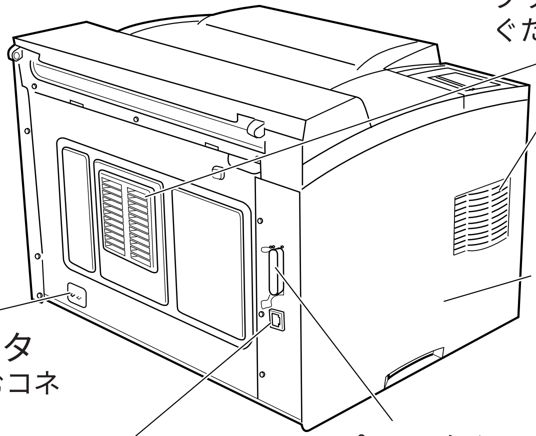
各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

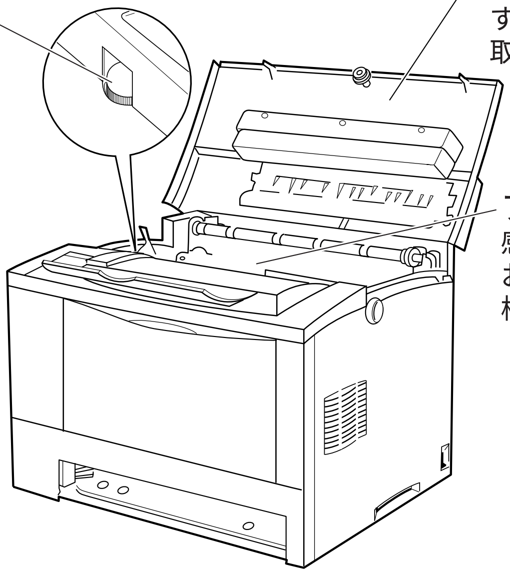
前　面



背　面



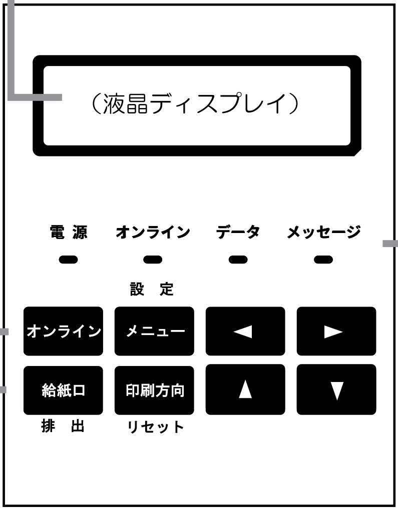
内 部


印刷濃度調整ダイヤル
印刷濃度を調整するダイヤルです。
上部カバー
プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。
プロセスカートリッジ
感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。

オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

●液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
（1行16文字の2段に表示されます。）



●電源ランプ（緑色）
電源の投入／切断状態を知らせます。
　点灯：電源投入
　消灯：電源切断

●オンラインランプ（緑色）
プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。
　点灯：オンライン状態
　　（パソコンからのデータを受け取ることができる状態）
　消灯：オフライン状態
　　（パソコンからのデータを受け取ることができない状態）

●データランプ（緑色）
プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。
　点灯：データが残っている
　点滅：データをパソコンから受信中
　消灯：データがない
点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。

●メッセージランプ（オレンジ色）
印刷できない状態にあることを知らせます。
　点灯：エラーやアラームが発生し、印刷できない状態（エラー内容を知らせるメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。メッセージに従って対処してください。詳しくは、「エラーメッセージが表示されたとき」（128ページ）を参照してください。）
　消灯：印刷できる状態

●オンラインスイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。一時的な設定(*)を終了させる機能もあります。

●メニュースイッチ
プリンタの動作条件を設定します。

●給紙口スイッチ
給紙口を選択します。

●排出スイッチ
プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

●印刷方向スイッチ
印刷方向を選択します。

●リセットスイッチ
プリンタを電源投入時の状態にし、未印刷データを消去します。

*: 一時的な設定については、「オペレータパネルを操作する」(74 ページ)を参照してください。

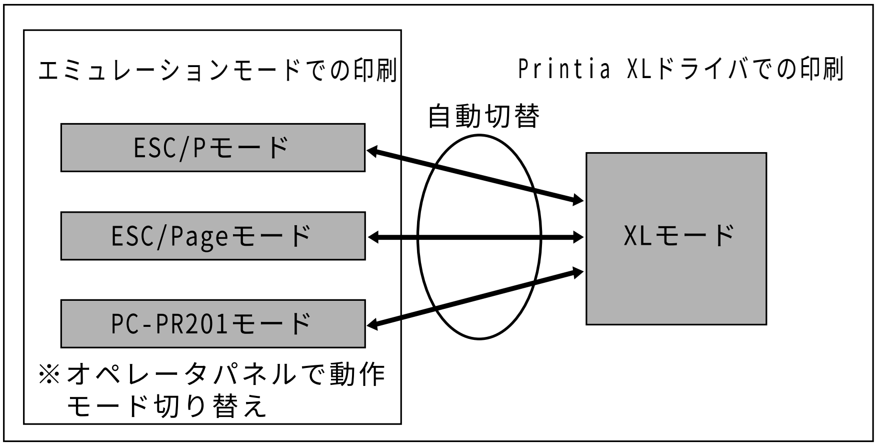
ガイド　「設定」「▲」「▼」「◄」「►」の各スイッチについては、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(103ページ)を参照してください。

いろいろな印刷のしかた

アプリケーションソフトからの印刷のしかたについて説明します。

Printia XL ドライバで印刷する

Windows対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ（FUJITSU XL-5510）を選択します。プリンタの設定は、Windows のダイアログボックスの設定内容に従います。Windows からの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。



ガイド　コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通 FMV シリーズや各社 AT 互換機および日本電気 PC-9800 シリーズのパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

・ESC/P モード　　：セイコーエプソン　ドットプリンタ　VP-1000 相当
・ESC/Page モード ：セイコーエプソン　ページプリンタ　LP-8000S 相当
・PC-PR201 モード ：日本電気 PC-PR201 系シリアルプリンタ相当

動作モード（エミュレーションモード）は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。オペレータパネルで切り替える方法については、「第 7 章 設定値を変える」（85 ページ）を参照してください。

コマンドでエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード（コマンド）で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、プリンタ LAN カード（オプション）を取り付けてサーバープリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWare や NetWare、Windows NT などのネットワーク OS を使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワーク OS のマニュアルをお読みください。

エミュレーションモードを切り替える

エミュレーションモードを切り替えるには、次のコマンドを発行します。（〈××〉$_{16}$ は、16 進数表記での値です。）

【形式】

ESC＋	／＋	イ＋	@＋	DEL＋	ESC＋	DEL＋	NULL＋	NULL＋	SOH＋	Pa
〈1B〉$_{16}$	〈2F〉$_{16}$	〈B2〉$_{16}$	〈40〉$_{16}$	〈7F〉$_{16}$	〈1B〉$_{16}$	〈7F〉$_{16}$	〈00〉$_{16}$	〈00〉$_{16}$	〈01〉$_{16}$	〈××〉$_{16}$

【解説】

・Paは１バイトの選択パラメータで、切り替えるエミュレーションモードを指定します。各エミュレーションごとの Pa の値は次のとおりです。

ESC/P　　：Pa＝〈09〉$_{16}$
ESC/Page　：Pa＝〈06〉$_{16}$
PC-PR201　：Pa＝〈04〉$_{16}$

また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻す場合には、次の Pa を使用します。

デフォルトモード：Pa＝〈05〉$_{16}$

・パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
・エミュレーションモードを切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
・設定されたエミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。（「液晶ディスプレイの表示内容」72 ページ）

・コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XL ドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻ります。(「プリンタをリセットする」81ページ参照)

切り替えコマンドの使い方

複数のエミュレーションの印刷やPrintia XLドライバの印刷を行う場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷を行うアプリケーションソフトの印刷では、エミュレーションモードの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

エミュレーションモードを使う上での留意事項

エミュレーションモードは、本プリンタに、セイコーエプソンの24ドットマトリクスプリンタ VP-1000（ESC/P モード）およびページプリンタ LP-8000S（ESC/Page モード）、日本電気の PC-PR201系シリアルプリンタ（PC-PR201 モード）と同等の動作をさせるものです。ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

次に、各エミュレーションモードを使う場合の留意事項について説明します。

セイコーエプソン VP-1000 との違い

ESC/P エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の VP-1000 と、次の点で違います。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(145 ページ)をご覧ください。

セイコーエプソン LP-8000S との違い

ESC/Page エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の LP-8000S とは、次の点で違います。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
・Windows の LP-8000S プリンタドライバでの 80%縮小は、75%縮小で印刷します。
・登録、または記憶を行うコマンドは、メモリ容量の違いから、「登録メモリオーバー」エラーになることがあります。

PC-PR201 系プリンタとの違い

PC-PR201エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、日本電気製の PC-PR201 系シリアルプリンタとは以下の点が違います。

・文字パターンの大きさ、デザイン等が多少異なります。
・用紙方向が縦の場合と横の場合で印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、付録の「プリンタの仕様」の「用紙関係」(145 ページ)をご覧ください。
・Windows の PC-PR201 系プリンタドライバや市販のソフトウェアで用紙位置を中央に設定した場合は、印刷位置がずれたり、最後の方の文字が次の行に印刷されたりします。このようなときは、「PC モード設定」の「136/LM 設定」を「136 桁モード」に設定し、「用紙位置設定」を「中央」に設定してください。(「第７章　設定値を変える」(85 ページ)参照)

ガイド　本プリンタは、Windows 95 対応の FUJITSU ESC/Page プリンタドライバを標準添付しています。(添付の CD-ROM 内)

オプション品

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25F1	2 段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3 までの用紙を 250 枚セットできる給紙カセットが添付されています。
拡張給紙ユニット -B	XL-EF50F1	2 段目の給紙ユニットとして使用できます。 A4 の用紙を 500 枚セットできる給紙カセットが添付されています。

プリンタ RAM モジュール

プリンタ RAM モジュールは次の 3 種類の中から１枚のみ取り付けることができます。

品　名	型　名	内　容
プリンタ RAM モジュール - 8 MB	XL-EM8M2	RAM を 8 MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール -16MB	XL-EM16M2	RAMを16MB搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール -32MB	XL-EM32M2	RAMを32MB搭載したメモリモジュールです。

〈用途〉

- どのプリンタ RAM モジュールを追加しても、Printia XL ドライバで A3 までの用紙に 600 ドット／インチで印刷が可能になります。(標準構成では、600 ドット ／インチの印刷は A4 までです。)
- ビットマップメモリの容量増加により、印刷速度の向上が図れます。特に、600 ドット／インチの印刷をする場合は、より効果があります。(例えば、A4 用紙に 600 ドット／インチ印刷をする場合のビットマップメモリ枚数が、メモリ増設なしのときの１ページに対し、8MB 追加で 2 ページ、16MB 追加で 4 ページ、32MB 追加で 8 ページになります。)

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL711 FMV-CBL712
FMR シリーズ　デスクトップタイプ	FM60-711
FMR シリーズ　CARD タイプ	FM50N711G
FMR シリーズ　ノートブックタイプ	FM50N713G
FMR　TOWNS シリーズ	FM60-711
GRAN POWER 5000 シリーズ FM-Server シリーズ	FMS-CBL711

【N E C】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821An,Ap2,As2,Ap3,As3,Bf,Bp,Bs,Be PC-9821Xt,Xa,Xn,Xp,Xs,Xe PC-9821Cs2,Ce2,Ts,Es,Cb,Cx,Cf PC-9801BA2,BS2,BX2,BX3 PC-9801Np,Ns,Ne2,Nd PC-9801NS/A	XL-CBL981(*1)

*1: XL-CBL981はプリンタインタフェースとして36ピンハーフピッチコネクタを持つPC-9800シリーズに対応しています。36 ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つ PC-9800 シリーズは、NEC 製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL711 FMV-CBL712

サプライ用品

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商　品　名		商品番号	備　考
普通紙推奨用紙	Ａ３サイズ	0411650	500枚×３冊で１ケース
	Ｂ４サイズ	0411620	500枚×５冊で１ケース
	Ａ４サイズ(Ｙ)	0411612	
	Ｂ５サイズ(Ｙ)	0411645	
	Ａ５サイズ(Ｙ)	0411635	
プロセスカートリッジ	LB308	0872110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約6,000枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
LB308　給紙カセット (A3ユニバーサル)		0872310	A3～A5サイズで250枚 添付のカセットと同一です。
LB308　給紙カセット (500枚)A4		0872320	A4サイズで500枚 拡張給紙ユニット-B(XL-EF50F1)専用です。
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W)×610(D)×440(H)mm

第2章

用紙について

使用する用紙の種類、用紙の保管のしかたなどによって、印刷品質にかなりの差がでます。ここでは、用紙の種類と保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙 18
使用できない用紙 20
用紙の保管上のご注意 21

使用できる用紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品」（15 ページ）を参照してください。

お願い

・用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
・OHP フィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙 カセット	普通紙 (再生紙)	A ３タテ B ４タテ A ４ヨコ B ５ヨコ A ５ヨコ リーガルタテ レターヨコ	60 ～ 90g/m^2	約 250 枚 (重量 64g/m^2 の 用紙の場合)
給紙トレイ	普通紙 （再生紙）	100 × 148 ～ 297 × 420mm	60 ～ 135g/m^2	約 200 枚 (重量 64g/m^2 の 用紙の場合)
	官製はがき	ハガキタテ	190g/m^2	約 75 枚
	OHPﾌｨﾙﾑ	A4 ヨコ	60 ～ 135g/m^2	約 75 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60 ～ 135g/m^2	約 75 枚

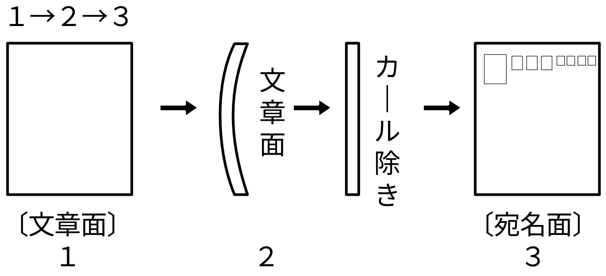
お願い

はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に印刷してください。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。



ＯＨＰフィルム

定着時の熱（約 190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

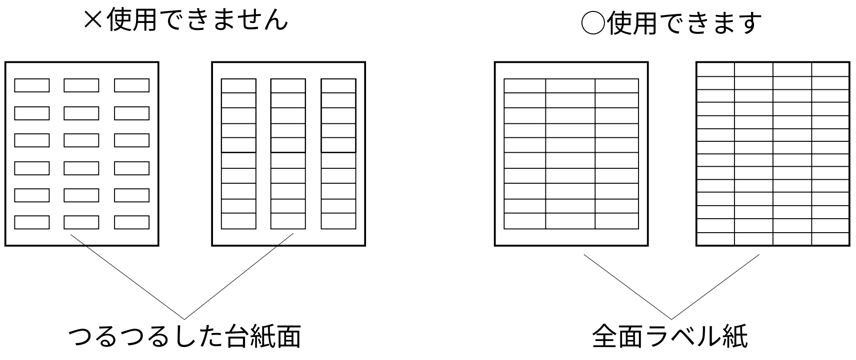
ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約 190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
・湿っている用紙や、濡れている用紙
・一度印刷された用紙
・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・静電気で密着している用紙
・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190℃以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
・190 ℃以上の熱で溶けたり、変質する用紙
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙
・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙



用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド 長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置する際に注意すべきことと、設置の手順について説明します。

設置上のお願い 24
プリンタの寸法 25
設置手順 26

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

- いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
  温度:10～32℃　　湿度:15～85%（結露がないこと）
  温度32℃のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度28℃以下でご使用ください。
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

- サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙探知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
  また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

- プリンタを前後左右に５°以上傾けないでください。
  トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。
  電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

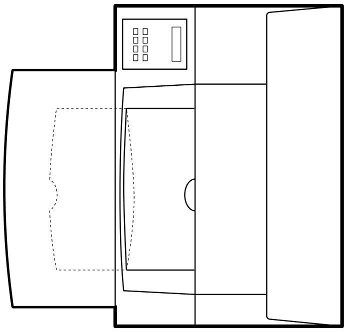
お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

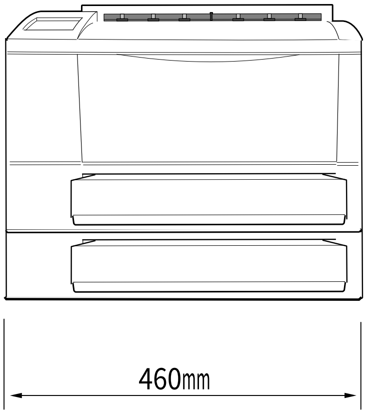
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

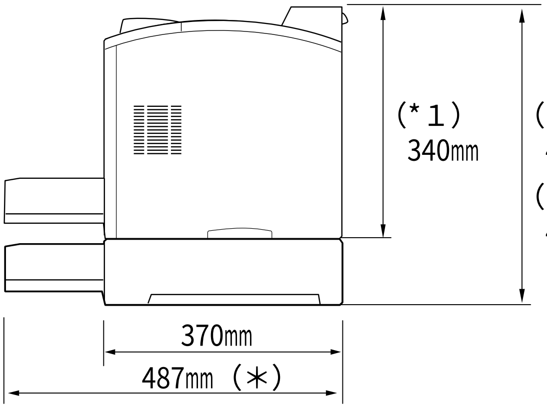
＜上面図＞



＜正面図＞



＜側面図＞



*1:標準構成時
*2:拡張給紙ユニット -A 搭載時
*3:拡張給紙ユニット -B 搭載時

(＊) 奥行きはユニバーサルカセット縮小時は４８７ｍｍ、延長時は609mm になります。

⚠注意

火　災　プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200mm以上離して設置してください。(「安全上のご注意」(2)ページ参照)

け　が　設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

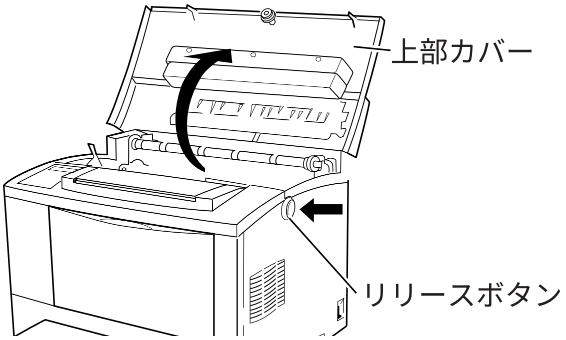
設置手順

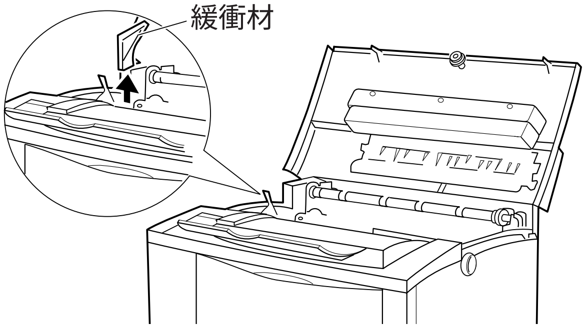
プリンタは、次の手順で設置してください。

1　製品がすべて揃っていることを確認する

梱包されている製品は、「製品の確認」(4 ページ)に記載してあります。

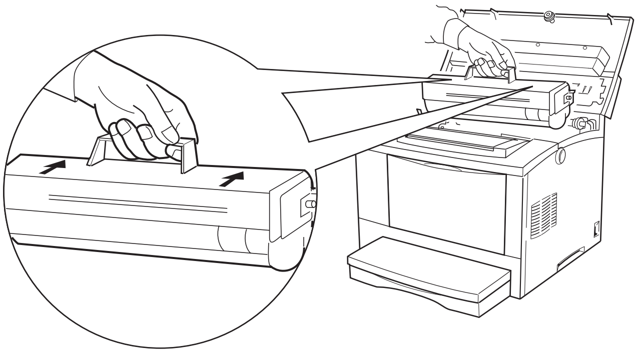
2　リリースボタンを押して上部カバーを開け、緩衝材をとる



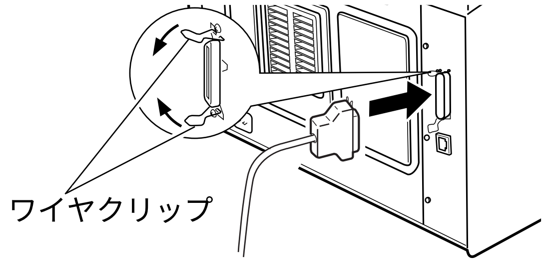


緩衝材は、下に押しながらプリンタの中央側に倒すと、外れます。

3　プロセスカートリッジを取り付ける



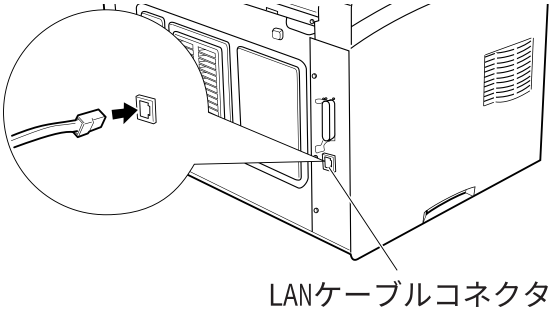
詳しくは、「プロセスカートリッジを取り付ける」(56 ページ)に記載してあります。



4 パソコンと接続する

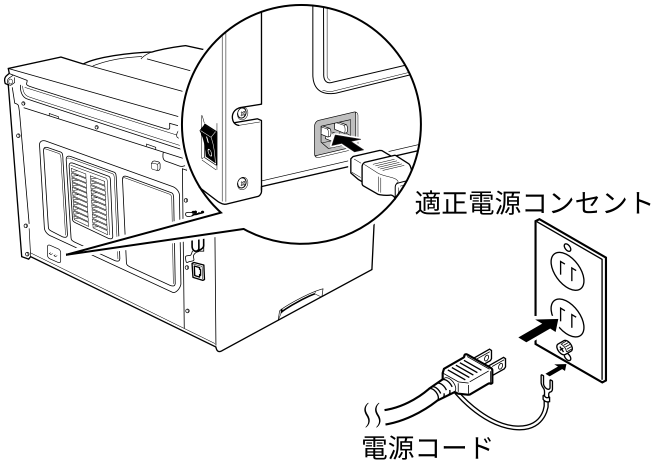
プリンタケーブルを使い、パソコンと接続します。

詳しくは、「パソコンとの接続」(30 ページ)に記載してあります。



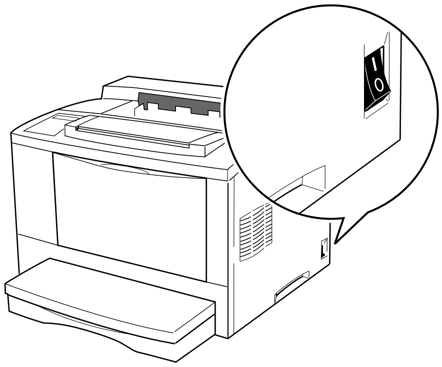
5 LAN と接続する

詳しくは、「LAN 経由の接続」(32 ページ)に記載してあります。



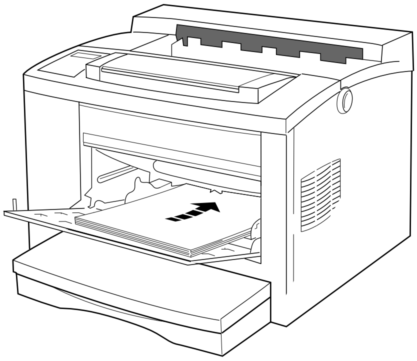
6 電源コードを接続する

詳しくは、「電源コードの接続」(36 ページ)に記載してあります。



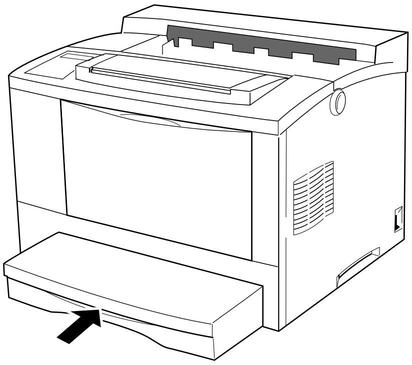
7 プリンタの電源を入れる

詳しくは、「電源の投入と切断」(40 ページ)に記載してあります。



8 ***用紙をセットする***

詳しくは、「用紙のセット」(42ページ)に記載してあります。



第 4 章

外部との接続

この章では、パソコン、LAN および電源との接続のしかたについて説明します。

パソコンとの接続 30
LAN 経由の接続 32
パソコンと接続するときの留意事項 34
電源コードの接続 36

パソコンとの接続

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

プリンタケーブルについては、次の制約があります。
・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
・ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。

⚠警告

感 電	プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

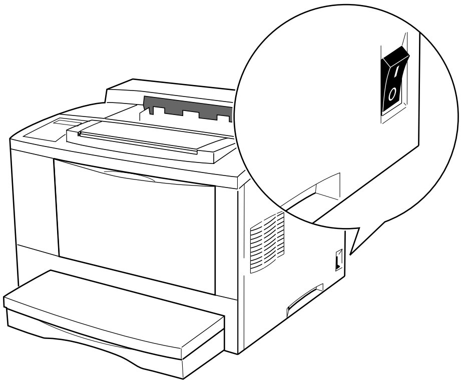
⚠注意

故 障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

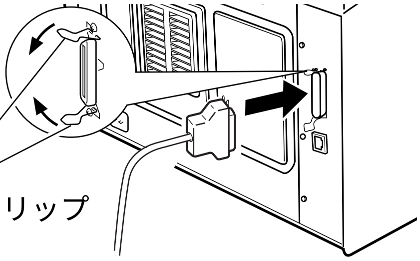
本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」(14 ページ)参照)

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。



2 プリンタケーブルを接続する

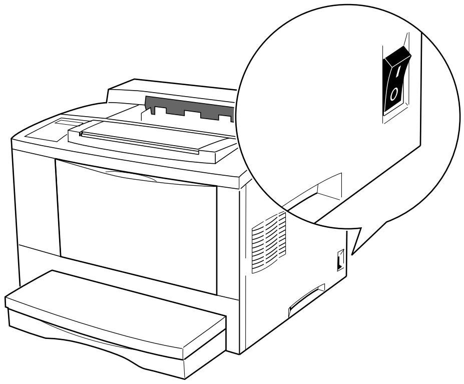
プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。

パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

LAN 経由の接続

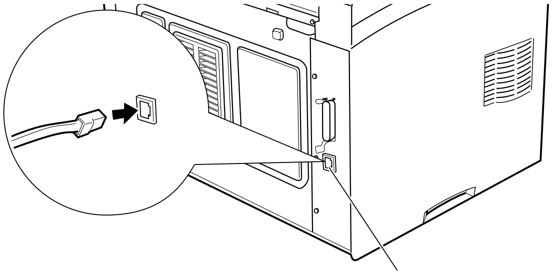
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-5510 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。

接続のしかた



1　プリンタの電源の切断を確認する

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。



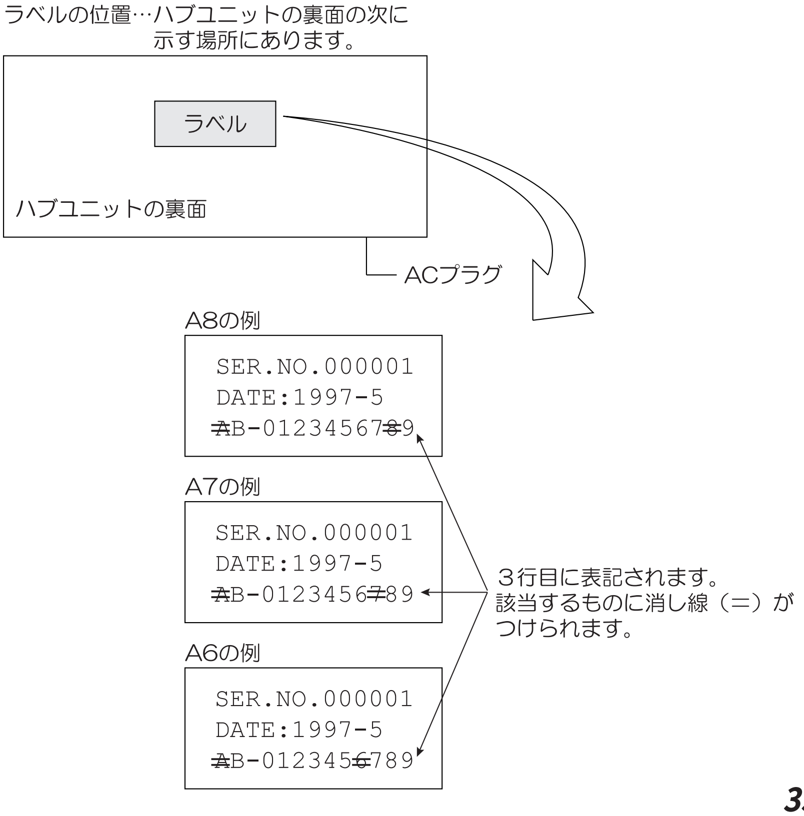
2　LANケーブルを接続する

LAN ケーブルを、プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

LAN に接続するときの注意事項

● LANケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のEthernetタイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタのEthernetタイプは、「自動」「100Mbpsフル」「100Mbpsハーフ」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタのEthernet タイプは、セットアップの「LAN 設定」にある「Ethernetタイプ」で変更します。(セットアップについては、「第７章　設定値を変える」(85 ページ)参照)
ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

● ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
・ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご相談ください。
ラベルの見かたを次の図に示します。

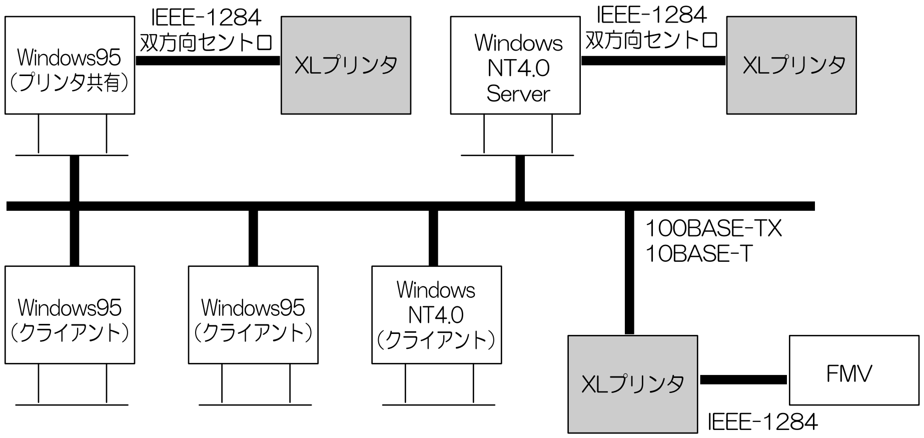


パソコンと接続するときの留意事項

双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時のネットワーク接続形態

本プリンタは、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバーおよびクライアント)から使用することができます。さらに、添付の双方向プリンティングシステム「Printianavi」をインストールすることにより、プリンタのエラーメッセージの表示や制御を、クライアントで行うことができます。

また、添付のPrintianaviネットワークポートモニタを使用すると、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバまたはクライアント)から、直接LANに接続したプリンタに印刷することができます。



双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時の留意事項

・Windows 95またはWindows NT4.0が動作するパソコンで使用してください。
・パソコンのプリンタポートにプリンタを接続してPrintianaviを利用する場合、ご使用のパソコンがIEEE-1284準拠の双方向プリンタポートに対応している必要があります。当社のパソコンでは、FMVシリーズやGRANPOWER 5000シリーズが、これに対応しています。
・ネットワークで本機能を使用する場合のインストールや設定については、本書の「ソフトウェア編」を参照してください。

パソコンと LAN の両方に接続したときの留意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう１台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。
パラレルポートと LAN ポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご留意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは「オフライン状態」となります。２つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・Printianaviを利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
・PrintianaviおよびPrintianaviネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

お願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタから LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

ガイド

ポートの切り替え時間は、セットアップで変更することができます。(「第７章　設定値を変える」の「ポート切替時間〜ポート切替時間を設定する」(98 ページ)参照)

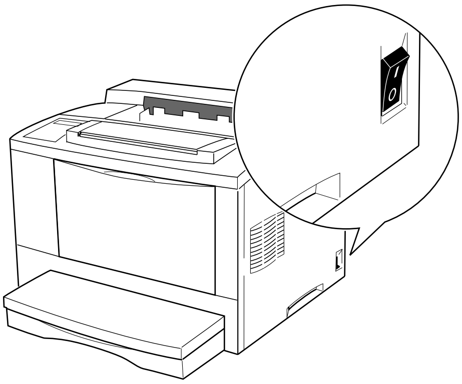
電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。

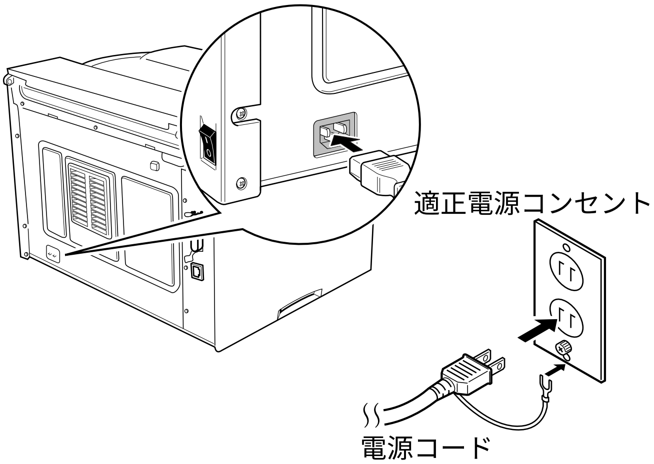
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

⚠警告	
感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチを「○」側にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）



1 電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認します。（電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。）



2 電源コードを接続する

電源コードをプリンタ背面にあるコネクタに差し込みます。コードの反対側を交流 100V のコンセントに差し込みます。
電源プラグから出ているアース線を接地端子に取り付けます。

第5章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

電源の投入と切断 40
用紙のセット 42
給紙トレイに用紙をセットする 42
給紙カセット(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする 44
オプションの給紙カセット(A4・500 枚)に用紙をセットする 49
プロセスカートリッジの交換 52
プロセスカートリッジを取り外す 55
プロセスカートリッジを取り付ける 56
プロセスカートリッジの取り扱いと保管 59
取り扱い上のご注意 59
保管上のご注意 59
印刷濃度を調整する 60
プリンタの清掃 62
プリンタ外部の清掃 62
プリンタ内部の清掃 63
プリンタを長時間使用しないとき 64
プリンタを移動するとき 65
近くに移動する 65
梱包して運搬する 69

電源の投入と切断

プリンタを起動するときは、電源スイッチを入れます。電源スイッチを入れてから、約 45 秒後に印刷ができる状態になります。
１日の終わりや長期間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。

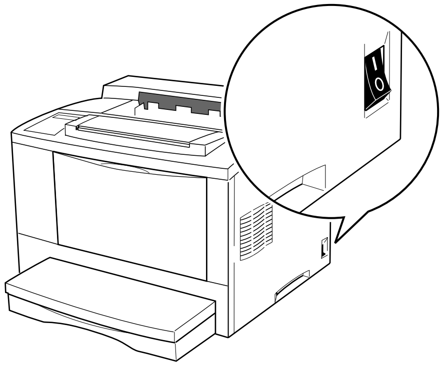
お願い

電源を入れる際に、給紙トレイに用紙がセットされている場合は、いったん用紙を取り出して、電源を入れた後にセットし直しください。

ガイド

- 電源を切ると、プリンタのメモリに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- パワーセーブの時間が設定されている場合、電源が入っている状態で一定時間使用しないと、自動的にパワーセーブ状態に切り替わります。

電源を入れる



電源を入れるときは、電源スイッチを「｜」側に倒します。

オペレータパネルの「メッセージ」「データ」「オンライン」「電源」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

```
ショキシンダ゛ンチュウ
```

初期診断中を示します。

↓

```
ＲＡＭ　ヨウリョウ
××　ＭＢ
```

メモリの総容量を示します。

↓

```
ファーム ロード゛チュウ
××××××××××××
```

ファームロード中を示します。
下段にMACアドレスを表示します。

↓
↓
↓
↓

初期化動作およびファームロード動作に約30秒程度かかりますので、そのままお待ちください。オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されると印刷できる状態になります。

```
オンライン　　　　　　　　××
××××× 　×－××××
```

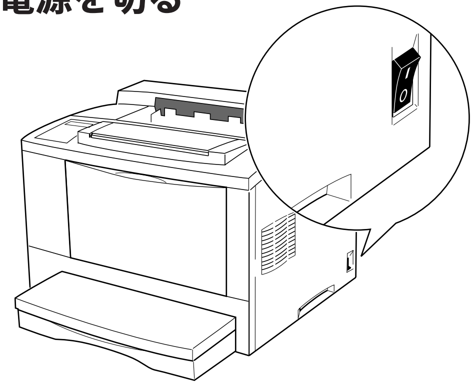
お願い

RAMを変更した場合には、必ずRAM容量を確認してください。

ガイド

電源を入れても、液晶ディスプレイや「オンライン」ランプが点灯しないときは、「故障かなと思ったとき」（116ページ）をお読みください。

電源を切る



電源を切るときは、電源スイッチを「○」側に倒します。

電源が切断され、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、「紙づまりになったとき」（118ページ）を参照して、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

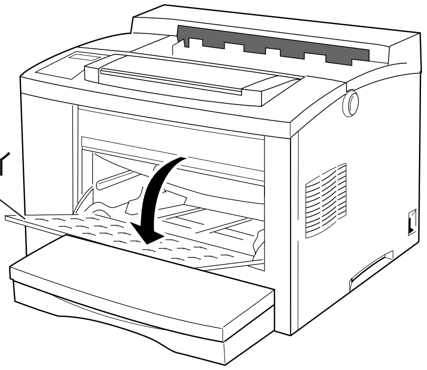
用紙のセット

給紙トレイおよび給紙カセット(A3ユニバーサル／A4・500枚)に用紙をセットする方法について説明します。

給紙トレイおよび給紙カセットにセットできる用紙については、「第２章 用紙について」(17ページ) を参照してください。

給紙トレイに用紙をセットする

次の手順に従って、給紙トレイに用紙を入れます。

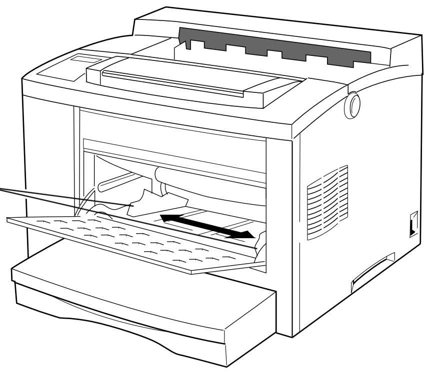


1 給紙トレイを開ける

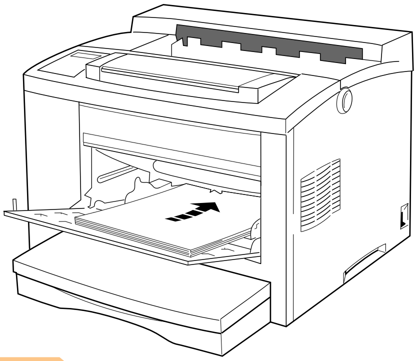
プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、給紙トレイを開けます。

お願い

給紙トレイは約80°の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。
破損の原因となります。



2 用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす



3 用紙を入れる

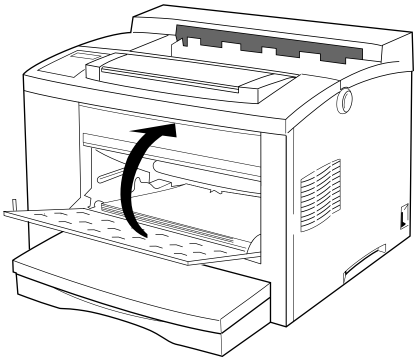
用紙の四隅を揃え、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

お願い

- **給紙トレイは約 80 °の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。**
  破損の原因となります。
- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。**
- **A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。**
- **印刷方向については、「用紙関係」（144 ページ）を参照してください。**
- **最大収容枚数以上の用紙を載せないでください。**

ガイド

- 給紙トレイに収容できる枚数は、約 200 枚（64g/m^2 の場合)、または用紙の高さにして、16mm以下にしてください。
- Ａ４横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。



4 用紙サイズを設定する

給紙トレイにセットした用紙のサイズを、オペレータパネルで設定します。「縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)」（77 ページ参照）

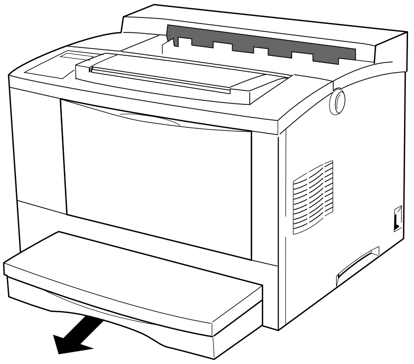
給紙カセット(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする

給紙カセット(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする手順について説明します。

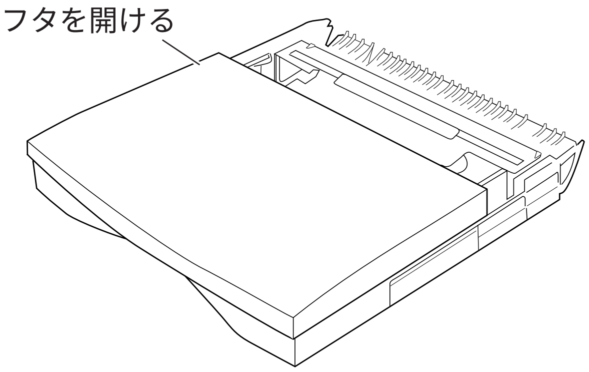
給紙カセット(A3 ユニバーサル)は、用紙サイズ(A5 横から A3 縦まで)に合わせて伸縮することができます。小さいサイズの用紙を使用する場合には、プリンタの設置面積を小さくして使用できます。

ガイド

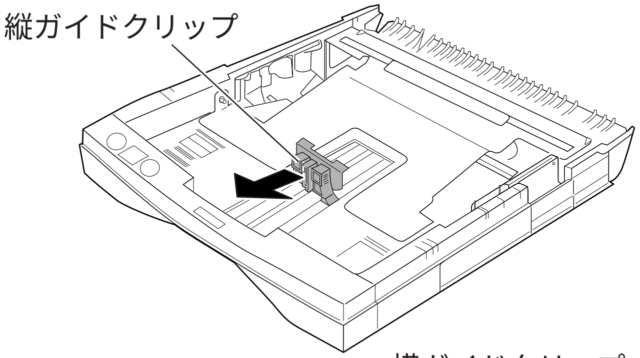
- 拡張給紙ユニット -A（オプション）が装着されている場合は、給紙カセット(A3 ユニバーサル)を、上段、下段のどちらにもセットできます。
- 異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。



1　給紙カセットをプリンタから抜く

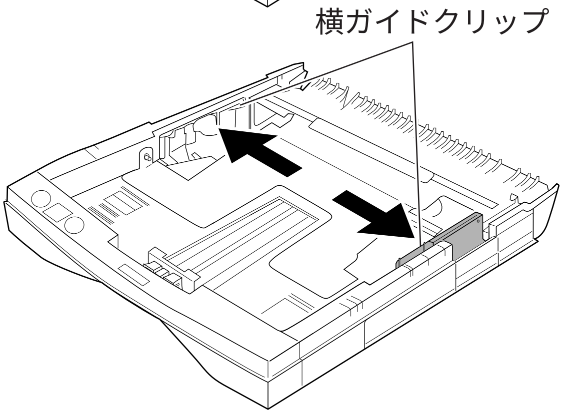


2　給紙カセットを平らな場所に置き、フタを開ける



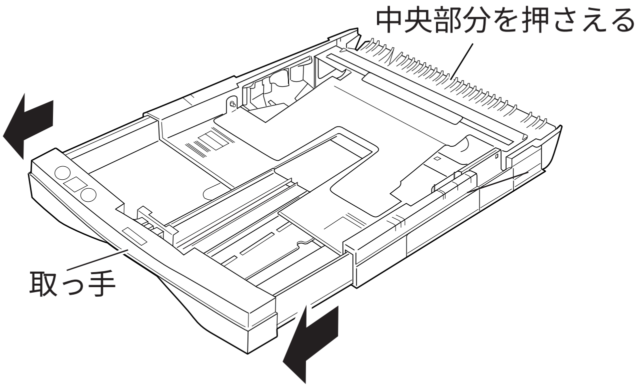
3　縦ガイドクリップを外側にずらす

・縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、外側にずらします。
・リーガルからA3までの長いサイズの用紙をセットするときは、縦ガイドクリップを一番外側にずらします。



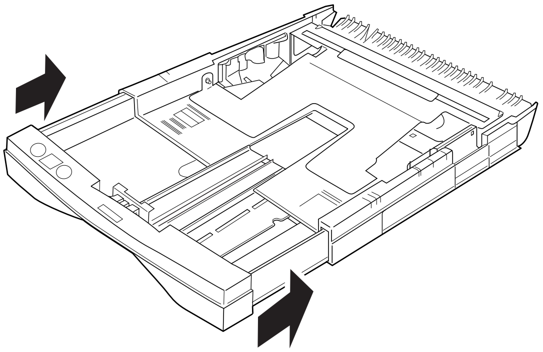
4　横ガイドクリップの青い箇所を持って、外側にずらす

ガイド　同じサイズの用紙を補給する場合は、この手順は不要です。

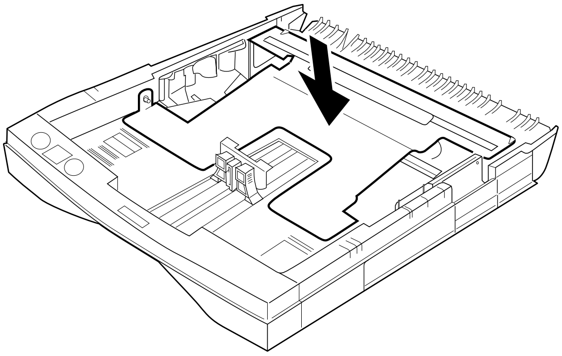


5　給紙カセットの長さを合わせる

【長いサイズの用紙のとき】
リーガルから A3 までの長いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセット奥側の中央部分を押さえ、取っ手を引いて最大の長さに引き伸ばします。

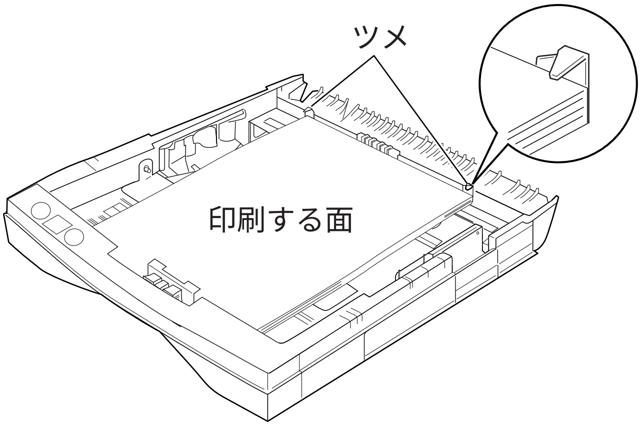


【短いサイズの用紙のとき】
A5 からレターまでの短いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセットを最小に縮めて使用します。



6 給紙カセットの中の金属板をロックする

給紙カセットの中の金属板を手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。



7 用紙をセットする

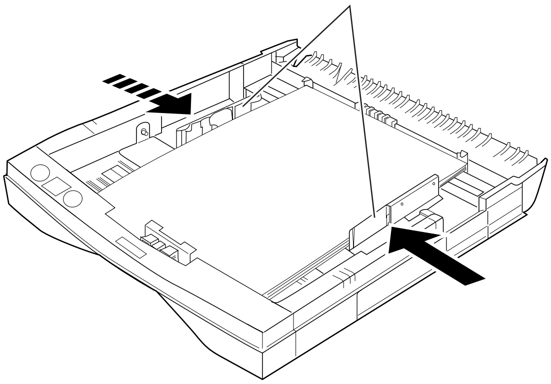
用紙の四隅を揃え、印刷する面を上にして、左右のツメの間に差し込むようにセットします。このとき、横ガイドクリップに用紙が乗り上げないよう注意してください。

お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。**
- **A4、B5、A5、レターサイズの用紙は「用紙関係」（144ページ）を参照して、横長にセットしてください。**
- **最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。用紙の高さで 26mm 以下です。**
- **用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。**

ガイド

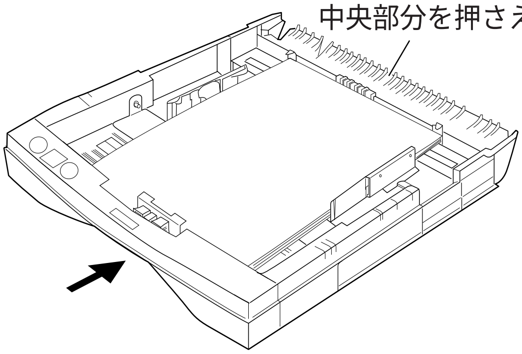
給紙カセットに収容できる枚数は、約 250 枚（64g/m² の場合）です。



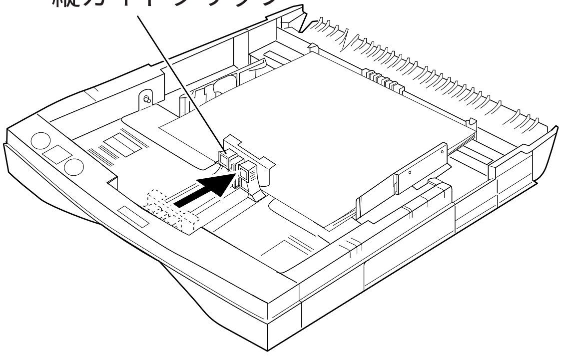
8 横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

お願い **用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。**

9 用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる



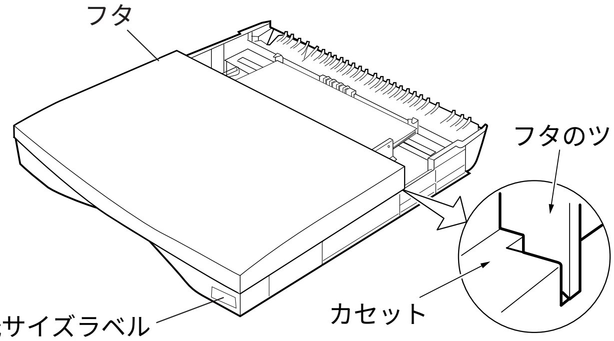
【長いサイズの用紙のとき】
リーガルから A3 までの長いサイズの用紙をセットするときは、給紙カセット奥側の中央部分を押さえ、延長部の取っ手を押し込み、用紙サイズに合わせます。延長部の長さが用紙サイズに合うとストッパーがはまります。



【短いサイズの用紙のとき】
A5 からレターまでの短いサイズの用紙をセットするときは、縦ガイドクリップを用紙サイズに合わせます。

お願い

- **用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。**
- **縦ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。**



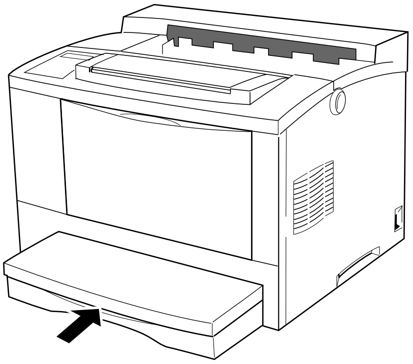
10 給紙カセットのフタを閉める

フタのツメがカセットの溝に入っていることを確認してください。

お願い

- **フタは必ず閉めてください。**
- **フタはカセット延長部のストッパーになっています。フタをしないでプリンタに押し込むと、カセットの延長部が短くなり、紙づまりやプリンタを破損する原因となります。**

ガイド 必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。



11 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

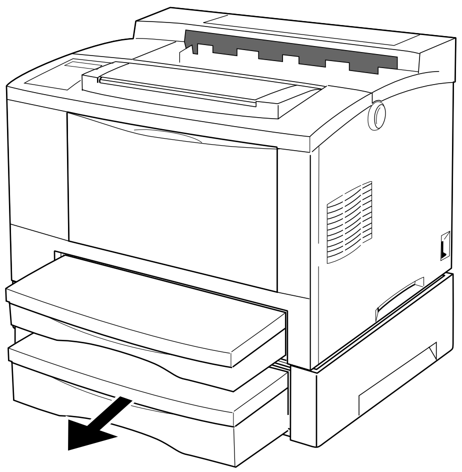
お願い

- **セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。**
- **給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。**

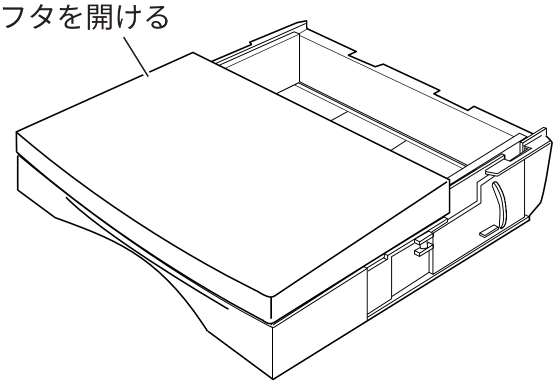
オプションの給紙カセット(A4・500 枚)に用紙をセットする

給紙カセット(A4・500枚)は、オプションの拡張給紙ユニット-Bにセットするカセットです。

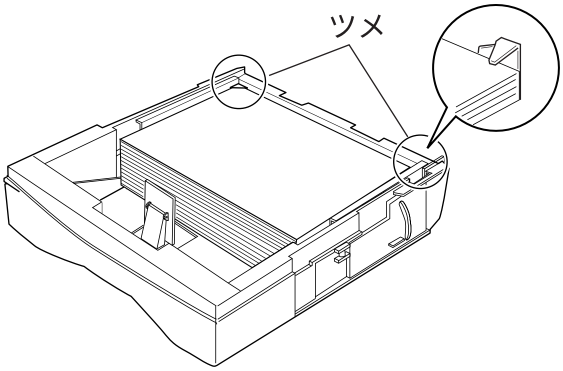
ここでは、給紙カセット(A4・500枚)に用紙をセットする手順について説明します。



1　給紙カセットをプリンタから抜く



2　給紙カセットを平らな場所に置き、フタを開ける



3 用紙をセットする

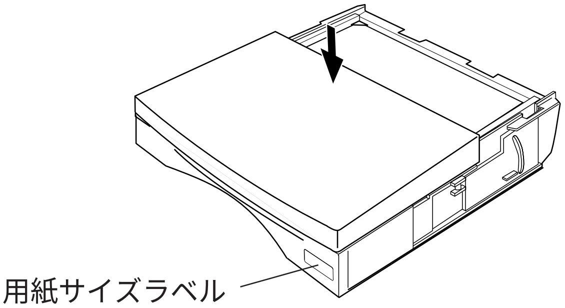
用紙の四隅を揃え、印刷したい面を上にして、左右のツメの間に差し込むようにセットします。

お願い

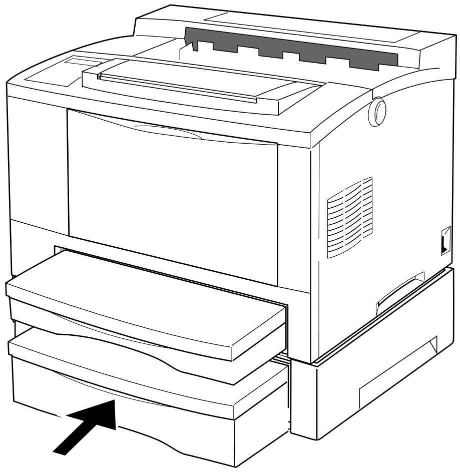
- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。**
- **A4 サイズの用紙は「用紙関係」（144 ページ）を参照して、横長にセットしてください。**
- **最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。用紙の高さで 54mm 以下です。**
- **用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。**

ガイド　給紙カセットに収容できる枚数は、約 500 枚（64g/m² の場合）です。

4 用紙の端をそろえ、給紙カセットのフタを閉める



ガイド　必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。



5 給紙カセットをプリンタに押し込む

給紙カセットを突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

お願い

- セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。
- 給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ１本あたりの目安として、A4 サイズの用紙で約6,000 枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、「プロセスカートリッジを取り外す」(55 ページ)、「プロセスカートリッジを取り付ける」(56ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。

⚠注意

破　裂　プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

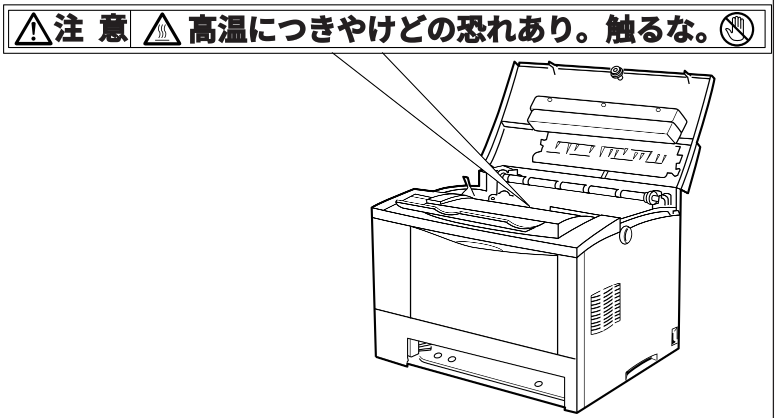
誤　飲　・トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

け　が　上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。
上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

⚠注意

やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



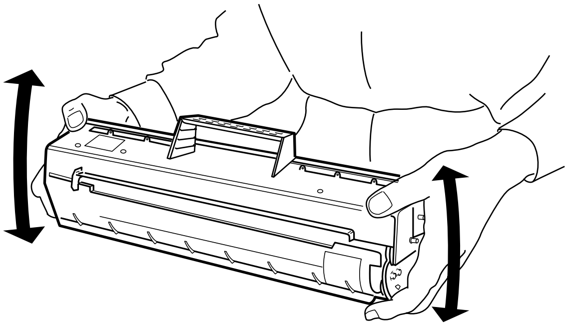
お願い

- **プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。**
  - **直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。**
  - **ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。**
- **感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。**
- **立てたり、裏返しにして置かないでください。**
- **トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。**
- **常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。**

ガイド

・プロセスカートリッジの保管期限は約２年間です。お買い上げ後は２年以内にご使用ください。

・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを上下に7～8回振り、トナーの状態を均一にして印刷し直してみてください。



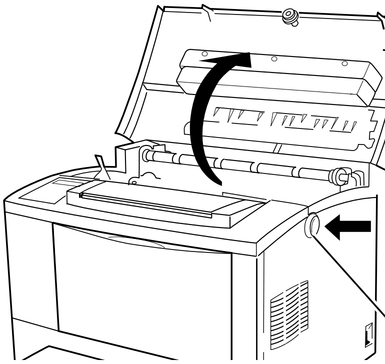
・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
  ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  プロセスカートリッジを取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
  ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

プロセスカートリッジを取り外す

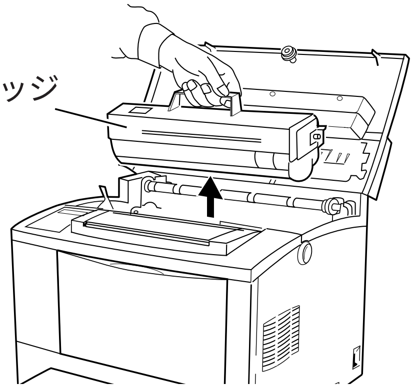
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

お願い

プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



1 リリースボタンを押し、上部カバーを開く



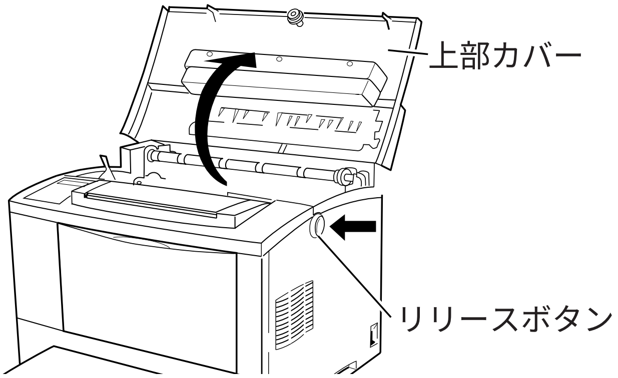
2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

ガイド

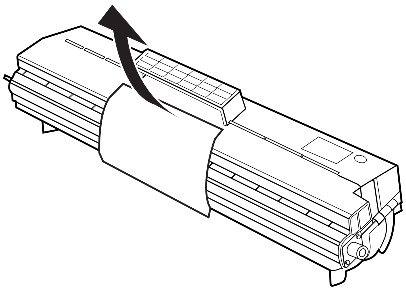
- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みのプロセスカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

プロセスカートリッジを取り付ける

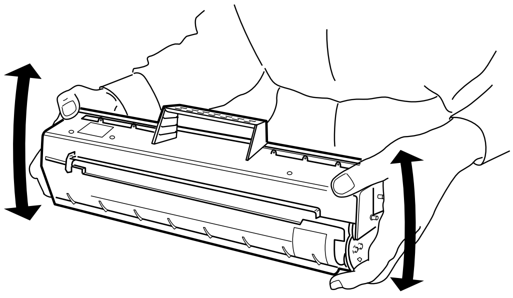
次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り付けます。



1 リリースボタンを押し、上部カバーを開く

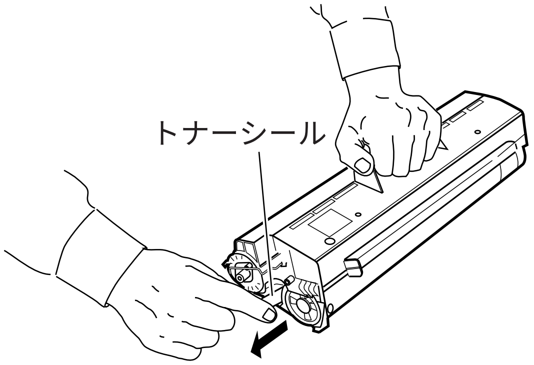


2 プロセスカートリッジを取り出し、ドラムシャッターの間の紙を取り除く



3 トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

図のように上下に７～８回振ります。トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

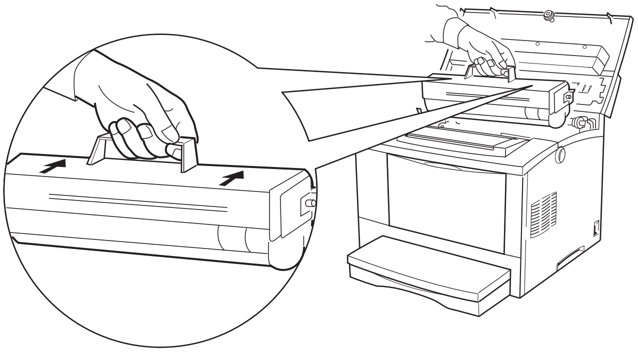


4 トナーシールを引き抜く

プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。

お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

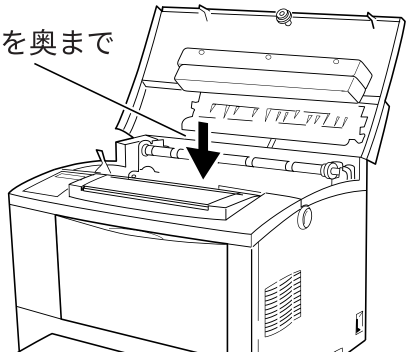


5 プロセスカートリッジを挿入する

プロセスカートリッジの上部の取っ手を持ち、上面の矢印が奥側に向く方向で、両側のガイドに沿わせて平行にプリンタ内部に挿入します。

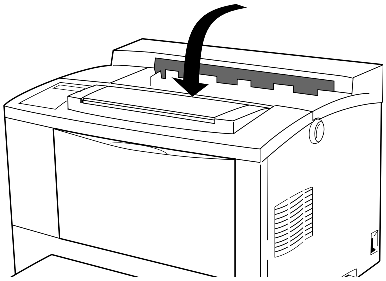
お願い

- **プリンタ内部の部品には手を触れないでください。**
- **プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。**



6 プロセスカートリッジを確実にセットする

プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認します。



7 上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。

お願い

上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

・直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。
・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを５分以上放置しないでください。
・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
・寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
・ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体（ドラム）が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。
・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　0～35℃、　湿度範囲　15～80%RH
　（ただし、結露のないこと）
・高温多湿になる場所には置かないでください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピィディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・幼児の手の届かないところに保管してください。

印刷濃度を調整する

印刷濃度を濃くしたり、薄くしたり調整することができます。印刷濃度を調整するには、印刷濃度調整ダイヤルを使います。

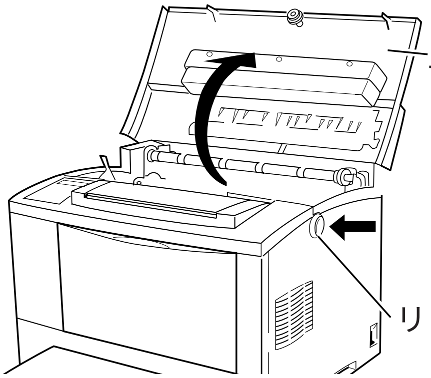
お願い

印刷濃度を濃くする設定にしても文字がかすれる場合は、プロセスカートリッジを交換してください。プロセスカートリッジの交換については「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）を参照してください。

ガイド

印刷中は、印刷濃度を調整できません。

次の手順に従って、印刷濃度を調整します。

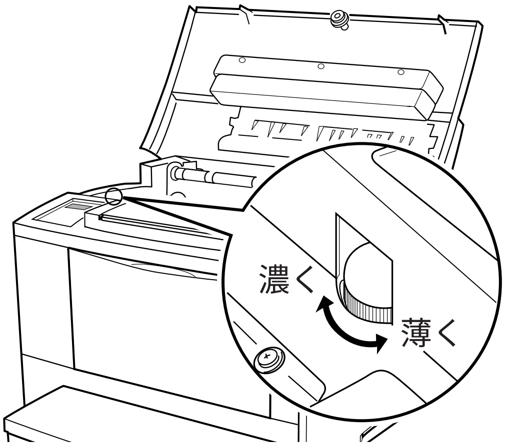


1 リリースボタンを押し、上部カバーを開く

⚠注意	けが　上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手をはさんでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

お願い

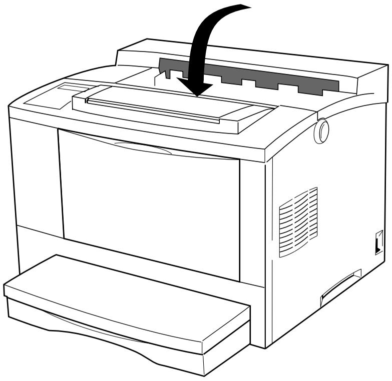
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。



2　印刷濃度調整ダイヤルを回し、濃度を調整する

印刷を濃くする場合は「＋」側に、薄くする場合は「－」側にダイヤルを回します。

ガイド　印刷濃度を濃くした状態で印刷を続けると、プロセスカートリッジ中のトナーの消費量が多くなり、プロセスカートリッジの寿命が短くなるのでご注意ください。



3　上部カバーを確実にロックする

上部カバーを元に戻し、カバー中央を押して確実にロックします。

お願い

上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約１か月に１回、プリンタ本体周辺を清掃してください。プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には点検してください。

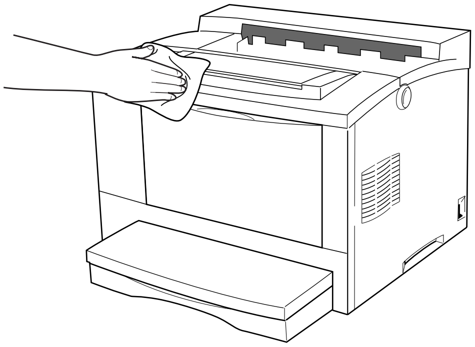
⚠注意	
やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- **プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分位たって内部の温度が下がってから作業してください。**
- **水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。**
- **油をさす必要はありません。注油はしないでください。**

プリンタ外部の清掃



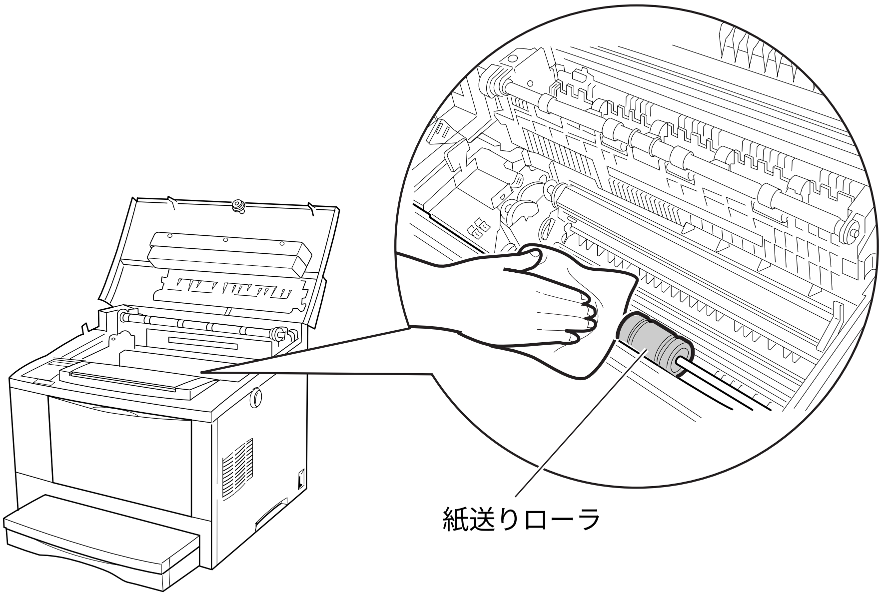
カバーの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部の清掃

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

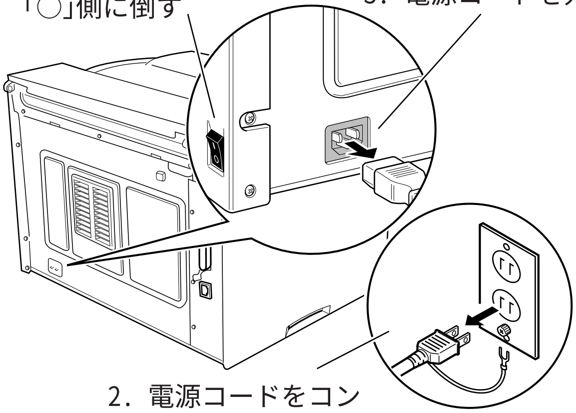
・紙片が残っていれば取り除きます。
・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

官製プレプリントはがきへ印刷するとき、送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り出し、紙送りローラ（半月状のゴムローラ）を清掃してください。



プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。



1　電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

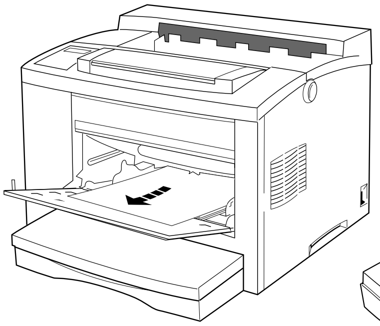
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

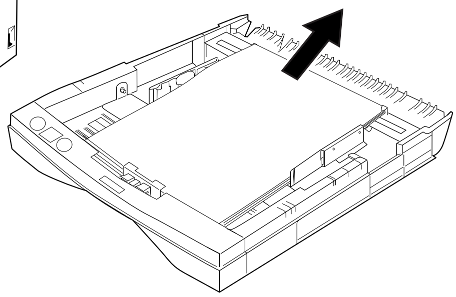
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」（128ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

2　用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。





ガイド

用紙の保管については、「第２章　用紙について」（17ページ）を参照してください。

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠注意

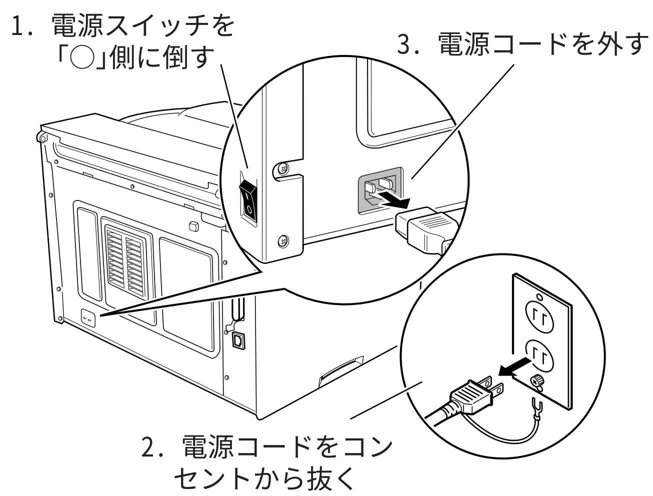
けが　プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約18kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタの正面を体の方に向け、底部の取っ手を両手でしっかりと持ってください。必要に応じて２人で持ち運んでください。

ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

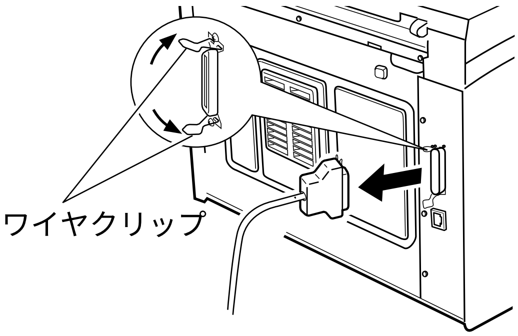


1 *電源の切断を確認し、電源コードを取り外す*

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

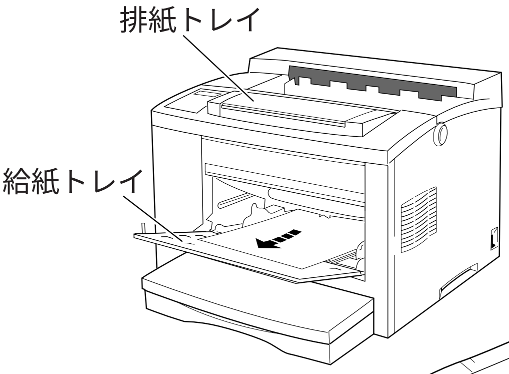
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」（128 ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



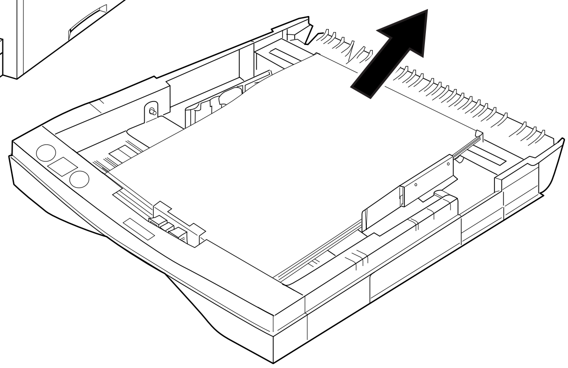
2 プリンタケーブルを抜く

パラレルインタフェースコネクタからプリンタケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、ケーブルを外します。

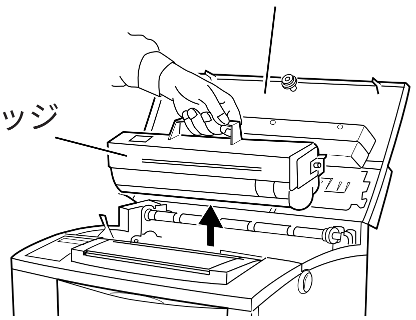


3 用紙を取り出す

用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。



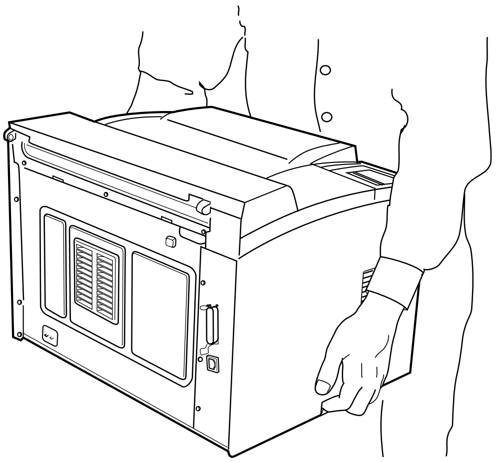
ガイド 用紙の保管については、「第２章　用紙について」（17ページ）を参照してください。



4 プロセスカートリッジを取り外す

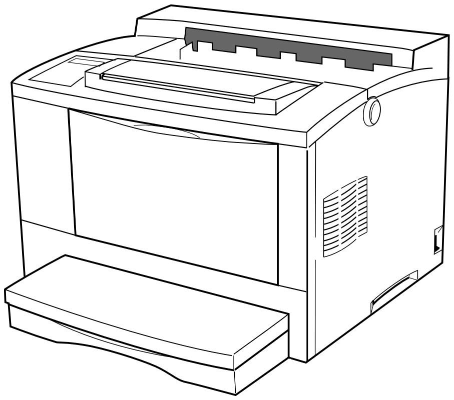
プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。

- プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。
- 取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。



5 プリンタを移動する

プリンタを持って、静かに移動します。



6 適切な場所に、プリンタを設置し直す

お願い

設置し直すときの手順については「設置手順」（26ページ）を参照してください。

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

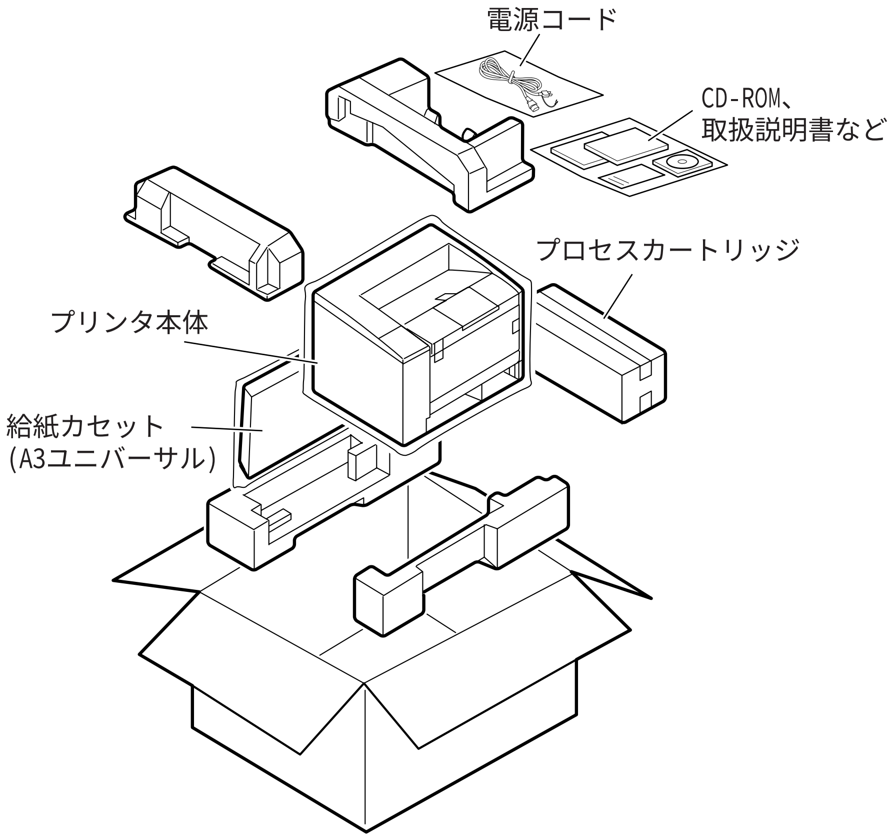
「近くに移動する」の手順１～４（65 ページ）に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

左図のように梱包して、運搬してください。

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（59 ページ）も合わせて参照してください。

- 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第6章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

液晶ディスプレイの表示内容 72
オペレータパネルを操作する 74
オンライン状態とオフライン状態を切り替える......... 74
印刷方向と給紙口を一時的に切り替える 74
縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する
(メニュー印刷設定モード)...... 77
プリンタをリセットする 81
印刷を中止する 81
未印刷データを強制的に印刷する 82

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。１行 16 文字で２段に表示されます。通常時と Printia XL ドライバ印刷時とでは、表示内容が異なります。

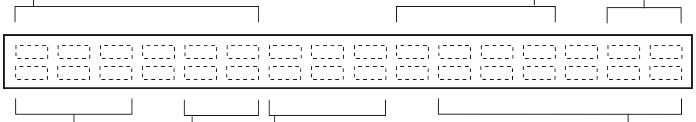
障害が発生すると全行でエラーメッセージを表示します。「エラーメッセージが表示されたとき」（128 ページ）を参照してください。

通常時の表示内容

●状態表示
プリンタの状態を表示します。
□□□□：レディ状態
セーフ゛：パワーセーブ状態
ウォーム：ウォームアップ状態

●パソコンインタフェース
オンライン／オフラインを表示します。
オフライン□：オフライン状態
オンライン□：オンライン状態（データ未受信）
オンライン１：オンライン状態（プリンタケーブル経由でのデータ受信）
オンライン２：オンライン状態（LAN経由でのデータ受信）

●動作モード
設定されているモードを表示します。
ＥＰ：ESC/Pモード
ＥＧ：ESC/Pageモード
ＰＣ：PC-PR201モード



●印刷方向
設定されている印刷方向を表示します。
タテ□：縦方向印刷
タテヨ：余白付き縦方向印刷
ヨコ□：横方向印刷
ヨコヨ：余白付き横方向印刷

●給紙口／用紙サイズ
設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。
１－××××：カセット１
２－××××：カセット２
Ｍ－××××：給紙トレイ
注：××××には、現在セットされている用紙サイズ、または給紙トレイサイズで設定した用紙サイズを表示します。(『ハガキ』と『フテイ』は、給紙トレイ(Ｍ－××××)のときのみ表示されます。

××××		
	『Ａ３□□』	Ａ３用紙
	『Ｂ４□□』	Ｂ４用紙
	『Ａ４□□』	Ａ４用紙
	『Ｂ５□□』	Ｂ５用紙
	『Ａ５□□』	Ａ５用紙
	『ＬＧＬ□』	リーガル用紙
	『ＬＴＲ□』	レター用紙
	『ハガ゛キ』	ハガキ用紙
	『フテイ□』	不定形用紙

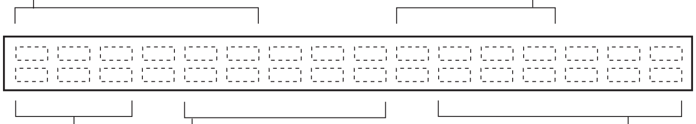
●縮小印刷
設定されている縮小印刷を表示します。
□□：100%印刷
７５：75% 縮小印刷
７０：70% 縮小印刷
ＬＡ：リストA4印刷
ＬＢ：リストB4印刷
ＨＸ：ＨＥＸダンプ印刷

●消耗品
トナーの残量が少なくなったときに表示します。
□□□：トナーがある状態
トナー：トナーが残り少ない状態

Printia XL ドライバ印刷時の表示内容

●パソコンインタフェース
オンライン／オフラインを表示します。
オフライン□：オフライン状態
オンライン□：オンライン状態
（データ未受信）
オンライン１：オンライン状態
（プリンタケーブル経由でのデータ受信）
オンライン２：オンライン状態
（LAN経由でのデータ受信）

●状態表示
プリンタの状態を表示します。
□□□□：レディ状態
セーブ゛：パワーセーブ状態
ウォーム：ウォームアップ状態



●給紙口／用紙サイズ
設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。
１－××××：カセット１
２－××××：カセット２
Ｍ－××××：給紙トレイ
注：××××には、現在セットされている用紙サイズ、または給紙トレイサイズで設定した用紙サイズを表示します。『ハガキ』と『フテイ』は、給紙トレイ（M－××××）のときのみ表示されます。

××××	『Ａ３□□』	：Ａ３用紙
	『Ｂ４□□』	：Ｂ４用紙
	『Ａ４□□』	：Ａ４用紙
	『Ｂ５□□』	：Ｂ５用紙
	『Ａ５□□』	：Ａ５用紙
	『ＬＧＬ□』	：リーガル用紙
	『ＬＴＲ□』	：レター用紙
	『ハカ゛キ』	：ハガキ用紙
	『フテイ□』	：不定形用紙

●描画位置
プリンタ内部でビットマップメモリに描画している状態を表わします。
□□□□□□：描画開始前
▷▷▷▷▷：１ページ描画開始（※）
※20%データを処理する毎に左から▷が▶に変わります。

●消耗品
トナーの残量が少なくなったときに表示します。
□□□：トナーがある状態
トナー：トナーが残り少ない状態

ガイド　Printia XL ドライバ印刷時の縮小印刷、印刷方向、給紙口、用紙サイズは、パソコンで設定した内容に従います。

オペレータパネルを操作する

プリンタから印刷する際には、給紙口を切り替えたり、用紙の印刷方向を切り替えたりするためにオペレータパネルを操作します。

オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、オペレータパネルの「オンライン」スイッチによって切り替えます。

オンライン状態

オンライン

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。

通常、電源を投入するとオンライン状態になり、「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に「オンライン」スイッチを押すと、オンライン状態になります。

オフライン状態

オフライン

パソコンからのデータを受信できない状態をいいます。

オンライン状態のときに「オンライン」スイッチを押すと、オフライン状態になります。印刷中に押すと、液晶ディスプレイに『ハイシュツショリチュウ』と表示され、印刷後オフライン状態に切り替わります。

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える

オンライン状態のときに「給紙口」または「印刷方向」スイッチを押すと、一時的に設定を切り替えることができます。ただし、次の３つの場合は無効です。

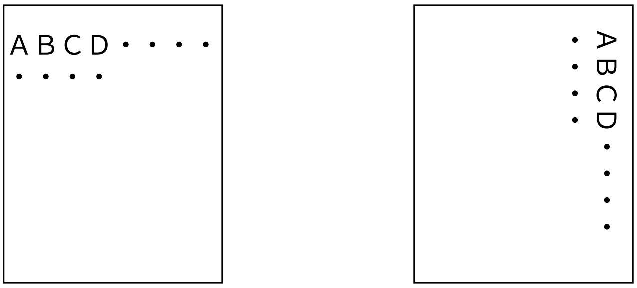
- 未印刷データがある場合（データランプ点灯中）
- オンライン状態で HEX ダンプ印刷設定中
- Printia XL ドライバで印刷中(ドライバの設定が優先されます。)

設定中は液晶ディスプレイに『インサツ　セッテイ』と表示されます。また、設定中に「オンライン」スイッチを押すと設定を終了し、オンライン状態に戻ります。

印刷方向を一時的に切り替える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するか否かを一時的に変更します。設定値は電源を切ると元に戻ります。

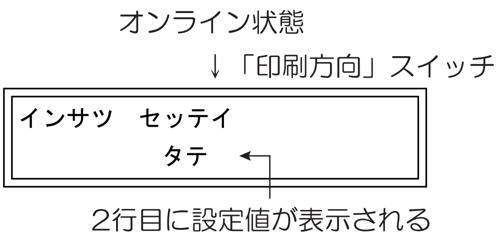
「印刷方向　縦」「印刷方向　横」は、それぞれ次のように印刷されます。



印刷方向　縦　　　　印刷方向　横

印刷方向の切り替えかた

1 ***オンライン状態で「印刷方向」スイッチを押し、目的の印刷方向を表示する***



スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の印刷方向が表示されるまで、「印刷方向」スイッチを押します。

選択できる設定値には、次の４種類があります。

設定値	機 能
タテ	縦方向で印刷します。
タテヨ	余白付きの縦方向で印刷します。
ヨコ	横方向で印刷します。
ヨコヨ	余白付きの横方向で印刷します。

2 ***「オンライン」スイッチを押して設定を確定する***

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の印刷方向に設定されます。

・余白なしの場合、上端および左端の余白は、次の値になります。

動作モード	印刷方向　縦		印刷方向　横	
	上端余白	左端余白	上端余白	左端余白
ESC/P モード(注)	8.5 または 22mm	5 mm	8.5 または 22mm	5 mm
ESC/Page モード	5 mm	5 mm	5 mm	5 mm
PC-PR201 モード	5 mm	7.9mm	7.9mm	5 mm

注：ESC/P モードの上端余白（印刷方向の縦／横とも）は、「給紙位置」（108 ページ）の設定値になります。

・余白付きの場合、「余白設定」（90、94、95 ページ）で設定した「上端」および「左端」の値に従って印刷されます。余白付きはESC/P および PC-PR201 モード時に有効になります。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは､印刷方向を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

ガイド

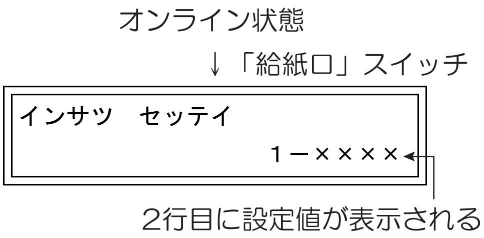
縮小印刷の表示が『ＬＡ』､『ＬＢ』または『ＨＸ』の場合は、印刷方向を切り替えることができません。

給紙口を一時的に切り替える

用紙を供給する場所を一時的に切り替えます。設定値は電源を切ると元に戻ります。

給紙口の切り替えかた

1　***オンライン状態で　「給紙口」スイッチを押し、目的の給紙口を表示する***



スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の給紙口が表示されるまで､「給紙口」スイッチを押します。

設定値(＊)	機　能
１－××××	１段目のカセットから給紙します。
２－××××	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 ２段目のカセットから給紙します。
Ｍ－××××	給紙トレイから給紙します。

（＊）××××には、次の用紙サイズが表示されます。

Ａ３：Ａ３縦	Ｂ５　：Ｂ５横	ＬＴＲ　：レター横
Ｂ４：Ｂ４縦	Ａ５　：Ａ５横	ハガ゛キ：ハガキ縦
Ａ４：Ａ４	ＬＧＬ：リーガル縦	フテイ　：不定形用紙

「ハガキ」と「フテイ」は、給紙トレイ(Ｍ－××××)のときのみ表示されます。

2 「オンライン」スイッチを押して設定を確定する

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の給紙口に設定されます。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは､給紙口を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数を一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)

メニュー印刷設定モードでは、次の設定ができます。

・縮小印刷 .... 縮小印刷の種類を、一時的に切り替える
・給紙トレイサイズ ...... 給紙トレイから印刷する用紙のサイズを、一時的に切り替える
・不定形サイズ .... 給紙トレイで不定形用紙を使うときの用紙サイズを、一時的に切り替える
・コピー枚数 .... 印刷部数を一時的に切り替える

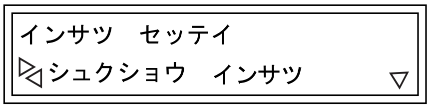
メニュー印刷設定モードで設定した内容は､プリンタの電源を切ると元の設定に戻ります。

ガイド

次の場合、メニュー印刷設定モードは無効です。
・未印刷データがある場合(データランプ点灯中)
・オンライン状態で HEX ダンプ印刷設定中
・Printia XL ドライバで印刷中(ドライバの設定が優先されます。)

メニュー印刷設定モードの操作方法

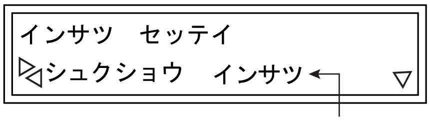
オンライン状態
↓「メニュー」スイッチ



1 オンライン状態で　「メニュー」スイッチを押す

メニュー印刷設定モードに入り、液晶ディスプレイに「インサツ　セッテイ」と表示されます。

↓「▶」または「◀」スイッチ



設定項目が切り替わる

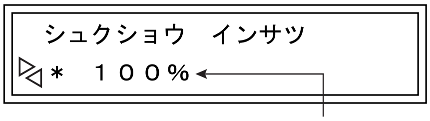
↓「▼」スイッチ

2 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の項目を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定項目が表示されたら「▼」スイッチを押します。

不定形サイズを設定するときにのみ、さらに「▶」または「◀」スイッチを押し、「フテイケイ　タテ」または「フテイケイ　ヨコ」を選び、「▼」スイッチを押します。

↓「▶」または「◀」スイッチ



設定値が切り替わる

3 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の設定値を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定値が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

↓「設定」スイッチ
↓「オンライン」スイッチ

4 「設定」スイッチ、「オンライン」スイッチを押し、設定を確定する

メニュー印刷設定モードで設定できる項目と値の一覧を、次の表に示します。

設定項目		設定値	機　能
ｼｭｸｼｮｳ ｲﾝｻﾂ		100%	縮小せずに印刷します。メニュー印刷設定モードを解除すると、液晶ディスプレイの表示は『□□』となります。
		75%	75%に縮小して印刷します。
		70%	70%に縮小して印刷します。
		ﾘｽﾄｲﾝｻﾂ　A4	ストックフォーム用印刷データを 75%に縮小し、A4 用紙に横方向で印刷します。
		ﾘｽﾄｲﾝｻﾂ　B4	ストックフォーム用印刷データをB4用紙に横方向で印刷します。
ｷｭｳｼﾄﾚｲ ｻｲｽﾞ		Ａ４	A4 サイズに設定します。
		Ｂ５	B5 サイズに設定します。
		Ａ５	A5 サイズに設定します。
		ﾘｰｶﾞﾙ	リーガルサイズに設定します。
		ﾊｶﾞｷ	ハガキに設定します。
		ﾌﾃｲｹｲ	不定形用紙に指定します。 不定形用紙のサイズは『フテイケイ サイズ』で設定します。
		ﾚﾀｰ	レターサイズに設定します。
		Ａ３	A3 サイズに設定します。
		Ｂ４	B4 サイズに設定します。
ﾌﾃｲｹｲ ｻｲｽﾞ	ﾌﾃｲｹｲ ﾀﾃ	×××　mm	不定形用紙の縦と横の長さを指定します。１mmずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
	ﾌﾃｲｹｲ ﾖｺ	×××　mm	スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに速くなります。） 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は下の※を参照してください。
ｺﾋﾟｰ ﾏｲｽｳ		××　ﾏｲ	印刷する部数を設定します。初期値は１枚です。１枚ずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに速くなります。） 設定範囲は１枚から 99 枚です。

※ 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm～ 420 mm	100 mm～ 297 mm
初期値	420 mm（Ａ３相当）	297 mm（Ａ３相当）

ガイド

- メニュー印刷設定モードのときに「オンライン」スイッチを押すと、メニュー印刷設定モードを終了し、オンライン状態に戻ります。
- 設定値は電源を切ると元に戻ります。
- プリンタ内に未印刷データがあると、設定を切り替えることができない場合があります。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。
- 縮小印刷の切り替えについて
  - ESC/Page モードでは、縮小印刷の「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」は表示されません。
  - 縮小印刷の表示が「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」のときは、コマンドで ESC/Page モードへ移行することはできません。
  - 縮小印刷を「リストインサツ A4」「リストインサツ B4」に設定し、プリンタに設定値を登録した場合、セットアップの「エミュレーション設定」を ESC/Page モードに切り替えると、縮小印刷は「□□」に切り替わります。
- 給紙トレイサイズで設定した用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。
- コピー枚数(印刷部数)の設定では、COPY コマンドが優先するため、設定した枚数が印刷されない場合があります。

プリンタをリセットする

プリンタをリセット（初期化）します。
リセットすると未印刷データは消去されます。

ガイド　プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタを初期化すると、未印刷データは消去されます。

オンライン状態
↓「オンライン」スイッチ

オフライン

1　「オンライン」スイッチを押してオフライン状態にする

↓「リセット」スイッチ

ショキカ　シマスカ？

2　「リセット」スイッチを押す

ガイド　初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

↓「リセット」スイッチ

ショキカチュウ

3　再度、「リセット」スイッチを押す

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、「オンライン」スイッチを押します。

印刷中
↓「オンライン」スイッチ

ハイシュツ　ショリチュウ

↓
オフライン状態

1　「オンライン」スイッチを押す

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

続いて初期化する場合は、前項の「プリンタをリセットする」の手順２と３の操作を行います。

未印刷データを強制的に印刷する

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

本プリンタは、パソコンから１ページ分のデータを受信したとき、または排出コマンドを受信したときに、初めて印刷を実行します。したがって、データを受信しても１ページに満たない状態や排出コマンドを受信していない状態では、データがプリンタ内に残っています。

強制印刷をする

次のようなときに強制印刷をします。
・データランプが点灯したままで印刷しないとき
・パソコンからのデータ受信を中断し、強制的に印刷させるとき

ガイド　データのないとき（データランプ消灯時）は、強制印刷できません。

強制印刷は、以下の手順で行います。

オンライン状態
↓「オンライン」スイッチ

オフライン

↓「排出」スイッチ

ハイシュツ　ショリチュウ

1　「オンライン」スイッチを押し、オフライン状態にする

2　「排出」スイッチを押す

印刷された用紙が排出され、データランプは点灯から消灯に変わります。

強制印刷を中断する

強制印刷を中断するには、用紙を排出中にもう一度「排出」スイッチを押します。強制印刷を中断し、印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になります。

強制印刷を取り消す

強制印刷を取り消すには、用紙を排出中に「リセット」スイッチを押します。現在印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になり、液晶ディスプレイに『ショキカシマスカ？』と表示されます。

初期化するときは、再度、「リセット」スイッチを押します。強制印刷は取り消され、初期化されます。

初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押します。再び強制印刷が実行されます。

第7章

設定値を変える

本プリンタの持つ機能は、セットアップで変更します。この章では、セットアップで設定できる内容と、設定の操作について説明します。

セットアップ項目について 86

メニュー印刷 ～ 設定内容を印刷する 86

テスト印刷 ～ テスト印刷をする 86

エミュレーション設定 ～ 動作モードを切り替える 87

印刷設定 ～ 印刷のときの設定を変える 87

EP モード設定 ～ ESC/P モードの印刷条件を設定する 89

EG モード設定 ～ ESC/Page モードの印刷条件を設定する 91

PC モード設定～ PC-PR201 モードの印刷条件を設定する 92

環境設定 ～ 日常の操作に必要な設定値を変える 95

補助機能設定 ～ 補助機能を設定する 97

登録 ～ 設定値を登録する 102

保守モード ～ 保守モードを設定する 102

設定の変更手順(セットアップの操作方法) 103

基本的な操作 103

選んだ項目に設定する操作 103

数値を設定する操作 105

メニュー印刷やテスト印刷を行う操作 105

HEX ダンプ印刷を行う操作 106

セットアップ項目一覧 107

セットアップ項目について

プリンタの設定値は、セットアップモードで変更することができます。ここでは、セットアップモードで設定できる各項目について説明します。

メニュー印刷 ～ 設定内容を印刷する

プリンタおよびLANポートの現在の設定内容を印刷します。A4サイズの用紙を基準とし、A4より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

エミュレーション設定

カレントエミュレーション設定
＝ＰＣ－ＰＲ２０１モード

印刷設定

印刷方向	＝	縦余白
給紙口	＝	給紙トレイ
縮小印刷	＝	リスト印刷Ａ４
給紙トレイサイズ	＝	リーガル

不定形サイズ

縦方向	＝	４２０mm
横方向	＝	２９７mm

コピー枚数	＝	９９枚

ＥＳＣ／Ｐモード設定

ＰＣ－ＰＲ２０１モード設定

１バイト系ゼロ	＝	０
２バイト系ゼロ	＝	０
ＡＮＫ文字	＝	イタリック
漢字書体	＝	ゴシック体
漢字文字サイズ	＝	１０．５ポ
各国文字	＝	スウェーデン
１３６／ＬＭ設定	＝	１３６桁モード
ＬＭ位置設定	＝	１５／１０インチ
用紙位置設定	＝	中央
書き出し桁位置	＝	－１５／１０インチ
自動ＣＲ＆ＬＦ	＝	ＣＲ＆ＬＦ
印刷指令	＝	ＣＲ＋その他
ＣＲコード	＝	ＣＲ＆ＬＦ
グラフィックモード	＝	ネイティブモード
コード系	＝	８ビット

縦余白設定

縦上端余白	＝	５０．０mm
縦左端余白	＝	５０．０mm

横余白設定

横上端余白	＝	５０．０mm
横左端余白	＝	５０．０mm

テスト印刷 ～ テスト印刷をする

ANK文字（英数字、記号）や、各種の漢字文字によるテスト印刷を行います。印刷は現在選択している給紙口の用紙に行います。

テスト印刷が終わると、プリンタは初期化(リセット)されます。

エミュレーション設定 ～ 動作モードを切り替える

プリンタの動作モード（エミュレーションモード）を切り替えます。

本プリンタには、次のエミュレーションモードがあります。
・ESC/P モード .... セイコーエプソン VP-1000 相当
・ESC/Page モード ...... セイコーエプソン LP-8000S 相当
・PC-PR201 モード ...... 日本電気 PC-PR201 系シリアルプリンタ相当

お願い

- **Windows 対応のアプリケーションソフトで印刷する場合は、添付のPrintia XL ドライバ、またはFUJITSU ESC/Page プリンタドライバをおすすめします。**
- **ESC/P、ESC/Page、PC-PR201 の各エミュレーションモードから Printia XL ドライバまたは FUJITSU ESC/Page への切り替えは、印刷を実行する際に自動的に行われます。オペレータパネルで設定する必要はありません。**

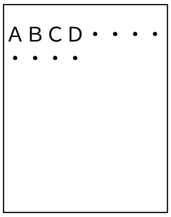
印刷設定 ～ 印刷のときの設定を変える

印刷の際に必要な設定値を変えます。

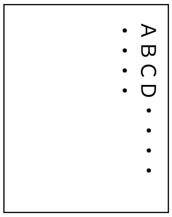
項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

印刷方向 ～ 印刷方向を変える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するかどうかを設定します。



印刷方向　縦



印刷方向　横

ガイド

- 「リスト印刷」が設定されている場合、印刷方向は表示されません。
- 余白付きの設定は、ESC/P および PC-PR201 モードのとき、有効になります。

給紙口 ～ 給紙口を変える

カセット１、カセット２(オプションの給紙カセット)、および給紙トレイのどの給紙口から給紙するかを設定します。

ガイド　自動的に用紙の選択をする方法は、「自動給紙」(111ページ)で設定します。

縮小印刷 ～ 縮小印刷を指定する

縮小印刷の種類を設定します。100 %、75%、70%、およびストックフォーム用印刷データの縮小印刷について設定できます。

ガイド
・ESC/Pageモードでは、ストックフォーム用印刷の設定(リスト印刷)は設定できません。
・ESC/Pageモードのときに75%または70%に設定すると、用紙サイズ設定コマンドは無視され、現在の給紙口から印刷されます。

給紙トレイサイズ ～ 給紙トレイの用紙サイズを変える

給紙トレイから印刷するときの用紙のサイズを設定します。

お願い

セットした用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

不定形サイズ ～ 不定形用紙のサイズを設定する

給紙トレイで不定形用紙を使うときに、その用紙のサイズを設定します。用紙の縦と横それぞれについて、mm単位の３桁で設定します。

不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm～420 mm	100 mm～297 mm
初期値	420 mm（A３相当）	297 mm（A３相当）

コピー枚数 〜 印刷する部数を設定する

印刷する部数を、１枚〜 99 枚までの範囲で設定します。

ガイド 本設定と COPY コマンドによる設定では、後からの設定が有効となります。このため、設定した枚数が印刷されない場合があります。

EP モード設定 〜 ESC/P モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/P モードで使うときの印刷条件を設定します。

文字コード 〜 文字コード表を指定する

英数カナ文字コード部分のコード表を指定します。

給紙位置 〜 印刷開始位置を設定する

用紙の印刷開始位置を設定します。

右マージン位置 〜 右マージンを設定する

用紙の右マージンを設定します。

ANK 文字〜 ANK 文字の書体を設定する

使用する ANK 文字（英数字、記号）の書体を設定します。

漢字書体〜 漢字の書体を設定する

使用する漢字の書体を設定します。

CR コード〜 CR(復帰コード)の動作を設定する

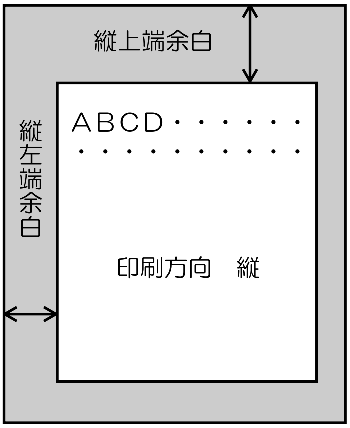
CR(復帰コード)の動作に、改行動作を加えるかどうかを設定します。

縦余白設定 ～ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

「給紙位置」（108ページ）の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5mm	8.5～50mm	5～50mm
22mm	22～50mm	5～50mm

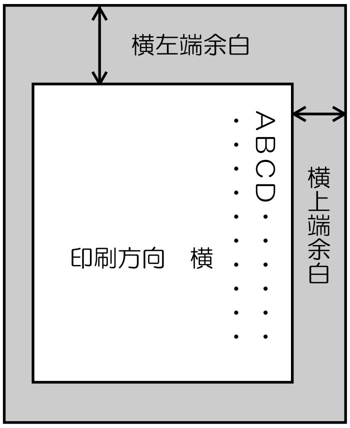


横余白設定 ～ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

「給紙位置」（108ページ）の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5mm	8.5～50mm	5～50mm
22mm	22～50mm	5～50mm



EG モード設定 ～ ESC/Page モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/Page モードで使うときの印刷条件を設定します。

復帰改行 ～ 自動的に復帰改行する

自動復帰改行動作を行うかどうかを設定します。

自動復帰改行とは、印刷データが用紙の右端を超えたときに、自動的に改行し、印刷位置を次の行の先頭に移動することをいいます。

改ページ ～ 自動改ページの動作を設定する

印刷データが用紙の下端を超えたときに、自動的に改ページするかどうかを設定します。

CR コード ～ CR（復帰コード）の動作を設定する

CR（復帰コード）の動作に改行動作を加えるかどうかを設定します。

LF コード ～ LF（改行コード）の動作を設定する

LF（改行コード）の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

FF コード ～ FF（改ページコード）の動作を設定する

FF（改ページコード）の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

エラーコード ～ 未定義文字の処理を設定する

未定義文字を受信したときの動作を設定します。

イメージパターン ～ イメージパターンを設定する

イメージデータを補正するかどうかを設定します。イメージデータの印刷品質が悪い場合に補正すると、アプリケーションによっては品質が向上することがあります。

メモリオーバー解除 ～ メモリオーバーエラーの自動解除を設定する

メモリオーバーエラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除し、印刷処理を続行するかどうかを設定します。

メモリオーバーエラーとは､外字／マクロ／オーバレイなどを登録するためのメモリが容量不足になることをいいます。

給紙トレイ番号 ～ 給紙トレイ番号を設定する

給紙装置選択コマンドにおいて、拡張設定を行います。

お願い

本設定は変更しないでください。。

PC モード設定 ～ PC-PR201 モードの印刷条件を設定する

プリンタを PC-PR201 モードで使う場合の印刷条件を設定します。

1 バイト系ゼロ ～ 1 バイト系コードの 0（ゼロ）の書体を設定する

１バイト系コード文字(ANK 文字)の数字 0(ゼロ)に使用する書体を設定します。

2 バイト系ゼロ ～ 2 バイト系コードの 0（ゼロ）の書体を設定する

２バイト系コード文字(かな漢字文字)の数字0(ゼロ)に使用する書体を設定します。

ANK 文字 ～ ANK 文字を設定する

ANK 文字に使用する書体を設定します。

漢字書体 ～ 漢字書体を設定する

かな漢字文字の書体を設定します。

漢字文字サイズ ～ 漢字文字サイズを設定する

かな漢字文字のサイズを設定します。

各国文字 ～ 各国文字を設定する

国別文字コードを設定します。

136/LM 設定 ～ 136/LM 設定モードを指定する

印刷位置の設定方法を選択します。

LM 位置設定 ～ LM 位置を設定する

用紙の最左端印刷位置を基準として、印刷開始位置までの左マージン量（LM 位置）を設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「LM 初期設定」を選択したときに有効になります。

用紙位置設定 ～ 用紙位置を設定する

用紙位置を左合わせにするか、中央合わせにするかを設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「136 桁モード」を選択したときに有効になります。

書出し桁位置設定 ～ 書出し桁位置を設定する

用紙位置の微調整が必要なときに、書出し桁位置を左右方向へ 1/10 インチ単位で設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「136 桁モード」を選択したときに有効になります。

自動 CR & LF ～ 自動 CR & LF の動作を設定する

印字データが右側の印刷可能範囲を超えたとき、自動的に復帰改行動作をするか、復帰のみの動作をするかを設定します。

印刷指令 ～ 印刷指令を設定する

印刷指令の制御コードを CR コードのみとするか、CR コード＋その他とするかを設定します。

CR コード ～ CR（復帰コード）の動作を設定する

CR コードを受けたときに改行動作を加えるかどうかを設定します。

グラフィックモード ～ グラフィックモードを設定する

グラフィックの横方向のドットピッチを設定します。

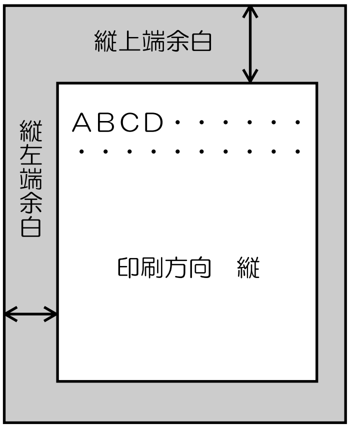
コード系 ～ コード系を設定する

使用するコード系を、８ビット系にするか、７ビット系にするかを設定します。

縦余白設定 ～ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

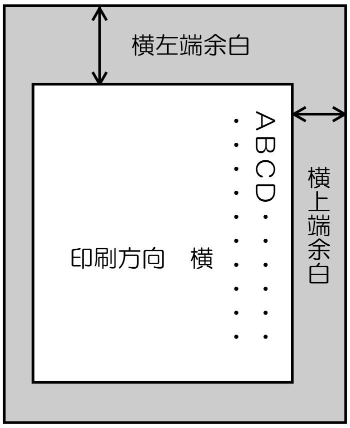
上端余白は5～50mm、左端余白は7.9～50mmの範囲で設定できます。



横余白設定 ～ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1mm 単位で設定します。

上端余白は7.9～50mm、左端余白は5～50mmの範囲で設定できます。



環境設定 ～ 日常の操作に必要な設定値を変える

日常操作する際に必要な設定を変更します。項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

スムージング ～ 印刷結果を滑らかにする

文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかにして印刷するかどうかを設定します。

トナーセーブ ～ トナーを節約する

印刷時のトナー量を少なくして、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

ガイド トナーセーブを行う設定にしたときは、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。

自動給紙 ～ 自動的に給紙する

選択されているカセットの用紙がなくなったときに、他のカセットまたは給紙トレイから給紙するかどうかを設定します。またコマンドで指定した用紙サイズ／給紙口／印刷方向に関して、給紙口の自動選択を行います。

ブザー ～ ブザー鳴動を設定する

紙づまりが発生したり、給紙カセット内の用紙がなくなったりなど、アラームが発生したとき、ブザーを鳴らすかどうか設定します。アラームが発生してもブザーが鳴らないように設定を変えることができます。

タッチ音 ～ タッチ音の設定をする

オペレータパネルのスイッチを押すとタッチ音が鳴るようにするか、しないかを設定します。

データ保証 ～ 紙づまりのデータを保証する

データ保証をするかどうかを設定します。

データ保証とは、紙づまりが発生したときに、そのデータをもう一度印刷し直す機能をいいます。

ガイド　データ保証を「解除」すると、紙づまりが発生したときに、そのページが抜けてしまいます。

データなし印刷 ～ 印刷データのないページを印刷する

データのないページを印刷(白紙印刷)するかどうかを設定します。

データのないページとは、パソコンから受信したデータが改ページをともなったコマンドのみで、印刷するデータがないページのことをいいます。

タイマー監視 ～ タイマー監視印刷を指定する

タイマー監視印刷をするかどうかを設定します。

タイマー監視印刷とは、プリンタがパソコンから最後のデータを受信してから一定時間内に後続のデータが送られなかったとき、今まで受信したデータを自動的に印刷する機能をいいます。

お願い

タイマー監視印刷を指定すると、パソコンの状態や、アプリケーションの動作速度によっては、ページの途中で用紙が排出されてしまうことがあります。このような場合は、タイマー監視印刷を解除するか、設定時間を長くしてください。

給紙トレイ印刷 ～ 用紙サイズの優先を設定する

給紙トレイの用紙サイズについて、コマンドと設定のどちらを優先するかを指定します。

コマンド優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っていても強制的にパソコンで指定した用紙サイズで印刷する機能です。

また、設定優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っている場合には「用紙サイズ不一致」アラームを表示する機能です。

補助機能設定 ～ 補助機能を設定する

プリンタを使用する上での、補助的な機能について設定します。

パワーセーブ時間 ～ 消費電力を節約する

パワーセーブを行うかどうかを設定します。また、パワーセーブを行うまでの時間を設定します。

パワーセーブとは、一定時間印刷しなかった場合に、定着器の電源を自動的に切断し、消費電力を節約する機能です。

ガイド

プリンタがパワーセーブ状態になると、液晶ディスプレイに『セーブ゛』と表示されます。パワーセーブ機能によって切断された定着器の電源は、次に印刷するときに自動的に投入されます。定着器の電源が投入されてから実際に印刷が始まるまでは、約45秒かかります。この間、液晶ディスプレイには『ウォーム』と表示されます。

ポート切替時間 〜 ポート切替時間を設定する

ポート切替を行うまでの時間を指定します。

ポート切替とは､一定時間印刷しなかった場合に他のポートからの印刷を可能にする機能のことをいいます。

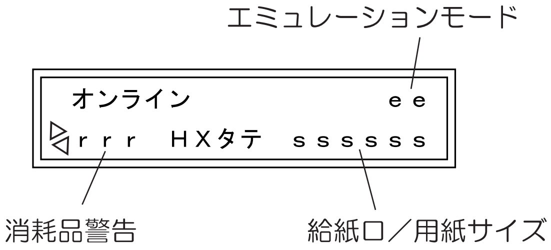
トナーセーブ補正 〜 輪郭を補正する

トナーセーブを設定したときに､データの輪郭部分のドットを強調して印字するかどうかを設定します。

HEX ダンプ印刷 〜 ヘキサダンプ形式で印刷する

HEX ダンプ印刷とは、パソコンからプリンタに送られる印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16 進数のデータで印刷する機能です。この機能は、パソコンからのデータがプリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などに使用します。

HEXダンプ印刷を行う状態にすると､液晶ディスプレイの表示は､次のようになります。



HEX ダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを２回押します。

ポート１設定 〜ポート１のインタフェースタイミングを設定する

プリンタケーブル経由でデータ受信する場合に接続するパラレルポートのインタフェースタイミングを設定します。

バイセントロモード、ACKタイミング、およびビジーディレイについて設定します。

バイセントロモード

双方向インタフェースを有効にするかどうかを設定します。

ガイド　バイセントロモードを「解除」する設定にすると、Printianavi の双方向機能、および Windows95 の Plag&Play 機能が使えなくなります。

ACK タイミング

ACK 信号のパルス幅を設定します。

ACKのパルス幅は、バイセントロモードとの組み合わせにより次のとおりになります。

ACK タイミング ＼ バイセントロモード	設定	解除
高速	1 μｓ	2.5 μｓ
標準	2.5 μｓ	5 μｓ

ビジーディレイ

ACK 信号と BUSY 信号の位置関係を設定します。接続するパソコンの仕様に合わせて設定します。

ビジーディレイは、バイセントロモードと ACK タイミングとの組み合わせにより次のとおりになります。

ACK タイミング ＼ バイセントロモード	設定	解除
高速	Ａ－Ｂ固定	Ａ－Ｂ固定
標準	Ａ－Ｂ固定	設定値

INIT 受信

INIT 信号を受信したときの初期化を有効にするかどうかを設定します。

LAN 設定 ～ ネットワークを設定する

ネットワークのプロトコル、Ethernet タイプ、TCP/IP について設定します。

ガイド 「LAN 設定」内の設定値を変更すると、セットアップモードを終了する際にプリンタをリセット(初期化)します。

プロトコル

TCP/IP および NetWare を有効にするかどうかを設定します。

ガイド NetWare を無効にすると、パソコンからネットワーク設定ユーティリティは使用できません。

Ethernet タイプ

Ethernet のタイプを設定します。

TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびポート番号を設定します。

IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCPにより自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP`自動取得」を「解除」してください。

TCP/IPの設定を行ってもTCP/IPが正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷を行い、「TCP/IP 動作状態コード」を確認してください(101 ページ参照)。

TCP/IP 動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続 されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続 されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCP により取得した IP アドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。

DHCP クライアントの予約について

DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照するか(41 ページ)、またはメニュー印刷を行うと出力されます(86 ページ)。

ガイド TCP/IP を「無効」にした場合、本項目は表示されません。

LAN 初期化

『LAN 設定』の内容を工場出荷時の初期値に戻します。

登録 ～ 設定値を登録する

セットアップモードで設定した内容(「LAN設定」(100ページ)を除く)をプリンタに記憶させたり、各設定値を工場出荷時の値に戻したり、または各設定値を読み出したりします。

ガイド　設定値を登録しないと、セットアップで変更した値は電源を切ると元の値に戻ります。

保守モード ～ 保守モードを設定する

保守に必要な表示、およびソフトスイッチの設定を行います。

お願い　**保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的には使用しないでください。**

設定の変更手順(セットアップの操作方法)

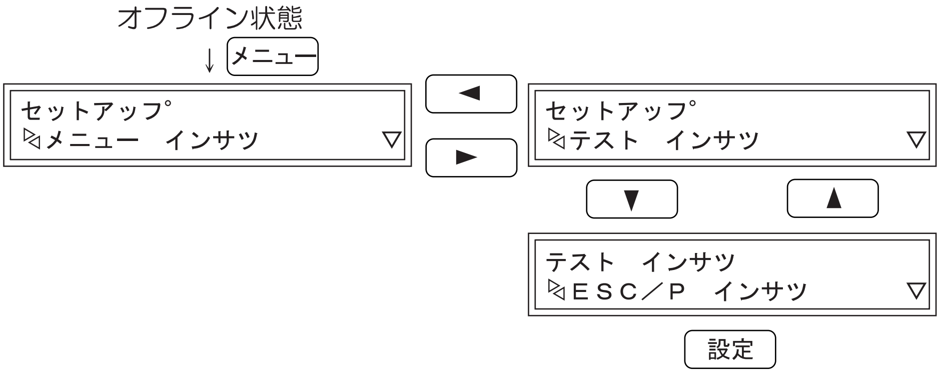
プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、セットアップモードで行います。

基本的な操作

セットアップモードでは、目的の設定値を上位の階層から順に選んで表示させ、設定します。設定値までの階層の深さは項目によって異なります。

セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

「メニュー」スイッチ ....セットアップモードに入ります。
「▲」または「▼」スイッチ ....階層を移動します。
「▶」または「◀」スイッチ ....同じ階層内で項目を切り替えます。
「設定」スイッチ ....表示中の値に設定します。



選んだ項目に設定する操作

具体的な操作方法を以下に示します。
表示例は、給紙口を給紙トレイからカセット１に切り替えるときのものです。

1　オフライン状態で「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする

オンライン状態
↓「オンライン」スイッチ
オフライン状態
↓「メニュー」スイッチ

2 ***「▶」または「◀」スイッチで、同じ階層内の項目を切り替える***

目的の項目が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

↓「▶」「◀」

```
セットアップ゜
▷◁インサツ　セッテイ　　　　▽
```

3 ***「▼」または「▲」スイッチで、階層を移動する***

「▼」スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。「▲」スイッチを押すと、上の階層に移動します。

↓「▼」

```
　インサツ　セッテイ
▷◁インサツ　ホウコウ　　　　▽
```

4 ***2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する***

↓「▶」「◀」

```
　インサツ　セッテイ
▷◁キュウシク゛チ　　　　　　▽
```

↓「▼」

```
　キュウシク゛チ
▷◁*　キュウシトレイ　　　　▽
```

↓「▶」「◀」

```
　キュウシク゛チ
▷◁　　カセット１　　　　　▽
```

↓「設定」

```
　キュウシク゛チ
▷◁*　カセット１　　　　　▽
```

5 ***「設定」スイッチを押して、値を確定する***

「設定」スイッチを押すと、設定値の前に「＊」が表示され、その値が設定されます。

6 ***必要に応じて設定を繰り返す***

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 ***「登録」の「設定登録」を実行し、設定内容を登録する***

同様の手順で「登録」の中にある「設定登録」を実行します。これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

数値を設定する操作

不定形用紙のサイズや余白の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

設定画面を表示　↓「▶」「◀」「▲」「▼」

```
フテイケイ　ヨコ
◁＊　２９７　mm　　　　　△
```

設定画面を表示し、「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。)

値を増減　↓「▶」「◀」

```
フテイケイ　ヨコ
◁＊　２００　mm　　　　　△
```

メニュー印刷やテスト印刷を行う操作

「メニュー印刷」および「テスト印刷」では、項目を表示して「設定」スイッチを押すと、すぐに印刷が開始されます。

↓

```
テスト　インサツ
◁アウトラインモシ゛　　インサツ▽
```

「選んだ項目に設定する操作」の手順１〜3と同じ操作で目的の項目を表示して「設定」スイッチを押します。

↓「設定」

印刷開始

印刷が開始されます。

↓

印刷終了

↓

```
テスト　インサツ
◁アウトラインモシ゛　　インサツ▽
```

印刷が終わると、「設定」スイッチを押す前の表示に戻ります。

ガイド H 連続印刷は、「リセット」スイッチを押して終了します。

HEX ダンプ印刷を行う操作

「HEX ダンプ印刷」を表示して「設定」スイッチを押すと、以降、16 進数のデータで印刷されます。

「選んだ項目に設定する操作」の手順 1 〜 3 と同じ操作で「HEX ダンプ印刷」表示して「設定」スイッチを押します。

↓

```
 ホシ゛ョ キノウ セッテイ
▷◁ＨＥＸ タ゛ンフ゜インサツ ▽
```

↓「▼」

```
 ＨＥＸ タ゛ンフ゜インサツ
▷◁   セッテイ          ▽
```

↓「設定」

```
 オンライン             ｅｅ
▷◁ｒｒｒ ＨＸタテ  ｓｓｓｓｓｓ
```

↓オンライン状態

以後、パソコンからのデータは
16進数で印刷されます。

HEX ダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを 2 回押します。

セットアップ項目一覧

セットアップモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の前の「＊」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

各項目の設定方法については、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(103 ページ)を参照してください。

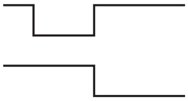
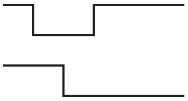
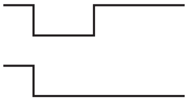
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	機　能
メニュー印刷	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷する。
	LANの印刷				現在のLANポートの設定内容を印刷する。
テスト印刷	ESC/P印刷				ESC/Pモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	ESC/Page印刷				ESC/Pageモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	PC-PR201印刷				PC-PR201モードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	アウトライン文字印刷				アウトライン文字（ANK/漢字）でテスト印刷する。
	その他の印刷			H連続印刷	「H」を連続して印刷する。
				黒ベタ印刷	印刷可能領域をすべて黒で塗りつぶして印刷する。
				白紙印刷	白紙のまま印刷する。
				格子印刷	格子を印刷する。
エミュレーション設定				＊ ESC/P	プリンタをESC/Pモードで動作させる。
				ESC/Page	プリンタをESC/Pageモードで動作させる。
				PC-PR201	プリンタをPC-PR201モードで動作させる。
印刷設定	印刷方向			＊ 縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。
				縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
				横	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。上端/左端の余白は固定。
				横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
印刷設定	給紙口			＊ カセット1	1段目の給紙カセットから給紙する。
				カセット2	2段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				給紙トレイ	給紙トレイから給紙する。
	縮小印刷			＊ 100%	縮小せずに印刷する。
				75%	75%に縮小して印刷する。
				70%	70%に縮小して印刷する。
				リスト印刷A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷する。
				リスト印刷B4	ストックフォーム用の印刷データをＢ４用紙に横方向で印刷する。
	給紙トレイサイズ			＊ A4	A4サイズに設定する。
				B5	B5サイズに設定する。
				A5	A5サイズに設定する。
				リーガル	リーガルサイズに設定する。
				レター	レターサイズに設定する。
				ハガキ	はがきに設定する。
				不定形	不定形用紙に設定する。このときの用紙サイズは、『不定形サイズ』で設定する。
				A3	A3サイズに設定する。
				B4	B4サイズに設定する。
	不定形サイズ		不定形縦	×××mm	不定形用紙の縦の長さを指定する。
			不定形横	×××mm	不定形用紙の横の長さを指定する。
	コピー枚数			××枚	印刷する部数を設定する。
EPモード設定	文字コード			＊ カタカナ	カタカナコード表(153ページ)を使用する。
				グラフィック	拡張グラフィックコード表(153ページ)を使用する。
	給紙位置			＊ 8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から8.5mmに設定する。
				22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から22mmに設定する。
	右マージン位置			＊ 用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定する。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端まで。
				136桁	用紙サイズに関係なく１３６桁（13.6インチ)に設定する。用紙幅が136桁に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されない。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
EPモード設定	ANK文字			＊ ローマン	ANK文字の書体をローマンにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				サンセリフ	ANK文字の書体をサンセリフにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			＊ 明朝	漢字の書体を明朝体にする。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にする。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作（復帰のみ）を行う。
				CR&LF	CR動作（復帰）とLF動作（改行）を行う。
	縦余白設定		縦上端余白	××.×mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。
			縦左端余白	××.×mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。
	横余白設定		横上端余白	××.×mm	横印刷のときの上端余白を設定する。
			横左端余白	××.×mm	横印刷のときの左側余白を設定する。
EGモード設定	復帰改行			＊ 設定	自動復帰改行動作を行う。
				解除	自動復帰改行動作を行わない。
	改ページ			＊ 設定	自動的に改ページする。
				解除	自動的に改ページしない。
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	LFコード			＊ CR&LF	LF動作(改ページ)とCR動作（復帰）を行う。
				LFのみ	LF動作（改行）のみを行う。
	FFコード			＊ CR&FF	FF動作(改ページ)とCR動作（復帰）を行う。
				FFのみ	FF動作(改ページ)のみを行う。
	エラーコード			＊ 無視	未定義文字を無視する。
				スペース	未定義文字をスペース(空白)に置き換える。
	イメージパターン			＊ 標準	イメージデータを補正しない。
				補正	イメージデータを補正する。
	メモリオーバー解除			＊ しない	何かスイッチが押されるまで待機する。
				する	何かスイッチが押されるか、メッセージを3秒間表示した後、印刷処理を続行する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
EGモード設定	給紙トレイ番号			＊ 3	通常仕様を設定する。
				4	拡張仕様1（3段カセットサポート機用）を設定する。
				5	拡張仕様2（4段カセットサポート機用）を設定する。
PCモード設定	1バイトケイゼロ			＊ 0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				Ø	0(ゼロ)の書体を「Ø」にする。
	2バイトケイゼロ			＊ 0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				Ø	0(ゼロ)の書体を「Ø」にする。
	ANK文字			＊ 標準	標準の書体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				イタリック	イタリックを使用する。 *abcdefghijklmnopqrstuvwxyz*
				クーリエ	クーリエを使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			＊ 明朝	明朝体を使用する。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
	漢字文字サイズ			＊ 10.5ポ	10.5ポイントにする。
				7ポ	7ポイントにする。
				12ポ	12ポイントにする。
	各国文字			＊ 日本	日本の文字コードを使用する。
				アメリカ	アメリカの文字コードを使用する。
				イギリス	イギリスの文字コードを使用する。
				ドイツ	ドイツの文字コードを使用する。
				スウェーデン	スウェーデンの文字コードを使用する。
	136/LM設定			＊ LM初期設定	「LM位置設定」の設定内容を使用する。
				136桁モード	最大印字幅を１３６桁にする。「用紙位置」「書き出し桁位置」の設定内容を使用する。
	LM位置設定			＊ ××/10インチ	印刷開始位置までの左マージン(LM位置)を設定する。用紙の左端印刷位置を基準とする。
	用紙位置設定			＊ 左	用紙位置を左合わせにする。
				中央	用紙位置を中央揃えにする。
	書き出し桁位置			＊ ×××/10インチ	用紙位置を微調整するために、書き出し桁位置を設定する。
	自動CR&LF			＊ CR&LF	復帰動作と改行動作の両方を行う。
				CRのみ	復帰動作のみを行う。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
PCモード設定	印刷指令			＊ CRのみ	CRコードのみとする。
				CR＋その他	CR、LF、VT、FF、US、ESC＋a、ESC＋bとする。
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾓｰﾄﾞ			＊ ﾈｲﾃｨﾌﾞﾓｰﾄﾞ	標準横方向のドットピッチとする。
				コピーモード	横方向のドットピッチを1/80インチに変換する。8ビットのドット列イメージを印字するときに設定する。
	コード系			＊ 8ビット	8ビット系のコードを使用する。
				7ビット	7ビット系のコードを使用する。
	縦余白設定	縦上端余白		××.×mm	上端からの余白量を設定する。
		縦左端余白		××.×mm	左端からの余白量を設定する。
	横余白設定	横上端余白		××.×mm	上端からの余白量を設定する。
		横左端余白		××.×mm	左端からの余白量を設定する。
環境設定	スムージング			＊ 設定	滑らかにする。
				解除	滑らかにしない。
	トナーセーブ			＊ 解除	節約しない。
				設定	節約する。
	自動給紙			＊ 設定	自動給紙を行う。
				解除	自動給紙を行わない。
	ブザー			＊ 設定	ブザーを鳴らす。
				解除	ブザーを鳴らさない。
	タッチ音			＊ 設定	タッチ音を鳴らす。
				解除	タッチ音を鳴らさない。
	データ保証			＊ 設定	データをもう一度印刷する。
				解除	データは印刷し直さない。
	データなし印刷			＊ 解除	印刷しない。ただし、オーバレイ登録中はデータがないときでも印刷する。
				設定	印刷する。(白紙印刷)
	タイマー監視			＊ 解除	タイマー監視印刷を行わない。
				30秒	監視時間を30秒にする。
				10秒	監視時間を10秒にする。
	給紙トレイ印刷			＊ コマンド優先	コマンドで指定した用紙サイズで印刷する。
				設定優先	オペレータパネルで指定した用紙サイズで印刷する。
補助機能設定	パワーセーブ時間			＊ 30分	30分
				60分	60分
				解除	パワーセーブを行わない。
				15分	15分
	ポート切り替え時間			××××秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。
	トナーセーブ補正			＊ 設定	補正する。
				解除	補正しない。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
補助機能設定	HEXダンプ印刷			設定	ヘキサダンプ形式で印刷する。
	ポート１設定	バイセントロモード		＊ 設定	双方向インタフェースを有効にする。
				解除	双方向インタフェースを無効にする。
		ACKタイミング		＊ 高速	パルス幅を短い値に設定する。
				標準	パルス幅を標準の値に設定する。
		ビジーディレイ		＊ A-B	ACK信号 BUSY信号 
				A-B-A	ACK信号 BUSY信号 
				B-A	ACK信号 BUSY信号 
		INITジュシン		＊ 有効	INIT受信を有効にする。
				無効	INIT受信を無効にする。
	LAN設定	プロトコル	TCP/IP	＊ 有効	TCP/IPを有効にする。
				無効	TCP/IPを無効にする。
			NetWare	＊ 有効	NetWareを有効にする。
				無効	NetWareを無効にする。
		Ethernetタイプ		＊ 自動	自動検出して動作する。
				100Mbpsフル	100bps(全二重)で動作する。
				100Mbpsハーフ	100bps(半二重)で動作する。
				10Mbps	10bpsで動作する。
		TCP/IP設定	DHCP自動取得	＊ 設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得する。
				解除	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得しない。
			IPアドレス(＊1)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
補助機能設定			サブネットマスク (＊1)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。
			ゲートウェイ (＊1)	IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する
			ポート番号	＊ 9313	印刷を受け付けるときに使用するポート番号(ダウンロード時の要求先ポート番号)を設定する (1〜65535)
		LAN初期化		設定	LAN設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻す
登録				設定呼び出し	プリンタの設定内容を読み出す。
				設定初期化	プリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻す。
				設定登録	セットアップによって設定した内容をプリンタに記憶させる。電源を切っても、設定内容は保持される。
保守モード	印刷枚数			XXXXXXXページ	
	RAM容量			××MB	
	ROM版数			Ver×.××	
	エンジンステータス		STATUS＊＊=XX		
	NVコード		X＝X		
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチX=X		＊ OFF	
				ON	

＊１：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

第8章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるときや、紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

故障かなと思ったとき 116
紙づまりになったとき 118
紙づまりの取り除きかた 119
印刷品質が低下したとき 124
エラーメッセージが表示されたとき 128

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照：「安全上のご注意」((2)ページ) 「電源コードの接続(36 ページ) 「電源の投入と切断」(40 ページ)
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照：「プリンタケーブルの接続」(31 ページ) 「電源の投入と切断」(40 ページ) 「オンライン状態とオフライン状態を切り替える」(74 ページ)
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照：「オペレータパネルを操作する」(74 ページ)
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照：「用紙のセット」(42 ページ) 「紙づまりになったとき」(118 ページ)
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」((2)ページ) 「用紙について」(17 ページ) 「用紙のセット」(42 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は１枚ずつセットして印刷してください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」（(2)ページ） 「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ） 「紙づまりになったとき」（118 ページ）
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「電源の投入と切断」(40 ページ） 「紙づまりになったとき」（118 ページ）
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」（85 ページ） 「プリンタの清掃」（62 ページ）
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「エラーメッセージが表示されたとき」（128 ページ）

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅ　マリ』『カミヲ　トリノゾ　イテクダ　サイ』と表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

次の要領でつまった用紙を取り除いてください。つまった用紙を取り除いてカバーを閉じると、メッセージが消えてオフライン状態になります。「オンライン」スイッチを押してオンライン状態にすると、印刷を再開します。

「環境設定」の中の「データ保証」を「設定」にしていると、紙づまりが発生したページから印刷します。

お願い

- **つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。**
- **紙づまりが発生したら、必ず一度、上部カバーを開閉してください。**
- **用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。**

⚠注意

けが　・つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
- ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災　つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。
なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

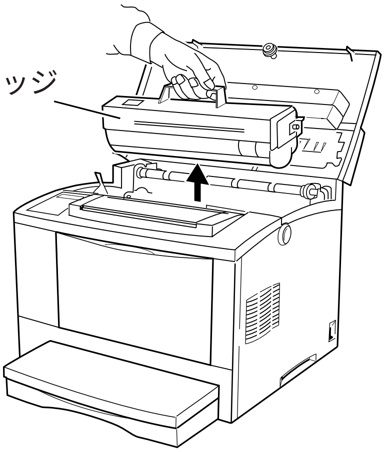
紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

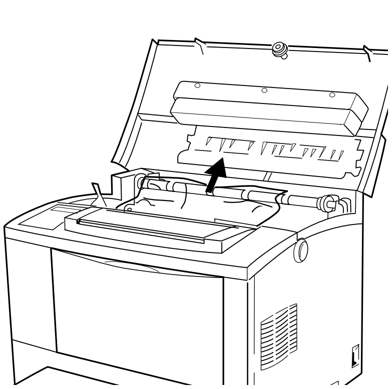
紙づまりの取り除きかた

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



1　プロセスカートリッジを取り外す

「プロセスカートリッジを取り外す」(55ページ)を参照し、プロセスカートリッジを取り外します。
トナーなどで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。



2　用紙を引き抜く

つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

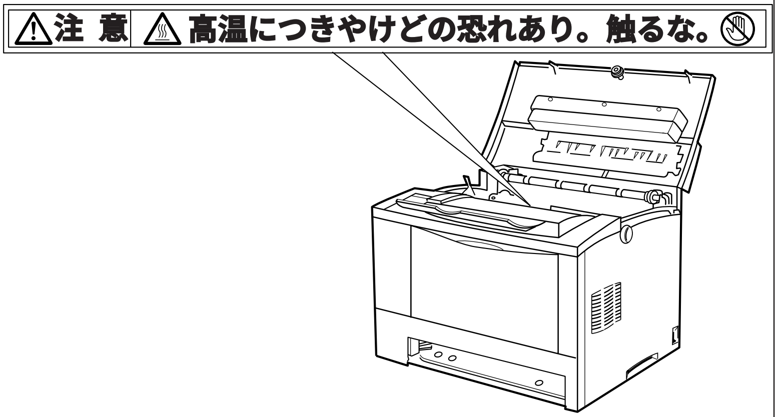
⚠警告

誤 飲　用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。
トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

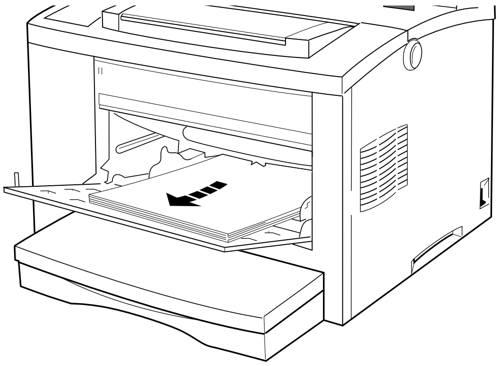
⚠注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

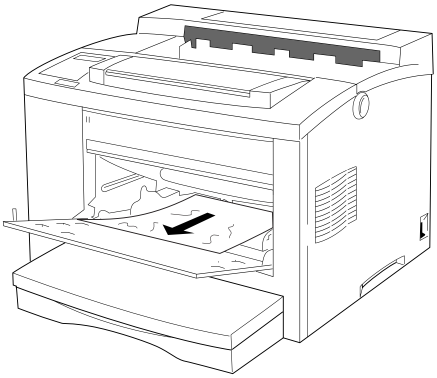


ガイド　用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。



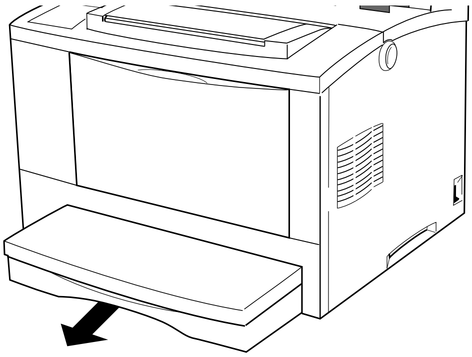
3 セットされている用紙を取り出す

給紙トレイから給紙していた場合には、給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。給紙カセットから用紙を給紙していた場合は、手順５に進んでください。



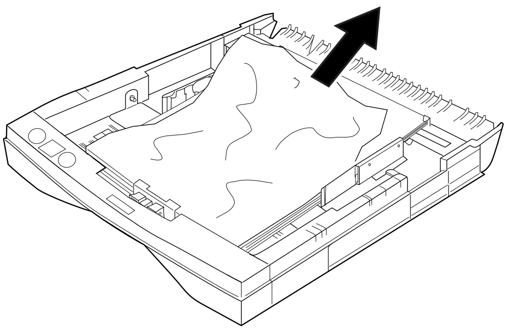
4 給紙トレイの奥を点検する

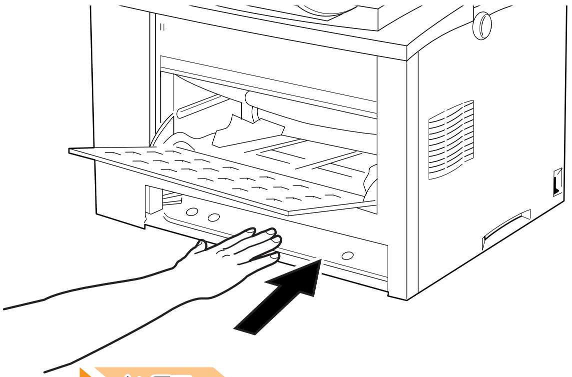
給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまった用紙があった場合は、取り除きます。



5 給紙カセットをプリンタから引き抜き、給紙カセット内を確認する

・カセットから用紙を給紙していた場合には、給紙カセットをプリンタから抜き出します。
・給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合には取り除きます。



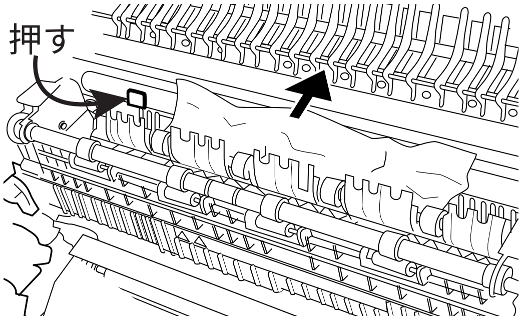


6 給紙ユニット内を確認する

給紙ユニットの奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除きます。

お願い

内部の部品を破損させないように注意してください。



7 定着器内を確認する

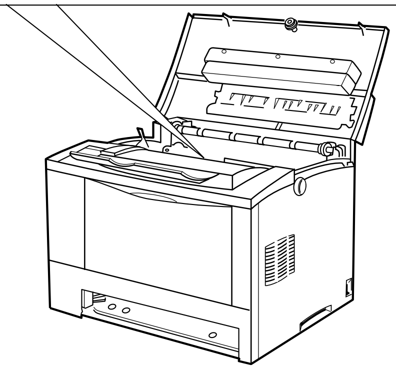
定着器の緑色の部分を押し、つまっている用紙があれば取り除きます。

⚠注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

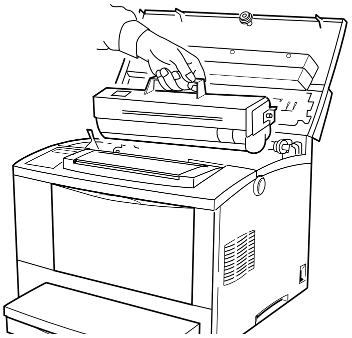
警告ラベル

⚠注 意 ⚠高温につきやけどの恐れあり。触るな。



ガイド

処理後、定着器カバーが確実に戻っていることを確認してください。完全に戻っていないと、印刷不良が発生することがあります。



8　プロセスカートリッジをプリンタ内部に戻す

プロセスカートリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックします。(「プロセスカートリッジを取り付ける」(56 ページ)参照)

お願い

上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。
次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。

9　給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

用紙のセットについては、「用紙のセット」（42 ページ）を参照してください。

ガイド

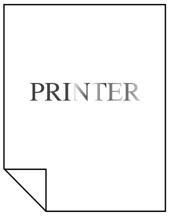
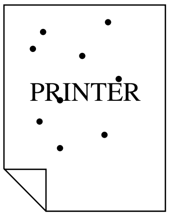
給紙トレイや給紙カセット内での紙づまりの場合でも、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

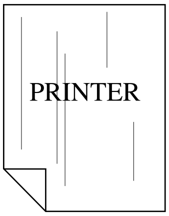
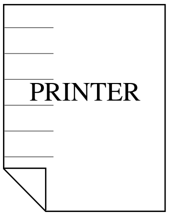
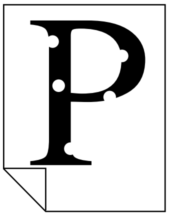
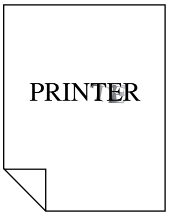
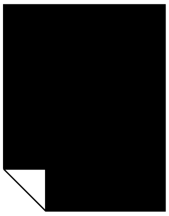
印刷品質が低下したとき

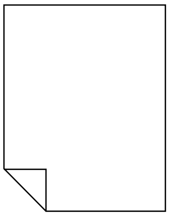
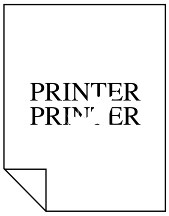
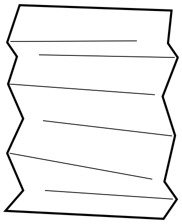
印刷品質が低下したときの処置について説明します。

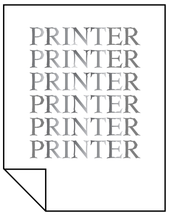
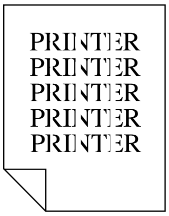
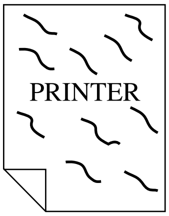
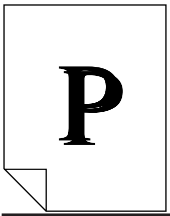
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。

⚠注意	やけど　プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。プロセスカートリッジを取り扱うときは、定着器に手を触れないよう十分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい （かすれる、不鮮明）  	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 参照：「印刷濃度を調整する」 （60 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 （52 ページ）
	プロセスカートリッジ内にトナーがありません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 （52 ページ）
黒点が印刷される  	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」 （52 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
等間隔に汚れる 	プリンタ内の用紙搬送路が汚れています。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」（85 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
黒く塗りつぶされた部分に白点がある 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
指でこするとトナーがかすれる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ）
用紙全体が黒く印刷される 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。	お買上げの販売店または富士通パーナルエコーセンターにご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない 	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	トナーシールを引き抜きます。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
	プロセスカートリッジにトナーが残っていません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えらます。	お買上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。
白抜けが起こる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ）
	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
用紙にシワがつく 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
	用紙のセットが適切ではありません。	用紙を正しくセットしてください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（17 ページ） 「用紙のセット」（42 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（42 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
縦長に白抜けする 	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっています。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
不要なトナーがつく 	印刷濃度調整ダイヤル位置が適切でありません。	印刷濃度調整ダイヤルを適切な位置に調整してください。 参照：「印刷濃度を調整する」（60 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）
太い文字に影が出る 	印刷濃度調整ダイヤル位置が適切でありません。	印刷濃度調整ダイヤルを適切な位置に調整してください。 参照：「印刷濃度を調整する」（60 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（52 ページ）

エラーメッセージが表示されたとき

オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表にしたがって処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
ヨウシ　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットおよび給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット×(1または2)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	42,44,49
ヨウシ　ナシ　　　　X ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。 給紙カセット×(1または2)に、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	42,44,49
ヨウシ　ナシ　　　　M ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	42
カセット　ナシ カセット　ヲ　イレテ　クダサイ	セットされていない給紙カセットが あると表示されます。すべての給紙カセットをセットしてください。 サポートしていない用紙をセットしたときに表示されます。正しい用紙をセットしてください。	42,44,49
カミヅマリ　　　　X カミヲ　トリノゾイテ　クダサイ	紙づまりが発生すると表示されます。つまった用紙を取り除いてください。上部カバーの内部や、給紙カセットの中を確認してください。 つまった用紙の取り除きかたは、「紙づまりになったとき」(118 ページ)を参照してください。 ×はエラーコードです。次の５種類が表示されます。 <table><tr><th>エラーコード</th><th>確認箇所</th></tr><tr><td>1</td><td>カセット 1、上部カバー</td></tr><tr><td>2</td><td>カセット 2、上部カバー</td></tr><tr><td>M</td><td>給紙トレイ</td></tr><tr><td>I</td><td>上部カバー</td></tr><tr><td>E</td><td>上部カバー</td></tr></table>	118

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
カバー　オープン カバー　ヲ　トジテ　クダサイ	上部カバーを開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	55,56, 119
ヨウシサイズ　フイッチ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、カセットおよび給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット×(1または2)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	42,44,49
ヨウシサイズ　フイッチ　　X ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。正しい用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	42,44,49
ヨウシサイズ　フイッチ　　M ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。正しい用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	42
カートリッジ　ナシ EP カートリッジ　カクニン	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、または、使用できないプロセスカートリッジがセットされています。プロセスカートリッジを確認し、セットし直してください。	―
コントローラ　イジョウ　m RAMnエラー コントローラ　イジョウ　m フォントROMXエラー コントローラ　イジョウ　11 LANユニットエラー コントローラ　イジョウ　12 MPC106エラー コントローラ　イジョウ　13 MACアドレスエラー コントローラ　イジョウ　14 ROMチェックサムエラー コントローラ　イジョウ　15 Flash-ROMエラー コントローラ　イジョウ　16 Flash-ROMエラー	ROMおよびRAMの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容を販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。（mはコントローラ異常の通し番号、Xはエラーコード、n＝１：基本メモリ、２：拡張メモリ）	―

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
エンジン イジョウ 1 FUSER イジョウ エンジン イジョウ 2 ROS モータ コショウ エンジン イジョウ 4 ファン アラーム エンジン イジョウ 5 メモリ イジョウ エンジン イジョウ 6 パリティ エラー	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージが出る場合は、その内容を販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	ー
トウロク メモリ オーバー ゾッコウ カクニン OK?	ESC/Page コマンド受信中に、外字、オーバレイ、マクロなどを登録するメモリが足りなくなると表示されます。 セットアップモードで、『ESC/Pageモード』の『メモリオーバー解除』が『スル』になっているときは、何かスイッチを押すか、３秒経過すると処理が続行されます。『シナイ』になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。	ー
RAM ガ フソク ドライバ セッテイ カクニン	A3、B4、リーガルおよびユーザー定義（不定形）用紙に、8MB 以上のプリンタ RAM モジュールを取り付けずに、600dpi の印刷を行うと表示されます。「リセット」スイッチを２回押してプリンタを初期化します。その後、プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A3、B4 用紙の場合は A4 縮小設定にし直すかして印刷してください。	ソフト編 41,55

第9章

オプションの取り付け

本プリンタのオプションには、プリンタRAMモジュールと拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション取り付け上のご注意 132
プリンタ RAM モジュールの取り付けかた..... 132
プリンタ RAM モジュールを取り付ける 133
プリンタ RAM モジュールを取り外す 135
拡張給紙ユニットの取り付けかた 136
拡張給紙ユニットを取り付ける........................... 137
拡張給紙ユニットを取り外す 139

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠警告	感 電	オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、火災や感電または故障の原因となります。

⚠注意	け が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタRAMモジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠警告	感 電	プリンタ RAM モジュールを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認してください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

静電気によってプリンタRAMモジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

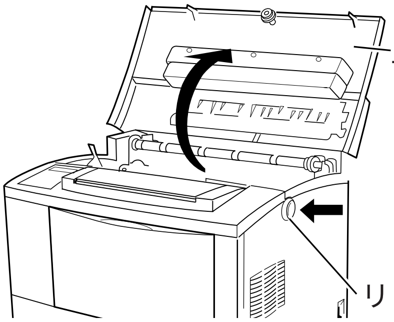
- **本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。**
- **モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。**
- **モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。**

プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールには、８ＭＢ、16ＭＢ、32ＭＢの３種類があります。この中から１枚を取り付けることができます。

1　電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認します。（電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。）

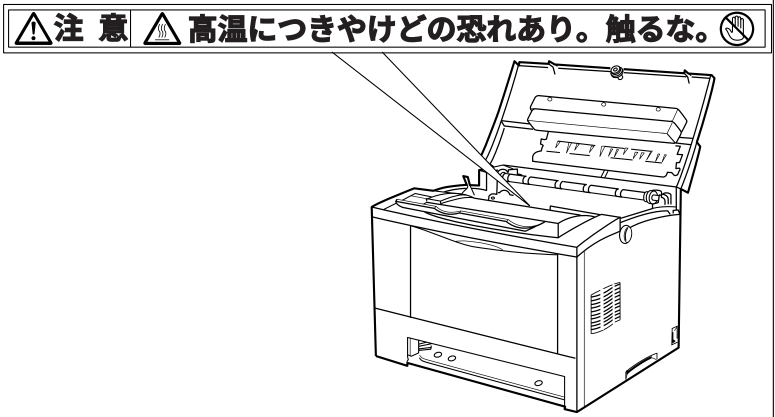


2　リリースボタンを押して、上部カバーを開く

⚠注意

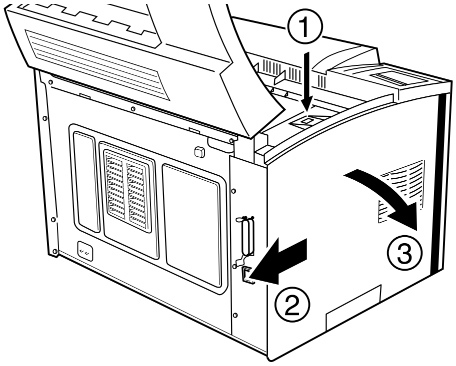
やけど「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因となることがあります。

警告ラベル



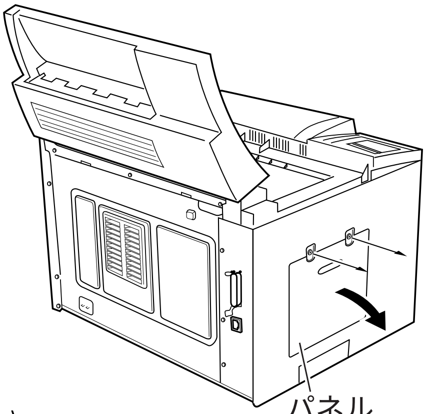
けが　上部カバーを開くとき、カバーとプリンタに手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

お願い　**プリンタ内部の部品には手を触れないでください。**



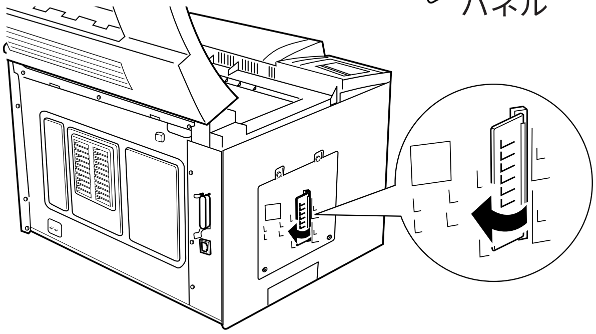
3 オプションカバーを外す

プリンタの左側面のオプションカバーを外します。オプションカバーは、図のように上面の四角いボタンを押しながら背面にずらし、外側に倒すようにします。



4 パネルを外す

パネルのネジ２か所をドライバーを使って外し、パネルを外します。

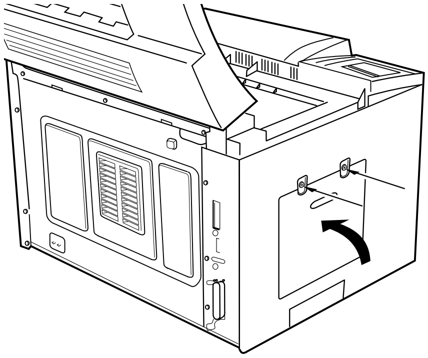


5 プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールの切り欠きとコネクタの突起の位置を合わせてゆっくりと差し込み、カチッと音がするまで奥に押します。

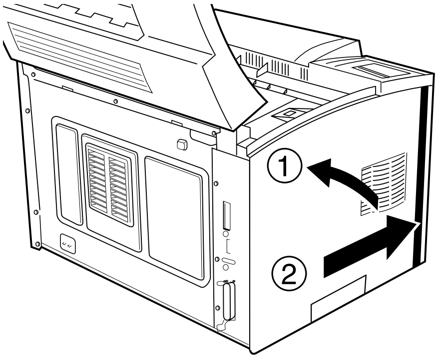
お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、手を触れないでください。



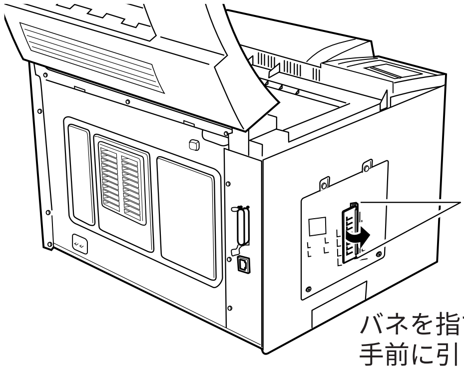
7 パネルとオプションカバーを元に戻す

パネルをネジ(2 本)で固定してから、オプションカバーを取り付けます。
オプションカバーは、下側のツメをプリンタ本体の穴に差し込んでからプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます。



プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールの両側をとめているバネを指で開き、プリンタ RAM モジュールを手前に倒してから引き抜きます。オプションカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタRAMモジュールを取り付ける」（133 ページ）を参照してください。



拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットは、拡張給紙ユニット-A（A3ユニバーサル・250枚）、拡張給紙ユニット-B（A4・500枚）があります。

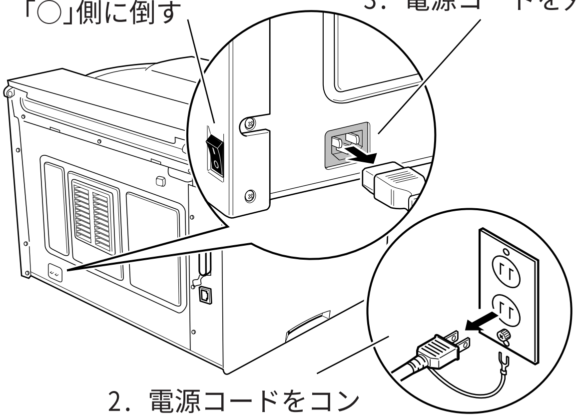
次ページ以降の説明では、拡張給紙ユニット-Aを例にしていますが、拡張給紙ユニット-Bの場合も同じです。

⚠警告	感電	拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意	けが	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約18kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面を体の方に向け、底部の取っ手を両手でしっかりと持ってください。必要に応じて２人で持ち運んでください。落下によりけがの原因となることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

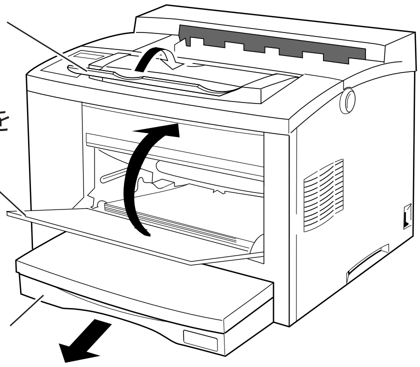
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。



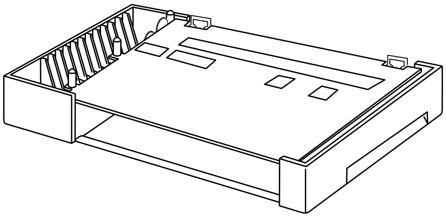
1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。



2 給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じる



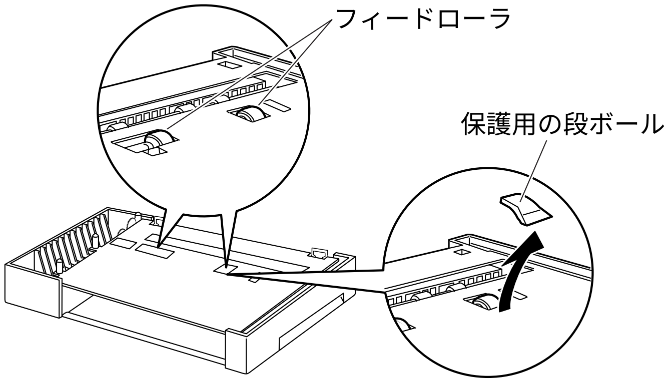
3 拡張給紙ユニットを設置場所に置く

拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置きます。

拡張給紙ユニット -B(A4・500枚)のときは、5に進みます。

お願い

- **給紙ユニットは、前後の向きに注意して、図のように置いてください。また、前後の取り付け作業ができるくらいのスペース（それぞれ約50cm）を確保してください。**
- **給紙ユニットのプリント板はこわれやすいので、手を触れないでください。**

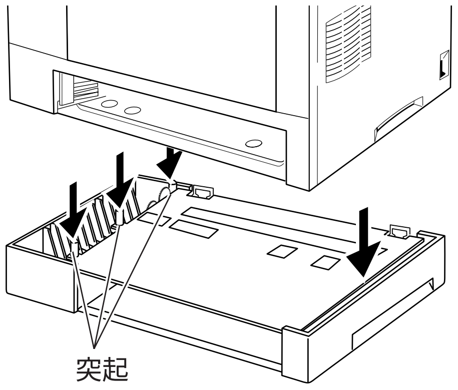


4 保護用の段ボールをとり、フィードローラの灰色のゴム面が上になっていることを確認する

フィードローラの灰色のゴム面が上になっていない場合は、ローラを手で回してゴム面を上にしてください。

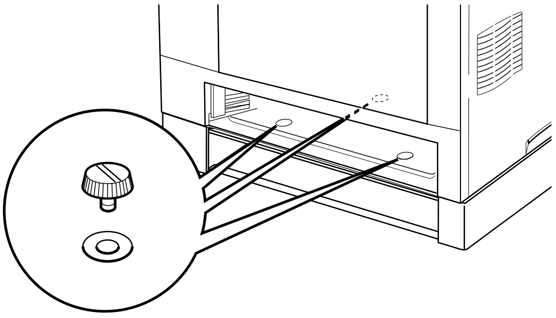
お願い

フィードローラの灰色のゴム面が上になっていない状態では、給紙カセットをセットできません。



5 プリンタを拡張給紙ユニットに載せる

プリンタの左右の取っ手を持って持ち上げ、プリンタの後部の角と拡張給紙ユニットの角を合わせ、拡張給紙ユニットの上に水平にゆっくりおろします。



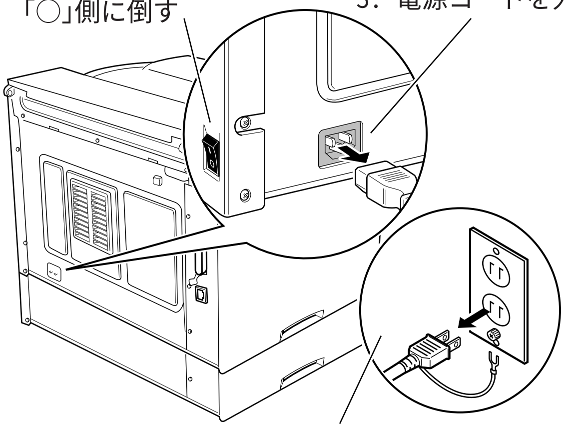
6 ネジで固定する

プリンタ本体の給紙ユニット内部のネジ穴に付属のネジ(3 本)を通して締め、拡張給紙ユニットを固定します。

ガイド ネジは拡張給紙ユニットの添付品です。

拡張給紙ユニットを取り外す

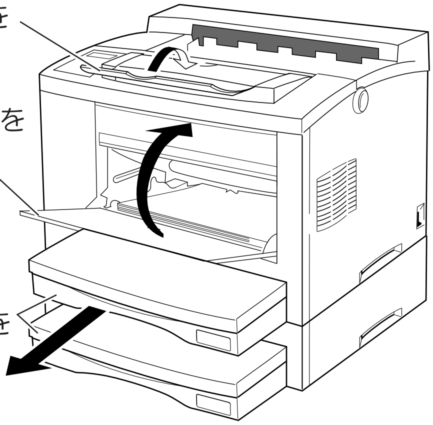
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。



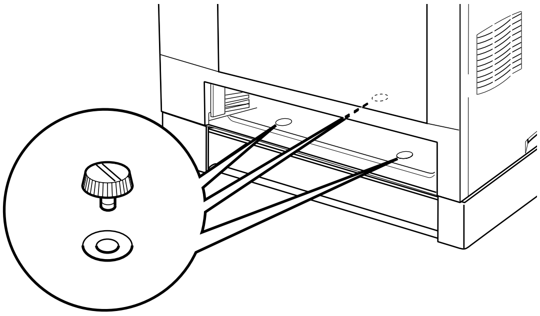
1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。



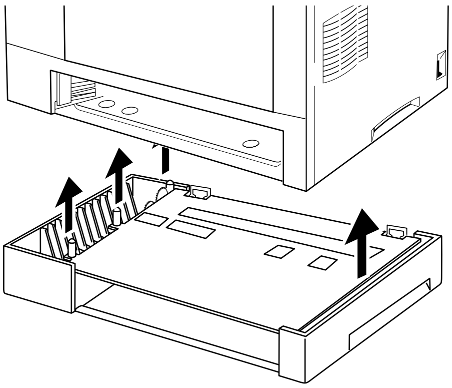
2 給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じる



3　3カ所の固定ネジを外す

お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定ネジを、破損または紛失することのないように保管してください。



4　プリンタをまっすぐに持ち上げる

取り付けてあった拡張給紙ユニットを、他の人に押さえてもらいます。プリンタの両側の把手を両手でしっかり持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げます。

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続用ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様 142
基本仕様 142
インタフェース仕様 143
用紙関係 144
コマンド（機能コード）一覧 146
ESC/P モードコマンド一覧表 146
ESC/Page モードコマンド一覧表 148
PC-PR201 モードコマンド一覧表 151
キャラクタコード一覧 153
ESC/P モードキャラクタコード一覧表 153
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表 154
PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表 158
ＪＩＳ-90 第一水準漢字一覧表 161
ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表 164
ＪＩＳ漢字コードについてのご注意 167
アフターサービスについて 172

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー最大16枚／分（A4サイズ横送り）
エンジン解像度	600dpi/480dpi
スムージング処理	FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット：A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ　：A3～A5、官製はがき
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数250枚、拡張給紙ユニット-Aを使用時500枚、拡張給紙ユニット-Bを使用時750枚) ・給紙トレイによる自動給紙（収容枚数200枚（はがき 75枚））
排紙方法 *1	フェースダウンスタッカ（スタック枚数250枚）
使用環境条件	温度10℃～32℃、湿度15%～85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ±10%、50/60 Hz
消費電力	動作時　650W以下、節電時　22W
騒　音	待機時　28dB(A)、動作時　50dB(A)
外形寸法	幅460mm、奥行き487mm、高さ340mm（カセット縮小時) 幅460mm、奥行き609mm、高さ340mm（カセット延長時)
重　量	約18kg（消耗品、オプションを除く）
インタフェース	IEEE P1284双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LANポート
プリンタシーケンス *2	XLプリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page、PC-PR201
文字・書体	明朝体　22ドット/28ドット/32ドット/40ドット文字 明朝体／ゴシック体アウトライン文字
耐用期間 *3	5年(8時間/日)または30万枚印刷(A4横送り)

* 1：収容枚数は64g/m^{2}にて換算
* 2：データ処理解像度
  - XLプリンタドライバ：600dpi(FEIT：1200dpi相当)※
  - ESC/P：300dpi(FEIT：600dpi相当)
  - ESC/Page：300dpi（FEIT：600dpi相当）
  - PC-PR201：240dpi（FEIT：480dpi相当）

  ※メモリが増設されていない場合のA3、B4、リーガル、不定形用紙は300dpi（FEIT：600dpi相当）

*3：
- 耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- 累積使用時間は、24時間運用の場合も同一です。
- A4より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が30万枚より短くなります。
- 耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。なお、交換は有償です。

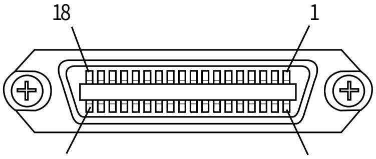
部　品	交換目安
定着器	10万枚印刷
フィードローラ	10万枚印刷
リタードパッド	10万枚印刷

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE P1284の仕様に準拠した双方向パラレルインタフェースを採用しています。

インタフェース仕様とコネクタピン配列

・インタフェースコネクタ
プリンタ側：36極コネクタ(メス)　アンフェノール　57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ(オス)　アンフェノール　57-30360相当品
・ケーブル
最長1.5 m以下のケーブルを使用してください。
(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
・信号レベル
LOW：0.0 V～＋0.4 V　HIGH：＋2.4 V～＋5.0 V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	＊Strobe	パソコン	19	-RET	―
2	Data 1	パソコン	20	-RET	―
3	Data 2	パソコン	21	-RET	―
4	Data 3	パソコン	22	-RET	―
5	Data 4	パソコン	23	-RET	―
6	Data 5	パソコン	24	-RET	―
7	Data 6	パソコン	25	-RET	―
8	Data 7	パソコン	26	-RET	―
9	Data 8	パソコン	27	-RET	―
10	＊Ack	プリンタ	28	-RET	―
11	Busy	プリンタ	29	-RET	―
12	PError	プリンタ	30	-RET	―
13	Select	プリンタ	31	＊Init	パソコン
14	＊AutoFd	パソコン	32	＊Fault	プリンタ
15	―	―	33	-RET	―
16	SG	―	34	―	―
17	FG	―	35	―	―
18	+5VSignal	プリンタ	36	＊SelectIn	パソコン

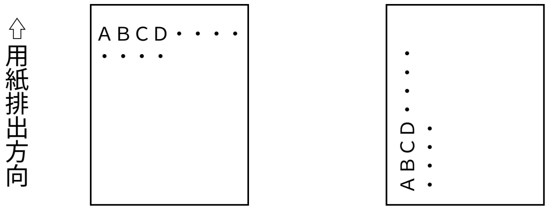
注)“＊”は、負論理信号であることを示します。

用紙関係

本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

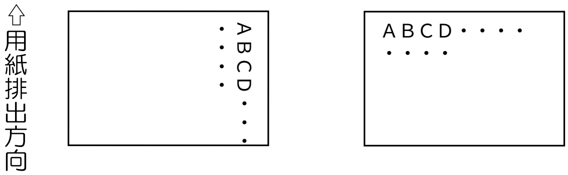
印刷方向

・A3、B4、リーガル、はがきサイズの用紙の場合



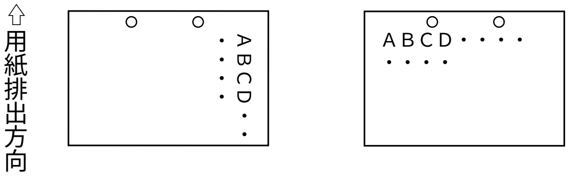
縦方向印刷　　横方向印刷

・A4、A5、B5、レターサイズの用紙の場合



縦方向印刷　　横方向印刷

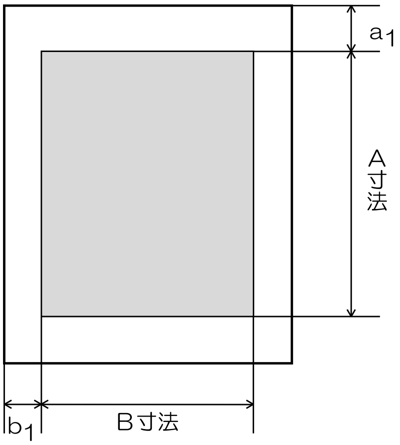
とじ穴のあるＡ４サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。



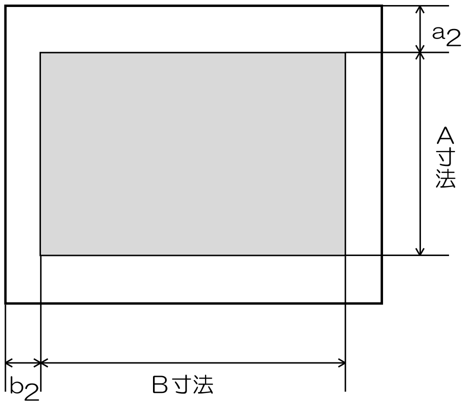
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］



［印刷方向：横］



（単位：mm）

Printia XL ドライバおよび ESC/Page モード使用時

$a_1=a_2=5mm$、$b_1=b_2=5mm$

用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90

ESC/P モード使用時

$a_1=a_2=8.5mm$ または $22mm$(はがき:10mm)、$b_1=b_2=5mm$

用紙方向	用紙サイズ		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	8.5mm時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	8.5mm時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

PC-PR201 モード使用時

$a_1=5mm$、$a_2=8mm$、$b_1=8mm$、$b_2=5mm$

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	レター	はがき
縦方向	A寸法	409	353	287	246	200	270	138
	B寸法	284	241	197	169	135	203	86
横方向	A寸法	284	241	197	169	135	203	86
	B寸法	409	345	287	246	200	270	137

コマンド（機能コード）一覧

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。
表中の Pa、P_1、P_2、…、Pn は、パラメータを表します。
表中の D_1、D_2、…、Dn は、データを表します。
表中の sp は、スペース記号を示します。

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+ C +Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+ C +NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+ N +Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+ O
	右マージン設定	ESC+ Q +Pa
	左マージン設定	ESC+ L +Pa
改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC+0
	1/6 インチ改行量指定	ESC+ 2
	n/180 インチ改行量指定	ESC+ 3 +Pa
	n/60 インチ改行量指定	ESC+ A +Pa
タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC+ B +P_1+P_2+… Pn+NUL
	水平タブ位置設定	ESC+ D +P_1+P_2+… Pn+NUL
	VFU チャネル選択	ESC+ ／ +Pa
	VFU タブ位置設定	ESC+ b +Pa+P_1+… Pn+NUL
印字・紙送り	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+ J +Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+ j +Pa
印字位置設定	水平タブ実行	HT
	垂直タブ項実行	VT
	後退	BS
	絶対位置指定	ESC+＄+P_1+P_2
	相対位置指定	ESC+￥+P_1+P_2

テキスト処理～ ANK 文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI 指定	ESC+M
	10CPI 指定	ESC+ P
	15CPI 指定	ESC+ g
	プロポーショナル指定／解除	ESC+ p +Pa
	国際文字選択	ESC+ R +Pa
	スーパー / サブスクリプト指定	ESC+ S +Pa
	スーパー / サブスクリプト解除	ESC+ T
	文字品位選択	ESC+ x +Pa
	書体選択	ESC+ k +Pa
	文字コード表選択	ESC+ t +Pa
文字定義	ダウンロード文字セット指定 / 解除	ESC+%+Pa
	ダウンロード文字定義	ESC+ & +NUL+P_1+P_2+ {Pa_1+Pb_1+Pc_1+D_1～ Dn} ×n
	文字セットコピー	ESC+： +NUL+P_1+P_2
文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC+sp+Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+ a +Pa
装飾	縮小指定	SI
	縮小指定	ESC+SI
	縮小解除	DC2
	アンダーライン指定／解除	ESC+—+Pa
	縦倍拡大指定／解除	ESC+ w +Pa

テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定／解除	ESC+Ｗ+Pa
	強調指定	ESC+Ｅ
	強調解除	ESC+Ｆ
	二重印字指定	ESC+Ｇ
	二重印字解除	ESC+Ｈ
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+！+Pa
	イタリック指定	ESC+４
	イタリック解除	ESC+５
	文字スタイル選択	ESC+ｑ+Pa

テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+Ｊ
	横書き指定	FS+Ｋ
	半角縦書き２文字指定	FS+Ｄ
	４倍角指定／解除	FS+Ｗ+Pa
	漢字アンダーライン指定／解除	FS+—+Pa
	漢字一括指定	FS+！+Pa
文字セット	漢字モード指定	FS+＆
	漢字モード解除	FS+.
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	１／４角文字指定	FS+ｒ+Pa
	漢字書体選択	FS+ｋ+Pa
文字定義	外字定義	FS+２$+P_1+P_2+D_1$～D_{72}
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	ＦＳ+S$+P_1+P_2$
	半角文字スペース量設定	FS+Ｔ$+P_1+P_2$
	半角文字スペース量補正	FS+Ｕ
	半角文字スペース量補正解除	FS+Ｖ

イメージ処理

コマンド名	コード名
８ドット単密度ビットイメージ	ESC+Ｋ$+P_1+P_2+D_1$～Dn
８ドット倍密度ビットイメージ	ESC+Ｌ$+P_1+P_2+D_1$～Dn
８ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+Ｙ$+P_1+P_2+D_1$～Dn
８ドット４倍密度ビットイメージ	ESC+Ｚ$+P_1+P_2+D_1$～Dn
ビットイメージ選択	ESC+＊+Pa$+P_1+P_2+D_1$～Dn
ビットイメージ変換	ESC+？$+P_1+P_2$

補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+＠
データ入力制御	データ抹消	CAN
ＣＳＦ制御	カットシートフィーダ制御	ESC+EM+Pa

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+z+$<00>_{16}+<00>_{16}$
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+＠$+<7F>_{16}$+ESC$+<7F>_{16}+<00>_{16}+<00>_{16}+<01>_{16}$+Pa

ESC/Page モードコマンド一覧表

ESC/Page モードコマンドは、下表のとおりです。

環境設定

コマンド名	コード名
最小単位設定	GS + P_1 +;+ P_2 + m + u + E
ドットパターン解像度選択	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + d + r + E
スクリーンモード指定／解除	GS + Pa + s + t + E
スクリーンパターン選択	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + s + p + E
スクリーンパターン登録	GS + P_1 +;+…+;+ P_4 + s + p + {+ E
スクリーンパターン登録数設定	GS + Pa + i + s + E
上書きモード指定／解除	GS + Pa + o + w + E
ハードリセット	GS + r + h + E
パラメータリセット	GS + r + p + E
用紙方向選択	GS + Pa + p + o + E
論理原点設定	GS + P_1 +;+ P_2 + l + o + E
用紙サイズ設定	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + p + s + E
給紙装置選択	GS + P_1 +;+ P_2 + i + u + E
クリップ領域設定	GS + P_1 +;+…+;+ P_4 + c + a + E
クリップモード指定／解除	GS + Pa + c + m + E
トップマージン設定	GS + Pa + t + m + E
トップマージン設定（行単位）	GS + Pa + t + m + l + E
ボトムマージン設定	GS + Pa + b + m + E
ボトムマージン設定（行単位）	GS + Pa + b + m + l + E
レフトマージン設定	GS + Pa + l + m + E
レフトマージン設定(桁単位)	GS + Pa + l + m + c + E
ライトマージン設定	GS + Pa + r + m + E
ライトマージン設定（桁単位）	GS + Pa + r + m + c + E

印字位置設定

コマンド名	コード名
復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
後退	BS
水平方向現在位置絶対指定	GS + Pa + X
水平方向現在位置絶対指定（桁単位）	GS + Pa + x + P
垂直方向現在位置絶対指定	GS + Pa + Y
垂直方向現在位置絶対指定（行単位）	GS + Pa + y + P
水平方向現在位置相対指定	GS + Pa + H
水平方向現在位置相対指定（桁単位）	GS + Pa + h + P
垂直方向現在位置相対指定	GS + Pa + V
垂直方向現在位置相対指定（行単位）	GS + Pa + v + P
ﾌﾟｯｼｭ・ﾎﾟｯﾌﾟｽﾀｯｸ数指定	GS + Pa + s + s + P
現在位置プッシュ・ポップ	GS + Pa + p + p + P
現在位置記憶数指定	GS + Pa + i + p + P
現在位置記憶	GS + Pa + m + P
現在位置呼び出し	GS + P_1 +;+ P_2 + c + P
現在位置記憶（番号自動変更）	GS + Pa + a + m + P
現在位置呼び出し（番号自動変更）	GS + P_1 +;+ P_2 + a + c + P
改行量設定	GS + P_1 +;+ P_2 + l + p + P
自動復帰改行選択	GS + Pa + a + l + f + P
自動改ページ選択	GS + Pa + a + f + f + P
CR/LF/FF 動作選択	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + c + l + f + P
現在位置移動モード選択	GS + Pa + p + m + P
印字ピッチ設定	GS + P1 +;+ P2 + p + P
文字オフセット量設定	GS + P_1 +;+ P_2 + c + o + P
ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞｵﾌｾｯﾄ量設定	GS + Pa + b + o + P
ビットイメージ描画後現在位置選択	GS + Pa + a + b + P

フォント

コマンド名	コード名
シンボルセット選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋s＋s＋F
文字スペーシング選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋s＋p＋F
文字幅設定（CPI）	GS＋Pa＋w＋c＋F
文字幅設定（最小単位）	GS＋Pa＋w＋m＋F
文字高さ設定（ポイント）	GS＋Pa＋h＋p＋F
文字高さ設定（最小単位）	GS＋Pa＋h＋m＋F
書体選択	GS＋Pa＋t＋f＋F
文字スタイル選択	GS＋Pa＋s＋t＋F
文字線幅選択	GS＋Pa＋w＋e＋F
文字回転設定	GS＋Pa＋r＋o＋F
文字傾き設定	GS＋Pa＋s＋l＋F
フォント属性記憶／呼び出し	GS＋P_1＋;＋P_2＋m＋c＋F
ダウンロードフォント選択	GS＋Pa＋d＋c＋F
ダウンロードフォント削除	GS＋Pa＋d＋d＋c＋F
シンボルセット登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋d＋s＋s＋｛＋F
シンボルセット削除	GS＋Pa＋d＋s＋s＋F
フォントコピー	GS＋P_1＋;＋P_2＋f＋c＋｛＋F
ヘッダー登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋d＋h＋｛＋F
1文字登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3＋s＋c＋｛＋F
文字幅テーブル登録	GS＋P_1＋;＋P_2＋c＋w＋｛＋F
フォント属性記憶数設定	GS＋Pa＋i＋a＋F
フォント登録数設定	GS＋Pa＋l＋i＋a＋F
シンボルセット登録数設定	GS＋Pa＋i＋s＋s＋F

文字印字

コマンド名	コード名
アンダーライン指定／解除	GS＋Pa＋u＋l＋C
アンダーライン水平方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋u＋h＋C
アンダーライン垂直方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋u＋v＋C
バックグラウンド指定／解除	GS＋Pa＋b＋g＋C
バックグラウンド水平方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋b＋h＋C
バックグラウンド垂直方向オフセット量設定	GS＋P_1＋;＋P_2＋;＋P_3＋b＋v＋C
コントロールコードキャラクタ印字	GS＋Pa＋c＋p＋｛＋C
縦書きモード指定／解除	GS＋Pa＋v＋p＋C
組文字指定	GS＋Pa＋c＋c＋C

イメージ描画

コマンド名	コード名
網掛け描画	GS＋P_1＋;＋P_2＋b＋g＋I
罫線描画	GS＋P_1＋;＋P_2＋r＋u＋I
罫線／アンダーラインパターン選択	GS＋P_1＋;＋P_2＋r＋p＋I
罫線／アンダーラインパターン登録	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4＋r＋p＋｛＋I
罫線／アンダーラインパターン登録数設定	GS＋Pa＋i＋r＋I
ビットイメージ描画	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4＋b＋i＋｛＋I
ビットイメージ登録	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_5＋b＋d＋｛＋I
登録ビットイメージ描画	GS＋Pa＋d＋b＋I
ビットイメージ登録数設画	GS＋Pa＋i＋b＋I
ビットイメージデータ圧縮形式選択	GS＋Pa＋b＋c＋I
ラスターイメージ描画開始	GS＋P_1＋;＋…＋;＋P_4＋b＋r＋I
ラスターイメージ描画終了	GS＋e＋r＋I
ラスターイメージ描画	GS＋Pa＋r＋｛＋I
圧縮なしラスターイメージ描画	GS＋Pa＋u＋｛＋I
エンプティラスターイメージ描画	GS＋Pa＋e＋I

図形描画

コマンド名	コード名
線描画	GS + P_1 +;+…+;+ Pn + l + G
多角形描画	GS + P_1 +;+…+;+ Pn + p + G
スプライン曲線描画	GS + P_1 +;+…+;+ Pn + s + G
Bezier 曲線描画	GS + P_1 +;+…+;+ Pn + b + G
Ｂスプライン曲線描画	GS + P_1 +;+…+;+ Pn + b + s + G
矩形描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_5 + r + G
円描画	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + c + G
円弧描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_5 + a + G
扇形描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_6 + f + G
楕円描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_5 + e + G
楕円弧描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_7 + e + a + G
楕円扇形描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_8 + e + f + G
ベクタ指定円弧描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_7 + a + v + G
ベクタ指定扇形描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_8 + f + v + G
ベクタ指定楕円弧描画	GS + P_1 +;+…+;+ P_9 + e + a + v + G
ベクタ指定楕円扇形描画	GS + P1 +;+…+;+ P_{10} + e + f + v + G
線種選択	GS + P_1 +;+ P_2 + l + p + G
線種登録	GS + P_1 +;+…+;+ Pn + d + l + G
線種登録数設定	GS + Pa + i + l + G
線幅設定	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + l + w + G
図形描画モード選択	GS + Pa + d + m + G
図形座標モード選択	GS + Pa + s + a + r + G

マクロ

コマンド名	コード名
マクロ登録開始	GS + Pa + b + m + M
マクロ登録終了	GS + e + m + M
マクロ実行	GS + P_1 +;+ P_2 + s + m + M
ﾌｫｰﾑｵｰﾊﾞｰﾚｲ指定／解除	GS + P_1 +;+ P_2 +;+ P_3 + a + m + M
マクロ登録数設定	GS + Pa + i + m + M

その他

コマンド名	コード名
コピー枚数設定	GS + Pa + c + o + O

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	GS + Pa + p + m + E
エミュレーション切替え	ESC + / +ｲ+ @ + <7F>$_{16}$ + ESC + <7F>$_{16}$ + <00>$_{16}$ + <00>$_{16}$ + <01>$_{16}$ + Pa

PC-PR201 モードコマンド一覧表

PC-PR201 モードコマンドは、下表のとおりです。

書式設定・実行

コマンド名	コード名
右マージン設定	ESC＋／＋Pa
左マージン設定	ESC＋L＋Pa
1/6 インチ改行ピッチ指定	ESC＋A
1/8 インチ改行ピッチ指定	ESC＋B
n/120 インチ改行ピッチ指定	ESC＋T＋Pa
VFU セットの開始指定	GS
VFU セットの終了指定	RS
簡易 VFU 指定	ESC＋v＋P_1＋,＋P_2 ＋,＋…＋Pn＋.
水平タブ位置設定	ESC＋(＋P_1＋,＋…Pn＋.
水平タブ部分クリア指定	ESC＋)＋P_1＋,＋…Pn＋.
水平タブ全クリア指定	ESC＋2
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
順方向改行指定	ESC＋f
逆方向改行指定	ESC＋r
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
チャネル制御、改行量制御	US＋Pa
ドットスペース指定	ESC＋Pa
ドットアドレッシング指定	ESC＋F＋Pa
キャラクタリピート指定	ESC＋R＋P_1＋P_2
コピーモード指定	ESC＋D
ネイティブモード指定	ESC＋M

テキスト処理

コマンド名	コード名
CG グラフィックモード指定	ESC＋#
カタカナモード指定	ESC＋$
ひらがなモード指定	ESC＋&
エリートモード指定	ESC＋E
パイカモード指定	ESC＋H
プロポーショナルモード指定	ESC＋P
コンデンスモード指定	ESC＋Q
ドラフトモード指定	ESC＋d＋Pa
HS パイカモードの切り替え指定	ESC＋n＋Pa
スクリプト文字モード指定	ESC＋s＋Pa
1 バイト文字フォント選択指定	FS＋0＋6＋F＋P_1＋ P_2＋P_3＋P_4＋P_5

コマンド名	コード名
1 バイト文字のダウンロード	ESC＋l＋P_1＋P_2＋P_3 ＋P_4＋Dn
登録文字印字指定	ESC＋l＋＋
プリンタ内蔵文字印字指定	ESC＋l＋−
登録文字クリア指定	ESC＋l＋0
横拡大解除	SI（8 ビットコード）
印字モード切替え	SI（7 ビットコード）
横拡大指定	SO(8 ビットコード）
カタカナモード指定	SO(7 ビットコード)
横拡大指定	DC2
横拡大解除指定	DC4
強調文字印刷開始指定	ESC＋！
強調文字印刷解除指定	ESC＋”
縦横拡大率指定	ESC＋e＋P_1＋P_2
縮小文字組文字印刷指定	FS＋P
文字修飾指定	FS＋c＋P_1＋,＋P_2＋ ,＋P_3＋…Pn＋.
文字の拡大率、縮小率指定	FS＋m＋P_1＋／＋P_2＋, ＋P_3＋／＋P_4＋,＋P_5＋.
固定ドットスペース指定	FS＋w＋P_1＋,＋P_2＋.
漢字横印刷指定	ESC＋K
ゴシック体漢字 ROM カートリッジ指定	ESC＋O＋Pa
半角縦印刷指定	ESC＋h＋Pa
半角組文字縦印刷指定	ESC＋q
漢字縦印刷指定	ESC＋t
外字のロード終了	EOT
外字(16×16 ドット)のロード	ESC＋＊＋P_1＋P_2＋ D_1＋…＋D_{32}＋EOT
外字(24×24 ドット)のロード	ESC＋＋＋P_1＋P_2＋ D_1＋…＋D_{72}＋EOT
文字サイズ指定	FS＋0＋4＋S＋P_1＋ P_2＋P_3
漢字文字幅、ポイント指定	FS＋A FS＋B
漢字文字幅、ポイント指定	FS＋C FS＋D
漢字文字幅、ポイント指定	FS＋F FS＋G
文字幅指定	FS＋p＋P_1＋,＋P_2＋ ／＋P_3＋.

イメージ処理

コマンド名	コード名
16ビットグラフィックイメージ	ESC＋I＋Pa＋Dn
24ビットグラフィックイメージ	ESC＋J＋Pa＋Dn
8ビットグラフィックイメージ	ESC＋S＋Pa＋Dn
24ビットドット列リピート	ESC＋U＋Pa＋Dn
8ビットドット列リピート	ESC＋V＋Pa＋Dn
16ビットドット列リピート	ESC＋W＋Pa＋Dn

ライン処理

コマンド名	コード名
ライン付加指定	ESC＋X
ライン付加モード解除指定	ESC＋Y
ラインモード指定	ESC＋_＋Pa
付加ライン線種指定	FS＋0＋4＋L＋P_1＋P_2＋P_3

補助機能

コマンド名	コード名
初期化	ESC＋c＋1
片方向印字指定	ESC＋>
両方向印字指定	ESC＋]
データ抹消	CAN
全吸入全排出指定	ESC＋a
全排出指定	ESC＋b
カラー指定	ESC＋C＋n
ホッパ選択	FS＋f＋P_1＋P_2＋P_3＋.
用紙サイズ指定	FS＋f＋P_1＋P_2＋P_3＋.

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
エミュレーション切替え	ESC＋/＋(＋@＋<7F>$_{16}$＋ESC＋<7F>$_{16}$＋<00>$_{16}$＋<00>$_{16}$＋<01>$_{16}$＋Pa

キャラクタコード一覧

各エミュレーションモードでのキャラクタコード（ANKコード）の一覧を以下にまとめます。なお、キャラクタコードはすべて16進形式です。

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

カタカナコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	│	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x		┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▏	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▎	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▍	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▌	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▋	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▊	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	CR		-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	S	@	[	\	]	^	`	{		}	~
フランス	#	S	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	S	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	S	@	[	\	]	^	`	{		}	~
デンマークⅠ	#	S	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	S	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	S	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	S	@	[	¥	]	^	`	{		}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークⅡ	#	S	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	S	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	S	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマークⅠ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	Y	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークⅡ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

ESC/Page モードキャラクタコード一覧表

ESC/Page モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		"		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		™	″	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤		╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6		¶	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	:
7		©	’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8		®	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	┼	Φ	°
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	•
A		¢	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B			+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C		°	,	<	L	＼	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D			−	—	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E		═	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F		†	/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

キャラクタセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		"		0	@	P	`	p	Ç	É	á	°	ĳ		α	
1		'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¤	œ		ß	
2		™	″	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	ß	´		Γ	
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	Ø	¸		π	
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	ø	⅓		Σ	
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	¨			σ	
6		¶	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	¶			µ	
7		©	’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	§			τ	
8		®	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	µ			Φ	
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	¾			θ	
A		¢	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	³			Ω	
B			+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	¯			δ	
C		°	,	<	L	＼	l	¦	î	£	¼	Fr			∞	
D			−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	‰			φ	
E		═	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	⅔			∈	
F		†	/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	│	§		∩	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

Nordic(コードページ 865)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	¤	┐	╧	▀	∩	

Portuguese(コードページ 860)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	À	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	È	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú		├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ã	õ	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	Á	Ú	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	Ì	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	Ê	Õ	Ò	╣	╔	┘	θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	Í	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l		Ô	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ù	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ã	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Â	Ó	»	┐	╧	▀	∩	

Multilingual(コードページ 850)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	ð	Ó	
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	Ð	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	Ê	Ô	‗
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	Ë	Ò	¾
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	È	õ	¶
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	Á	┼	ı	Õ	§
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	Â	ã	Í	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	À	Ã	Î	þ	¸
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	©	╚	Ï	Þ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	®	╣	╔	┘	Ú	¨
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Û	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	Ù	¹
C	♀	∟	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	ý	³
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	¢	═	¦	Ý	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	×	«	¥	╬	Ì	¯	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	¤	▀	´	

Canadian-French
(コードページ 863)

上位/下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	¦		└	╨	α	=
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	È	´		┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Ê	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	Â	Ë	¨	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	Ï	¸	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	¶	û	³	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù		╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	¤	Î	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ô		╣	╔	┘	θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔		=	M	]	m	}	‗	Ù	¾	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	À	Û	«	╛	╬	▐	∈	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	§	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

ECMA 94-1

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				°	À	Ð	à	ð
1			!	1	A	Q	a	q			¡	±	Á	Ñ	á	ñ
2			"	2	B	R	b	r			¢	²	Â	Ò	â	ò
3			#	3	C	S	c	s			£	³	Ã	Ó	ã	ó
4			$	4	D	T	d	t			¤	´	Ä	Ô	ä	ô
5			%	5	E	U	e	u			¥	µ	Å	Õ	å	õ
6			&	6	F	V	f	v				¶	Æ	Ö	æ	ö
7			'	7	G	W	g	w			§	·	Ç	×	ç	÷
8			(	8	H	X	h	x			¨	¸	È	Ø	è	ø
9			)	9	I	Y	i	y			©	¹	É	Ù	é	ù
A			*	:	J	Z	j	z			ª	º	Ê	Ú	ê	ú
B			—	;	K	[	k	{			«	»	Ë	Û	ë	û
C			,	<	L	\	l	¦			¬	¼	Ì	Ü	ì	ü
D			—	=	M	]	m	}			—	½	Í	Ý	í	ý
E			.	>	N	^	n	~			®	¾	Î	Þ	î	þ
F			/	?	O	_	o				¯	¿	Ï	ß	ï	ÿ

US English(コードページ437)

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	•
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	|	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	—	—	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

カタカナ　グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B			|	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C			,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D				—	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o		│	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

ひらがな　グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	た	み	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	え	と	や	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	区
B			|	;	K	[	k	{	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	町
C			,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	村
D				—	M	]	m	}	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o		·	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

カタカナセット

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	'	p				ー	タ	ミ		
1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2			"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4			$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7			'	7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8			(	8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9			)	9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A			*	:	J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B			+	;	K	[	k	{			ォ	サ	ヒ	ロ		
C			,	<	L	¥	l	¦			ャ	シ	フ	ワ		
D			−	=	M	]	m	}			ュ	ス	ヘ	ン		
E			.	>	N	^	n	~			ョ	セ	ホ	゛		
F			／	?	O	_	o				ッ	ソ	マ	゜		

ひらがなセット

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	'	p				ー	た	み		
1			!	1	A	Q	a	q			。	あ	ち	む		
2			"	2	B	R	b	r			「	い	つ	め		
3			#	3	C	S	c	s			」	う	て	も		
4			$	4	D	T	d	t			、	え	と	や		
5			%	5	E	U	e	u			・	お	な	ゆ		
6			&	6	F	V	f	v			を	か	に	よ		
7			'	7	G	W	g	w			ぁ	き	ぬ	ら		
8			(	8	H	X	h	x			ぃ	く	ね	り		
9			)	9	I	Y	i	y			ぅ	け	の	る		
A			*	:	J	Z	j	z			ぇ	こ	は	れ		
B			|	;	K	|	k	{			ぉ	さ	ひ	ろ		
C			.	<	L	¥	l	¦			ゃ	し	ふ	わ		
D			−	−	M	]	m	}			ゅ	す	へ	ん		
E			.	>	N	^	n	~			ょ	せ	ほ	゛		
F			／	?	O	_	o				っ	そ	ま	゜		

PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表

PC-PR201 モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

8ビット カタカナモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	'	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	▅	￣	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
D	CR	GS		=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~

8ビット ひらがなモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	'	p		─		ー	た	み	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▁	─	。	あ	ち	む	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	-	「	い	つ	め	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▃	-	」	う	て	も	╡	月
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	▄	￣	、	え	と	や	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	─	・	お	な	ゆ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆		を	か	に	よ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	▇	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	·	ぃ	く	ね	り	♠	
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	·	ぅ	け	の	る	♥	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	·	ぇ	こ	は	れ	♦	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	-	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
D	CR	GS	−	=	M	]	m	}	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
F	SI	US	/	?	O	_	o		─	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~

ガイド

<30>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ Ø ”になります。

7ビット　英数モード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	`	p
1			!	1	A	Q	a	q
2		DC2	"	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v
7			'	7	G	W	g	w
8		CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT		)	9	I	Y	i	y
A	LF		*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦
D	CR	GS	−	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{			}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{			}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	「	Y	」	^	`	{			}	~

7ビット　カタカナモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	タ	ミ	`	p
1			。	ア	チ	ム	a	q
2		DC2	「	イ	ツ	メ	b	r
3			」	ウ	テ	モ	c	s
4	EOT	DC4	、	エ	ト	ヤ	d	t
5			・	オ	ナ	ユ	e	u
6			ヲ	カ	ニ	ヨ	f	v
7			ァ	キ	ヌ	ラ	g	w
8		CAN	ィ	ク	ネ	リ	h	x
9	HT		ゥ	ケ	ノ	ル	i	y
A	LF		ェ	コ	ハ	レ	j	z
B	VT	ESC	ォ	サ	ヒ	ロ	k	{
C	FF	FS	ャ	シ	フ	ワ	l	¦
D	CR	GS	ュ	ス	ヘ	ン	m	}
E	SO	RS	ョ	セ	ホ	゛	n	~
F	SI	US	ッ	ソ	マ	゜	o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	「	Y	」	^	`	{	¦	}	~

ガイド　7ビット英数モードの<30>$_{16}$のコードは、ゼロ文字設定により“０”または“Ø”になります。

7ビット　ひらがなモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	た	み	'	p
1			。	あ	ち	む	a	q
2		DC2	「	い	つ	め	b	r
3			」	う	て	も	c	s
4	EOT	DC4	、	え	と	や	d	t
5			・	お	な	ゆ	e	u
6			を	か	に	よ	f	v
7			ぁ	き	ぬ	ら	g	w
8		CAN	ぃ	く	ね	り	h	x
9	HT		ぅ	け	の	る	i	y
A	LF		ぇ	こ	は	れ	j	z
B	VT	ESC	ぉ	さ	ひ	ろ	k	{
C	FF	FS	ゃ	し	ふ	わ	l	¦
D	CR	GS	ゅ	す	へ	ん	m	}
E	SO	RS	ょ	せ	ほ	゛	n	‾
F	SI	US	っ	そ	ま	゜	o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	S	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
イギリス	£	S	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	S	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	S	@	「	Y	」	^	`	{		}	~

7ビット　グラフィックモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			＿	┴	═	×	'	p
1			▁	┬	╞	円	a	q
2		DC2	▂	┤	╪	年	b	r
3			▃	├	╡	月	c	s
4	EOT	DC4	▄	▔	◢	日	d	t
5			▅	─	◣	時	e	u
6			▆	│	◥	分	f	v
7			▇	▕	◤	秒	g	w
8		CAN	▏	┌	♠		h	x
9	HT		▎	╷	♥		i	y
A	LF		▍	└	♦		j	z
B	VT	ESC	▌	┘	♣		k	{
C	FF	FS	▋	╭	●		l	¦
D	CR	GS	▊	╮	○		m	}
E	SO	RS	█	╰	╱		n	‾
F	SI	US	┼	╯	╲		o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	S	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
イギリス	£	S	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	S	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	S	@	「	Y	」	^	`	{		}	~

ＪＩＳ-90 第一水準漢字一覧表

区 $	区 \ 点	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

区$ ＼ 点$	区 ＼ 点	40 / 32	41 / 33	42 / 34	43 / 35	44 / 36	45 / 37	46 / 38	47 / 39	48 / 40	49 / 41	4A / 42	4B / 43	4C / 44	4D / 45	4E / 46	4F / 47	50 / 48	51 / 49	52 / 50	53 / 51	54 / 52	55 / 53	56 / 54	57 / 55	58 / 56	59 / 57	5A / 58	5B / 59	5C / 60	5D / 61	5E / 62	5F / 63
20	0																																
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	┼																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

点 $		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区 $		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表

点$ / 区$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紆	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $ \ 点 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歛	歔	歙	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

点$ 区$		60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壙	壞	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	宀	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

ＪＩＳ漢字コードについてのご注意

PC-PR201 モードでの違い

PC-PR201 モードでは、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

区 $	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F
	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
20	0																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
23	3																
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
28	8																
29	9	SP	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
2A	10	※	｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
2B	11	※	SP	ﾞ	ﾟ	─	━	│	┃	┄	┅	┆	┇	┈	┉	┊	┋
2C	12					─	━	│	┃	┄	┅	┆	┇	┈	┉	┊	┋
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
2E	14																
2F	15																

区 $	区	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
	点	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																
21	1	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2																
23	3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8																
29	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2A	10	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2B	11	┌	┍	┎	┏	┐	┑	┒	┓	└	┕	┖	┗	┘	┙	┚	┛
2C	12	┌	┍	┎	┏	┐	┑	┒	┓	└	┕	┖	┗	┘	┙	┚	┛
2D	13	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																
2F	15																

注 1) <2920>16 ～ <2B3F>16 は半角漢字です。
注 2)「※」の部分は、半角の空白印字になります。
注 3) <2930>16 のコードは、ゼロ文字設定により “ 0 ” または “ Ø ” になります。

区 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F
	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
20	0																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
22	2																
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
27	7	Ю	Я														
28	8																
29	9	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
2A	10	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
2B	11	├	┝	┞	┟	┠	┡	┢	┣	┤	┥	┦	┧	┨	┩	┪	┫
2C	12	├	┝	┞	┟	┠	┡	┢	┣	┤	┥	┦	┧	┨	┩	┪	┫
2D	13	ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ページ
2E	14																
2F	15																

区 $	区	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																
21	1	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2																
23	3	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8																
29	9	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
2A	10	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
2B	11	┬	┭	┮	┯	┰	┱	┲	┳	┴	┵	┶	┷	┸	┹	┺	┻
2C	12																
2D	13	mm	cm	km	mg	kg	cc	m²									平成
2E	14																
2F	15																

注)<2940>16 ～ <2B5F>16 は半角漢字です。

点$ / 区$		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	
20	0																																
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
22	2																																
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん												
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
26	6																																
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
28	8																																
29	9	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	¦	}		※
2A	10	ヰ	ヱ	ヮ	ヵ	ヶ	ヴ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	バ	パ	ビ	ピ	ブ	プ	ベ	ペ	ボ	ポ	※
2B	11	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	´	¨	‘	“	〔	〕	〈	〉	《	》	『	』	【	】	─	※
2C	12	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼																
2D	13	〝	〟	No.	KK.	TEL	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	明治	大正	昭和	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
2E	14																																
2F	15																																

注１）<2960>$_{16}$ ～ <2B7F>$_{16}$ は半角漢字です。

注２）「※」の部分は、半角の空白印字になります。

ＪＩＳ第二水準漢字

点$ / 区$		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

外字登録領域

区 $	区 \ 点 $	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
70	80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

外字登録領域

区 $	区 \ 点 $	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
	点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

外字登録領域

半角漢字

区＼点$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
002X	SP	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
003X	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
004X	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
005X	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]		_
006X		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
007X	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					※
008X	SP	。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
009X	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00AX	※	。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00BX	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00CX	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00DX	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00EX	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00FX	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

注１）「※」の部分は、半角の空白印字になります。

注２）<0030>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ Ø ”になります。

JIS の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR
3724	靴	靴	4042	逝	逝	3D6D	渚	渚	622B	皓	皓
3937	昂	昂	444E	塚	塚	3F69	翠	翠	514B	冕	冕
3E3F	梢	梢	4951	頻	頻	4072	栓	栓	5B4A	枴	枴
432A	棚	棚	4D5A	遥	遙	4275	濯	濯	5C53	梗	梗
463E	鴇	鴇	4E4B	遼	遼	4276	琢	琢	6646	翔	翔
4B22	泡	泡	327D	拐	拐	4661	那	那	5B74	梍	梍
3646	尭	堯	3365	喝	喝	4862	扉	扉	6076	瑶	瑤
3745	慧	慧	336C	褐	褐	4B6A	槙	槇	6C62	赳	赳
3755	荊	荆	3764	隙	隙	4B7A	繭	繭	6D6C	迪	迪
3942	溝	溝	3779	嫌	嫌	4C7E	癒	癒			
3C57	遮	遮	3A63	冴	冴	5B2E	葺	葺			

JIS C6234-1983 の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983（情報交換用漢字符号系：旧 JIS C6226-1983）に準拠していますが、JIS X9052-1983（ドットプリンタ用 24 ドット字形：旧 JIS C6234-1983）は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983 の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

JIS コード（区点）	プリンタ	JIS	JIS コード（区点）	プリンタ	JIS	JIS コード（区点）	プリンタ	JIS
3022(1602)	啞	唖	3979(2589)	甑	甑	4578(3788)	禱	祷
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	涜
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀞	瀞
3135(1721)	欝	欝	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	楢	楢
3139(1725)	廐	厩	3B2C(2712)	錆	錆	4729(3909)	禰	祢
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	嚢
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屡	482E(4014)	潑	溌
316B(1775)	焰	焔	3D2B(2911)	繡	繍	4830(4016)	醱	醗
322A(1810)	鷗	鴎	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頬
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蒋	4B70(4380)	鱒	鱒
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醤	4C4D(4445)	麵	麺
337A(1990)	嚙	噛	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餠	餅
3442(2034)	澗	澗	4066(3270)	蟬	蝉	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	萊	莱
3622(2202)	俠	侠	4169(3373)	瘦	痩	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驒	騨	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	躯	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蝋
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屛	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簞	箪	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摑	掴	5A39(5825)	攢	攅
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	綟	綟
3834(2420)	鹼	鹸	4536(3722)	塡	填			
396D(2577)	麴	麹	453F(3731)	顚	顛			

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 操作、機能について不明な点や修理については、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご相談ください。詳細は添付の修理サービス網一覧をご覧ください。

ソフトウェア編

第1章

インストールの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアをインストールする前に必要となる基本的なことがらについて説明します。

インストールの前に 4
双方向プリンティングシステム
「Printianavi（プリンティアナビ）」..... 5
Printia XL ドライバ 7
Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ 7
Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ 8
Printianavi ネットワークポートモニタ 10
XL ドライバディスク作成 10
かんたんバーコード Lite.. 11
Acrobat Reader 3.0J（アクロバットリーダー）........ 11
ソフトウェアマニュアル 12
CD-ROM の内容.. 13
Printianavi インストーラ 14

インストールの前に

本プリンタには、「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM が同梱されています。この中には、次のソフトウェアが入っています。

- Printia XL ドライバ(双方向プリンティングシステム「Printianavi」を含む)
- Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
- Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ
- Printianavi ネットワークポートモニタ
- かんたんバーコード Lite
- Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ソフトウェアマニュアル

ガイド

Printia XL ドライバ以外のソフトウェアは、Printianavi インストーラでインストールすることができます。(「Printianaviインストーラ」(14 ページ)参照)
Printia XL ドライバのインストール方法については、第２章および第３章をご覧ください。

以降で、各ソフトウェアの概要について説明します。

双方向プリンティングシステム「Printianavi（プリンティアナビ）」

プリンタの印刷ジョブの処理状況、プリンタステータスの監視、印刷再開や印刷打ち切りなどを、印刷を実行したパソコンから制御するソフトウェアです。Printia XL ドライバの一部としてインストールされます。

Printianavi は、Windows 95、および Windows NT4.0 が動作するパソコンに、プリンタケーブル（セントロ）または LAN 経由でプリンタを接続したときに使用できます。

「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM の中にある次のソフトウェアは、Printianavi と連携して使用します。
・Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ
・Printianavi ネットワークポートモニタ

上記のソフトウェアのどれが必要となるかは、プリンタの共有方法や接続形態、クライアント側とサーバ側などで異なります。
次の表、および付録の「プリンタ接続形態別のインストール手順」を参照してください。

プリンタの共有方法	共有しない	サーバなしで共有	サーバ接続プリンタを共有	
プリンタの接続形態	セントロ接続	LAN 接続	セントロ接続	LAN 接続
必須ソフトウェア(クライアント側)	・Printia XL ドライバ	・Printia XL ドライバ ・ネットワークポートモニタ	・Printia XL ドライバ ・ネットワーク連携ユーティリティ	・Printia XL ドライバ ・ネットワーク連携ユーティリティ
必須ソフトウェア(サーバ側)			・Printia XL ドライバ ・ネットワーク連携ユーティリティ	・Printia XL ドライバ ・ネットワークポートモニタ ・ネットワーク連携ユーティリティ

Printianavi の特長

パソコンとＸＬプリンタの双方向通信により、Printianaviは次の機能を実現しました。

高速転送

- エラー発生や空きメモリ量などのプリンタ状態を確認しながら、効率よく印刷ジョブを転送します。
- 100Mbpsの高速ネットワークに対応したプリンタLANポートと、セントロポートに標準で対応します。

優れた操作性

- 印刷開始前に、用紙サイズや用紙残量などのプリンタステータスやエラー内容を確認できます。

ガイド　双方向パラレルポート経由、またはLAN経由で、パソコンから直接印刷できるプリンタに限定されます。プリントサーバで共有しているプリンタのステータスを、クライアントパソコンで表示することはできません。

- 印刷を実行したパソコンの画面に、印刷中の文書名や印刷処理の状況などのステータス、印刷完了、エラーメッセージの各メッセージウィンドウを表示します。
- ステータスウィンドウやエラーメッセージウィンドウから、印刷打ち切り操作を簡単に行えます。

高信頼印刷

- プリンタで紙づまりなどのエラー状態を解除すると、エラーが発生したページから印刷を自動的に再開します。この機能により、印刷抜けを防止します。
- Windows NT4.0をプリントサーバにした運用形態では、紙づまりや応答なし等のエラー発生時に、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定できます。
- プリンタの電源オフやケーブル抜けなどのネットワーク異常を監視します。エラーとなった印刷処理を自動的に打ち切り、文字化けなどの印刷トラブルの発生を事前に防止します。

Printia XL ドライバ

Windows 環境でプリンタを使用するために必要なプリンタドライバです。ご使用の OS によってインストール方法および設定方法が異なりますので、次の章をお読みください。

・Windows 95、Windows 3.1 .... 第 2 章
・Windows NT4.0、Windows NT3.51 .... 第 3 章

ガイド 双方向プリンティングシステム「Printianavi」は、Windows 95、Windows NT4.0 の Printia XL ドライバに対応しており、Printia XL ドライバとともにインストールされます。

Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ

LAN(TCP/IP)上のサーバに接続したプリンタの状態表示や印刷制御を、印刷を実行したクライアント側で行えるようにします。

このユーティリティは、Windows 95、および Windows NT4.0 が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

本ユーティリティは、プリントサーバとクライアント双方にインストールし、クライアント側でメッセージ操作環境の設定、および到着通知パネルの起動を行う必要があります。

インストール方法や環境設定、起動方法については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

Printianavi ネットワーク設定ユーティリティ

プリンタを LAN 経由で利用するために必要な設定を、パソコンから行えるようにします。

このユーティリティは、ネットワーク管理者用です。一般ユーザの方はインストールする必要はありません。

動作環境

Printianaviネットワーク設定ユーティリティは、次の環境で使用できます。

- Windows 95 および Novell NetWare (Workstation Shell 4.0 and above [VLM])
- Windows 95 および Novell NetWare Client 32

制限事項

- マイクロソフト製の NetWare 互換のクライアントサービス(NetWare ネットワーククライアント)をインストールした環境では、互換クライアントがサポートしない関数を使用するため、正常に動作しません。
- NetWare ファイルサーバの存在しないネットワークでは、使用しないでください。また、ルータ等を使用している場合、そのルータの仕様によっては正常に動作できない場合があります。
- XL-5510またはXL-5810プリンタドライバ(Printia XLドライバ)を必ずインストールしてください。Printia XL ドライバをインストールしていない環境でPrintianaviネットワーク設定ユーティリティを起動すると、「ライブラリファイル“ fjxlcom.dll ”が見つかりません」のエラーが発生します。この状態では Printiavavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ状態表示が動作しません。
- プリンタの設定を変更するには、設定変更権限が必要です。
  設定を変更する場合には SUPERVISOR でログインし、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを起動してください。
- Printianavi ネットワーク設定ユーティリティや、プリンタのパネル操作で、プリンタの NetWare プロトコルを「無効」に設定すると、本プリンタは、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティのプリンタ一覧に表示されなくなります。
  Printianaviネットワーク設定ユーティリティのプリンタ一覧にプリンタを表示して、設定等を行いたい場合には、プリンタのパネル操作で、プリンタの NetWare プロトコルを「有効」に設定してください。

プリンタ LAN ポートの機能概要

プリンタ内蔵のプリンタLANポートは、100Mbpsの高速ネットワーク(100BASE-TX)や 10BASE-T に接続できます。ネットワークプロトコルとして、TCP/IP と NetWare の両方に対応しています。

TCP/IP の場合は、Printianavi と連携して、Windows NT4.0 または Windows 95 が動作するパソコンから、LAN 経由でプリンタに直接印刷することができるため、プリントサーバを設置しない形態でプリンタを共有することができます。この場合は、Printianavi ネットワークポートモニタを、印刷を行うパソコンにインストールする必要があります。

TCP/IP は、Windows NT の LPR 印刷にも対応しています。

NetWareはプリントサーバモードおよびリモートプリンタモードに対応しており、NetWare サーバ連携のプリンタ共有が可能です。NetWare 印刷や LPR 印刷は、双方向プリンティングシステム「Printianavi」には対応していませんのでご注意ください。

主な設定項目

TCP/IP に関する設定は、本ユーティリティ、およびプリンタのオペレータパネルから設定できます。

NetWare に関する設定は、本ユーティリティでのみ設定できます。(NetWare の有効／無効の選択を除く。)
NetWare を無効に設定した場合は、オペレータパネルで「有効」に設定し直すまで、本ユーティリティからは設定できませんのでご注意ください。

本ユーティリティのインストール方法や使用方法の詳細、NetWare印刷や LPR 印刷を行うための詳細については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

本ユーティリティで設定できる主な項目は、次のとおりです。

TCP/IP 設定

・TCP/IP プロトコルの有効／無効
・DHCP によるアドレス取得
・IP アドレス
・サブネットマスク
・ゲートウェイアドレス
・ポート番号

NetWare 設定

・NetWare プロトコルの有効、無効
・NetWare マシン名
・パケット形式
・動作モード（リモートプリンタ、プリントサーバ）
・リモートプリンタ詳細（最大８台までのプリントサーバ名）
・プリントサーバ詳細（最大８台までのファイルサーバ名）
・NetWare ポート名

Printianavi ネットワークポートモニタ

プリンタを LAN (TCP/IP)で接続して、パソコンから直接印刷を行えるようにします。

本ユーティリティは、Windows 95、および Windows NT4.0 が動作するパソコンにインストールされた双方向プリンティングシステム「Printianavi」と連携して動作します。

本ソフトウェアのインストール方法や環境設定の詳細については、CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをご覧ください。

ガイド Printianavi ネットワークポートモニタは、XL-5810/XL-5510専用です。プリンタLANカード XL-LN100(XL-5300Aオプション)には、XL-LN100に添付されているポートモニタをご使用ください。

XL ドライバディスク作成

本 CD-ROM に収められた Printia XL ドライバの配布用ディスクを作成します。

XLドライバディスク作成を行うときは、フォーマット済みの3.5インチ 2HD フロッピィディスクを 1 枚用意してください。

ガイド ネットワーク共有のCD-ROMドライブをご利用の場合は、必ず、CD-ROMドライブにローカルドライブ名を割り当ててください。

かんたんバーコード Lite

OLE連携可能なアプリケーションソフトにバーコードを貼り付け、バーコードの表示・印刷を行えるようにします。MS-Word や MS-Excel、OASYS for Windows、一太郎など、OLE 連携に対応したアプリケーションソフトは多数あります。

本ソフトウェアがサポートするバーコードの種類は、次の 4 種類です。
・JAN 標準
・JAN 短縮
・NW-7
・カスタマバーコード

本ソフトウェアのインストール方法や使用方法の詳細については、CD-ROMの「Barcode」フォルダに収められたPDF形式のオンラインマニュアル(Manual.pdf)、およびテキストファイル(Readme.txt)をご覧ください。

Acrobat Reader 3.0J（アクロバットリーダー）

PDF(Portable Document Format)形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。本ソフトウェアは、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。

CD-ROM に収められた PDF 形式のソフトウェアマニュアルを使用するには、まず本ソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

Acrobat Reader 3.0J のインストール

Acrobat Reader 3.0J は、Windows NT4.0 または Windows 95 が動作するパソコンにインストールできます。
「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動します。Acrobat Reader ボタンをクリックすると Adobe Acrobat Reader 3.0J インストーラが起動しますので、画面の指示に従って操作してください。

Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の「Acrobat」フォルダにある Adobe Acrobat Reader 3.0J インストーラ（ファイル名:Acro30j.exe）をエクスプローラから起動してください。同フォルダ内にインストール時の注意事項などが記載された Readme.txt が収められていますので合わせてご覧ください。

ソフトウェアマニュアル

「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM に収められているソフトウェアに関する使用方法や注意事項を記載したマニュアルです。本書と合わせてご活用ください。

ソフトウェアマニュアルは、PDF 形式のファイルで提供しています。PDF 形式のファイルは、添付の Adobe Acrobat Reader 3.0J を使用して、画面に表示したり、印刷したりすることができます。

ソフトウェアマニュアルの使い方

ソフトウェアマニュアルを画面に表示するには、次の２つの方法があります。

・「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM の「Manual」フォルダ内にある Index.pdf をダブルクリックする
・CD-ROM をセットすると自動的に起動する Printianavi インストーラの「ソフトウェアマニュアル」ボタンをクリックする

いずれの場合も、Adobe Acrobat Reader 3.0J がインストールしてあることが必要です。

CD-ROM の内容

プリンタに添付されている「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM に収められている主なファイルは、次のとおりです。

```
\ ─┬ Acrobat                Adobe Acobat Reader用フォルダ
   │  └── Acro30j.exe       ・Acrobat Reader 3.0Jインストーラ
   ├ Barcode                かんたんバーコードLite用フォルダ
   │  ├── Setup.exe         ・かんたんバーコードLiteインストーラ
   │  └── Manual.pdf        ・かんたんバーコードLiteソフトウェアマニュアル
   ├ Fjxldrv                Printia XLドライバディスク用フォルダ
   │  ├── Win31             ・Windows 3.1で動作するプリンタドライバ
   │  ├── Win95             ・Windows 95で動作するPrintianavi対応プリンタドライ
   │  │                       バ
   │  ├── Winnt351          ・Windows NT3.51で動作するプリンタドライバ
   │  └── Winnt40           ・Windows NT4.0で動作するPrintianavi対応プリンタド
   │                          ライバ
   ├ Fjxluty                 Printia XLドライバディスク作成ツール用フォルダ
   │  └── Fjxldisk.bat      ・Printia XLドライバFD作成用バッチファイル
   ├ Manual                 ソフトウェアマニュアル用フォルダ
   │  └── Index.pdf         ・ソフトウェアマニュアル(PDF形式)の目次ファイル
   ├ Naviport               Printianaviネットワークポートモニタ用フォルダ
   │  └── Setup.exe         ・ネットワークポートモニタインストーラ
   ├ Workit                 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ用フォルダ
   │  ├── Win95             ・Windows 95用インストールフォルダ
   │  │    └── Setup.exe    ・Windows 95用インストーラ
   │  └── Winnt             ・Windows NT4.0用インストーラフォルダ
   │       └── Setup.exe    ・Windows NT4.0用インストーラ
   ├ Wxlsetup               Printianaviネットワーク設定ユーティリティ用フォルダ
   │  └──── Install.exe     ・ネットワーク設定ユーティリティインストーラ
   └ Setup.exe              Printianaviインストーラ
```

Printianavi インストーラ

「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM に収められている次のソフトウェアを、インストールします。
・ネットワーク連携ユーティリティ
・ネットワーク設定ユーティリティ
・ネットワークポートモニタ
・かんたんバーコード Lite
・Adobe Acrobat Reader 3.0J

Printianavi インストーラは、Windows 95 または Windows NT4.0 が動作するパソコンで使用できます。CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、Printianavi インストーラが自動的に起動します。

ガイド

・インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある Setup.exe をダブルクリックしてください。
・Windows NT4.0が動作するパソコンにネットワークポートモニタをインストールするときは、管理者グループのメンバーでログオンしてから行ってください。

また、本インストーラからは、XL ドライバディスクの作成や、ソフトウェアマニュアルの表示を行うことができます。

第2章

Windows 95/3.1 プリンタドライバのインストールと設定

この章では、Windows 95 および Windows 3.1 が動作するパソコンに、プリンタドライバ(Printia XL ドライバ)をインストールする方法と、設定方法について説明します。

Windows 95 の場合 16

Plug & Play によるインストール 16
通常のインストール 21
新しいドライバに置き換えるとき 26
プリンタドライバの設定 27
設定画面の表示 31
設定項目の詳細 32
アプリケーションソフトから印刷するときの設定 47

Windows 3.1 の場合 50

インストール 50
プリンタドライバの設定 53
設定画面の表示 55
印刷の設定 55

Windows 95 の場合

ここでは、Windows 95が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

Plug & Play によるインストール

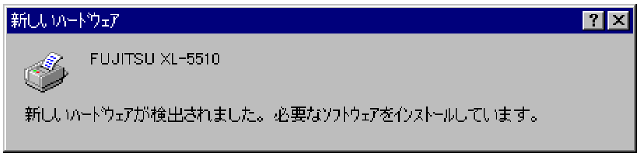
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- **インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLDRV」フォルダにある「WIN95.TXT」をお読みください。**
- **Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 95 にアップグレードしている場合は、Windows 95の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。**

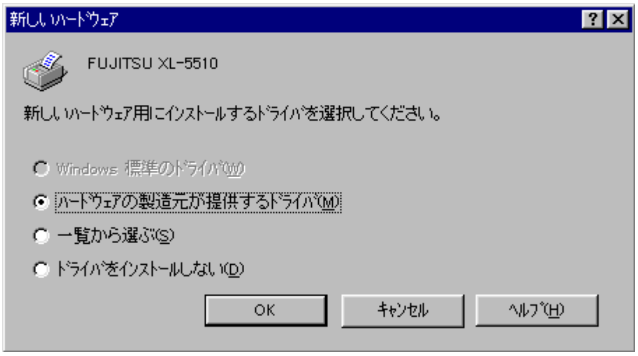


1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に「FUJITSU XL-5xxx 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトをインストールしています。」(XL-5xxxx はプリンタ名)と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバのインストールをしてください。

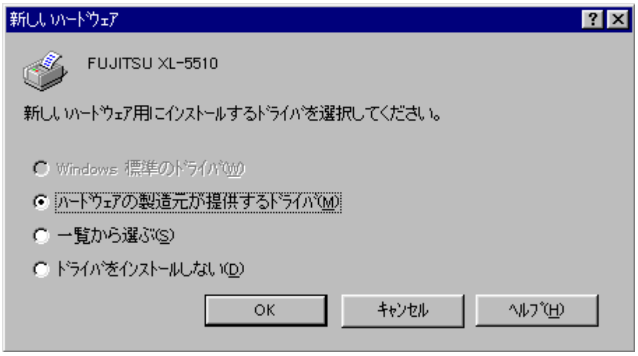
ガイド Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

次の画面が表示されている場合は 2 に進みます。



次の画面が表示されている場合は 5 に進みます。

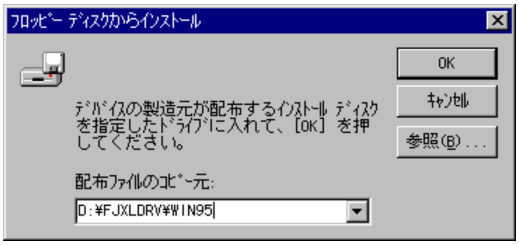
ガイド 一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。



2 “ハードウェアの製造元が提供するドライバ”をクリックして〔OK〕をクリックする

3 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

CD-ROMから作成したフロッピィディスクを使用する場合は、フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。



4 〈配布ファイルのコピー元:〉に「D:\FJXLDRV\WIN95」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLDRV\WIN95」を選択する（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

10へ進んでください。

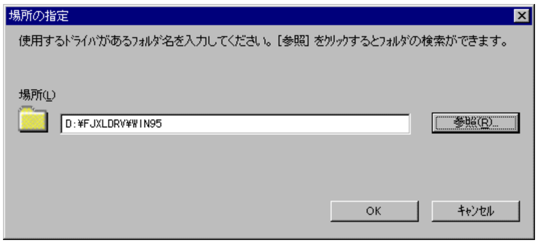
ガイド フロッピィディスクを使用する場合は、〈配付ファイルのコピー元：〉に「A:\WIN95」と指定します。(フロッピィディスクドライブがA:のとき)

5　〔次へ〕をクリックする

6　添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピィディスクを使用する場合は、フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

7　〔場所の指定〕をクリックする



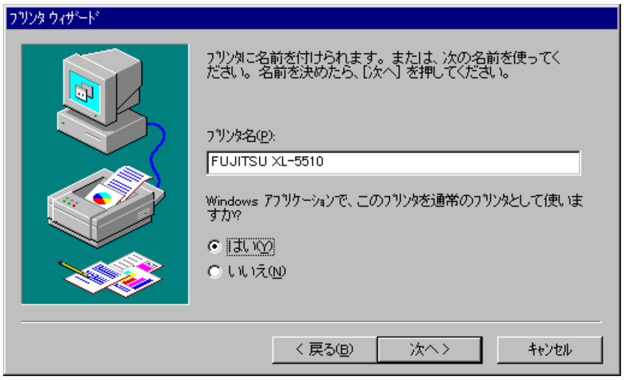
8　〈場所〉に「D:\FJXLDRV\WIN95」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLDRV\WIN95」を選択する（CD-ROM ドライブが D: のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

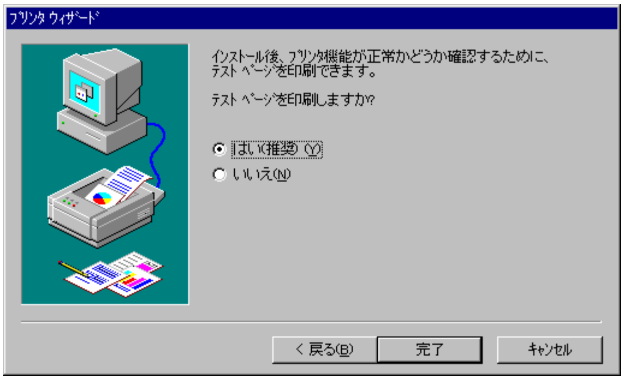
ガイド　フロッピィディスクを使用する場合は、〈配付ファイルのコピー元：〉に「A:\WIN95」と指定します。(フロッピィディスクドライブが A:のとき)

9 〔完了〕をクリックする

左のようなダイアログボックスが表示されたら、〔完了〕をクリックします。

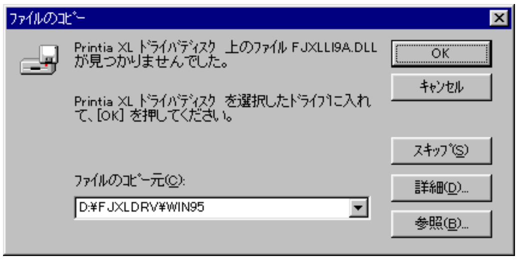


10 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



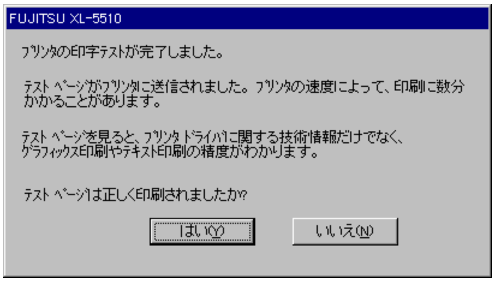
11 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする

「ディスク挿入」ダイアログボックスが表示されたら、〔OK〕をクリックします。



12 〈ファイルのコピー元〉に「D:|FJXLDRV|WIN95」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:|FJXLDRV|WIN95」を選択する（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



13 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。

ガイド ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- **インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「WIN95.TXT」をお読みください。**
- **Windows 3.1で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 95 にアップグレードしている場合は、Windows 95 の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。**

1 Windows 95 を起動する

2 マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタの追加〕をダブルクリックする

3 〔次へ〕をクリックする

4 ローカルプリンタかネットワークプリンタのどちらかを選択して〔次へ〕をクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。（以降の操作が簡単になります。）

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

ガイド スタンドアロン（パソコンとプリンタを１対１で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

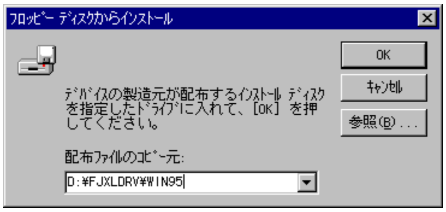
ガイド 〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5　〔ディスク使用〕をクリックする

6　添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピィディスクを使用する場合は、フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

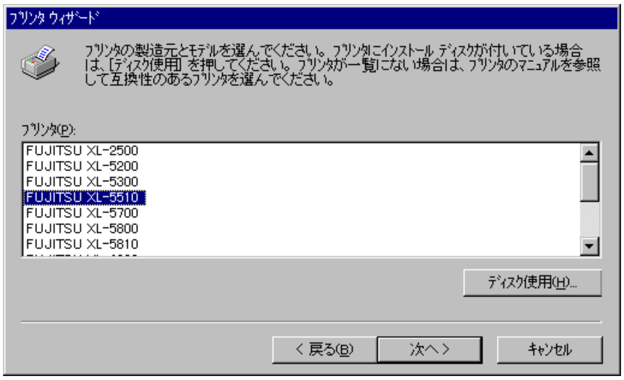
ガイド　CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



7　〈配布ファイルのコピー元:〉に「D:\FJXLDRV\WIN95」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLDRV\WIN95」を選択する（CD-ROM ドライブが D: のとき）

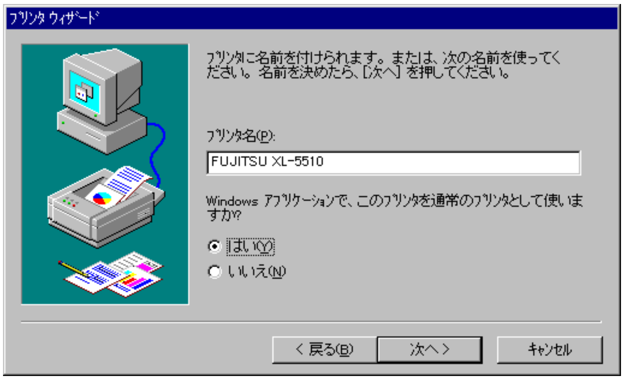
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド　フロッピィディスクを使用する場合は、〈配付ファイルのコピー元：〉に「A:\WIN95」と指定します。(フロッピィディスクドライブが A:のとき)

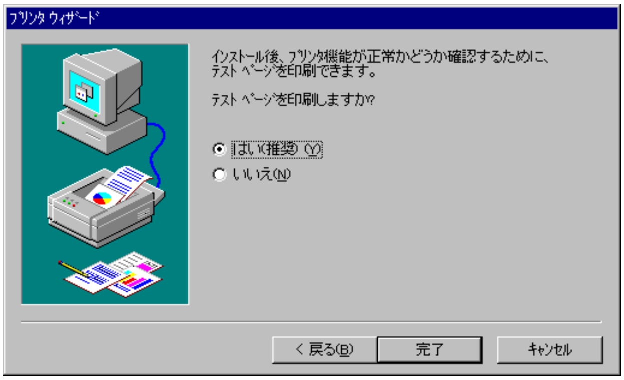


8　プリンタを選択して、〔次へ〕をクリックする

9　使用するポートを選択して〔次へ〕をクリックする

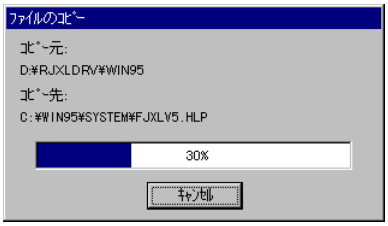


10　本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする



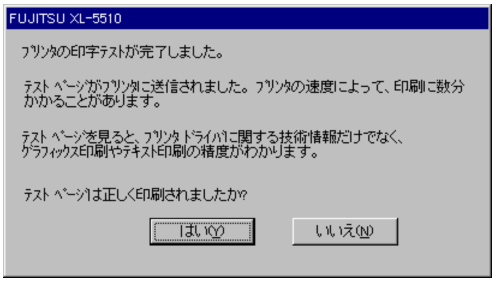
11　テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



→

「テストページを印刷しますか？」で“ はい（推奨）”を選択した場合は以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

1　マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタフォルダ〕を開く

2　該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する

3　〔はい〕をクリックする

4　Windows 95 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 95 を再起動します。

5　新しいプリンタドライバ を、「通常のインストール」（21ページ）の手順でインストールする

6　新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 95 を再起動する

プリンタドライバの設定

本プリンタドライバは、以下の設定項目を用意しています。

設定項目		設定内容	説 明
情報	コメント		プリンタに関するコメントを入力する
	区切りページ	なし	印刷する文書を区切るページを挿入しない
		簡易ページ	文字だけの区切りページを挿入する
		標準ページ	グラフィックスの入っている区切りページを挿入する
	印字テスト		テストページを印刷する
詳細	印刷先のポート		プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する
	ポートの追加		ポートを追加する
	ポートの削除		ポートを削除する
	印刷に使用するドライバ		プリンタの種類を表示する
	ドライバの追加		プリンタドライバを更新または変更する
	プリンタポートの割り当て		ネットワークドライブにポートを割り当てる
	プリンタポートの解除		ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除する
	タイムアウト設定	未選択時	プリンタがオンラインになるまで待つ時間を秒単位で指定する
		送信の再試行時	プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間を秒単位で指定する
	スプールの設定		アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定する
	ポートの設定		プリンタポートの設定を変更する
共有(＊1)	共有しない		プリンタを共有しない
	共有する	共有名	プリンタを共有するときに名称を指定する
		コメント	プリンタに関するコメントを入力する
		パスワード	プリンタを共有するときのパスワードを指定する

＊1　ネットワークの設定でプリンタを共有にしたときにのみ設定できます。

設定項目		設定内容	説明
用紙	用紙サイズ	A3(297×420mm)	A3 サイズの用紙に印刷する
		A4(210×297mm)	A4 サイズの用紙に印刷する
		A5(148×210mm)	A5 サイズの用紙に印刷する
		B4(257×364mm)	B4 サイズの用紙に印刷する
		B5(182×257mm)	B5 サイズの用紙に印刷する
		Letter(8.5×11ｲﾝﾁ)	レターサイズの用紙に印刷する
		Legal(8.5×14ｲﾝﾁ)	リーガルサイズの用紙に印刷する
		はがき(100×148mm)	はがきに印刷する
		ユーザー定義サイズ	不定形の用紙に印刷する 幅：100～297mm 長さ：148～420mm
	出力用紙の選択(＊2)	自動 145% 拡大	145% 拡大して印刷する （A5→A4、B5→B4、A4→A3）
		自動 125% 拡大	125% 拡大して印刷する （A5→B5、B5→A4、A4→B4、B4→A3）
		現在の用紙(100%)	拡大・縮小せず、用紙サイズで指定した用紙に印刷する
		自動 94% 縮小	94% 縮小して印刷する （Letter→A4、A4→Letter）
		自動 80% 縮小	80% 縮小して印刷する （A3→B4、B4→A4、A4→B5、B5→A5）
		自動 70% 縮小	70% 縮小して印刷する （A3→A4、B4→B5、A4→A5）
		A3 固定	用紙サイズの指定に関わらず A3 用紙に印刷する
		A4 固定	用紙サイズの指定に関わらず A4 用紙に印刷する
		A5 固定	用紙サイズの指定に関わらず A5 用紙に印刷する
		B4 固定	用紙サイズの指定に関わらず B4 用紙に印刷する
		B5 固定	用紙サイズの指定に関わらず B5 用紙に印刷する
		Letter 固定	用紙サイズの指定に関わらずレター用紙に印刷する
		Legal 固定	用紙サイズの指定に関わらずリーガル用紙に印刷する

＊2　用紙サイズがユーザー定義サイズのとき、本設定は無効です。

設定項目		設定内容	説　明
用紙	イメージサイズの調整	－50%～50%	イメージの拡大・縮小率を％で設定する
	用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する（ポートレイト）
		横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する（ランドスケープ）
	給紙方法	自動用紙送り	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する
		手差し	給紙トレイから給紙する
		給紙カセット１	１段目の給紙カセットから給紙する
		給紙カセット２	２段目の給紙カセットから給紙する
	部数	1～999	印刷部数を指定する
	ステータス表示		双方向通信が可能なときに、プリンタの状態を表示する
	バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
レイアウト	N-up 印刷(＊3)	1up	通常の印刷を行う
		2up	１枚の用紙に２ページ分のデータを印刷する
		4up	１枚の用紙に４ページ分のデータを印刷する
		8up	１枚の用紙に８ページ分のデータを印刷する
		16up	１枚の用紙に16ページ分のデータを印刷する
	ページ配置	右下	用紙の左上から右→下にページを配置する
		左下	用紙の右上から左→下にページを配置する
		下右	用紙の左上から下→右にページを配置する
		下左	用紙の右上から下→左にページを配置する
	レイアウト枠を付ける		N-up 印刷のときに、ページごとに枠を付ける
グラフィックス	解像度	300DPI	300dpi で印刷する
		600DPI	600dpi で印刷する
	ディザリング	なし	ディザパターンによる階調づけをしない
		粗く	粗いパターンで階調をつける
		細かく	細かいパターンで階調をつける
		ラインアート	黒・白・グレイの間にはっきりとした境界線があるイメージを印刷する
		誤差拡散法	輪郭のない写真や絵を印刷する
	濃度	暗～明(0～200%)	グラフィックスを印刷する濃度を指定する

＊3　用紙サイズがユーザー定義サイズのとき、本設定は無効です。

設定項目			設定内容	説 明
Printianavi	Printianavi を有効にする			Printianavi を有効にする
	印刷中のステータス表示			印刷中のステータスを表示する
		初期表示モード	ポップアップ	ウィンドウで表示する
			最小化	アイコンで表示する(タスクバーに登録)
	印刷終了のメッセージ通知			印刷終了のメッセージを通知する
	メッセージ通知先		このコンピュータ	現在設定を行っているパソコンに通知する
			ホスト名または IP アドレスを指定	特定のパソコンに通知する
オプション	トナーセーブする			トナーの消費量を節約する
	スムージングする			文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかに印刷する
	フルページバンディングする			パソコン側でイメージデータを展開するメモリを確保して印刷する
	白紙ページの扱い		片面印刷時に白紙ページを印刷する	片面印刷のときに白紙のページを印刷する
			両面印刷時に白紙ページを印刷する	両面印刷のときに白紙ページを印刷する

設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面は、次の手順で表示します。

1　〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2　プリンタのプロパティを表示する

プロパティを表示する方法は、以下の３つがあります。

(1)　該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択します。

(2)　該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから〔プロパティ〕を選択します。

(3)　該当するプリンタのアイコンををダブルクリックし、プリンタスプーラを開き、〔プリンタ〕メニューから〔プロパティ〕を選択します。

3　設定を行う項目を含むタブをクリックする

設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる各項目の内容について説明します。

〔情報〕ダイアログ

コメント

プリンタに関するコメントを入力します。たとえば、プリンタを使用する時間帯や、プリンタの用途などを入力します。
プリンタを共有する場合、他のユーザーが自分のパソコンにこのプリンタをセットアップすると、ここに入力したコメントが表示されます。ただし、後でコメントを変えても、セットアップ済みのユーザーに表示されるコメントは更新されません。

区切りページ

印刷する文書を区切るページを挿入します。この機能は同じプリンタを複数のユーザーで使う場合や、一度に複数の文書を印刷する場合に便利です。
グラフィックスが入っている〔標準ページ〕と、文字だけの〔簡易ページ〕のいずれかを選択できます。
独自の区切りページを使うには、〔参照〕をクリックし、区切りページとして使うファイルを指定します。使用できるファイルは、Windowsメタファイル（WMF）だけです。
区切りページを使用できるのは、自分のパソコンに直接プリンタが接続されている場合だけです。

ガイド 区切りページは、B5よりも小さい用紙を使用すると周囲の一部が欠けて印刷されます。

印字テスト

テストページを印刷します。プリンタが正しくセットアップできたかどうかを確認するために使います。

〔詳細〕ダイアログ

印刷先のポート

プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスが表示されます。
印刷先を変えるときには、▼をクリックして一覧を表示し、使用するポートを選択します。

ポートの追加

ポートを追加します。
このボタンをクリックすると、〔ポートの追加〕ダイアログボックスが表示されます。〔ポートの追加〕ダイアログボックスで、追加するポートの種類、またはネットワークプリンタのパスを指定します。

ポートの削除

ポートを削除します。
このボタンをクリックすると、〔ポートの削除〕ダイアログボックスが表示されます。〔ポートの削除〕ダイアログボックスで、削除するポートを指定します。

印刷に使用するドライバ

プリンタの種類が表示されます。使用中のプリンタの実際の種類、または使用中のプリンタでエミュレートできるプリンタの種類を指定する必要があります。

ドライバの追加

プリンタドライバを更新または変更するときにクリックします。

プリンタポートの割り当て

ネットワークドライブにポートを割り当てるときにクリックします。

プリンタポートの解除

ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除するときにクリックします。

タイムアウト設定

未選択時 .... プリンタがオンラインになるまで待つ時間（秒単位）を指定します。この時間が経過しても、プリンタがオンラインにならない場合は、エラーメッセージが表示されます。

送信の再試行時 .... プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間（秒単位）を指定します。この時間が経過しても、印刷の準備ができない場合は、エラーメッセージが表示されます。大きいサイズのドキュメントを印刷するときに問題が起きる場合は、この値を大きくします。

スプールの設定

アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定します。このボタンをクリックすると、〔プリンタスプールの設定〕ダイアログボックスが表示されます。プリンタを使用する環境に合わせて、必要な項目をオンにします。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う

....印刷データをいったんハードディスクにスプールしてからプリンタに送ります。この項目をオンにしたときは、スプールする印刷データの量を、１ページにするか、全ページにするか指定します。
この項目をオンにしたときは、〔スプールデータ形式〕から、印刷データをスプールしたときの形式を選択します。

プリンタに直接印刷データを送る

....印刷データをスプールせずに直接プリンタに送ります。パソコン側の作業は、印刷が終わるまで待つことになります。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする／しない

....パソコンとプリンタの間で、プリンタを制御する信号や、プリンタで発生したエラーの情報などを、双方向でやりとりするかしないかを指定します。

ガイド 双方向プリンティングシステム「Printianavi」で、プリンタポートに接続したプリンタを制御させるときは、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定します。

ポートの設定

プリンタポートの設定を変更します。
このボタンをクリックすると、〔ポートの設定〕ダイアログボックスが表示されます。プリンタを使用する環境に合わせて、必要な項目をチェックします。

MS-DOS の印刷ジョブをスプールする

....MS-DOS からの印刷データをスプールするときは、オンにします。

印刷前にポートの状態をチェック

....印刷データをプリンタに送る前に、プリンタが使用できる状態かどうかをチェックします。プリンタが使用できないときは、エラーメッセージを返します。

〔用紙〕ダイアログ

印刷結果のイメージ

プリンタの状態
(機種によっては表示
されません。)

「ステータス表示」ボタン
(機種によっては表示
されません。)

用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。

ガイド

- 不定形の用紙に印刷するときは、「ユーザ定義サイズ」を選択して用紙の大きさを指定してください。(幅１００～297mm、長さ：148～420mmの範囲で大きさを指定できます。)
- 「ユーザー定義サイズ」を選択したときは、〔出力用紙の選択〕および〔N-up 印刷〕の指定は無効となります。
- 「ユーザー定義サイズ」を選択したときは、給紙方法を「手差し」にしてください。
- 「出力用紙の選択」を「現在の用紙（100%)」以外に指定している場合や、〔レイアウト〕ダイアログで N-up 印刷を指定している場合は、プリンタドライバで縮小や拡大を行う前の用紙サイズを指定します。この場合、実際の出力用紙と異なることがあります。

出力用紙の選択

印刷する用紙を選択します。

「○○固定」を指定した場合、用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大・縮小率を自動的に設定します。
この比率は「イメージサイズの調整」で変更することができます。

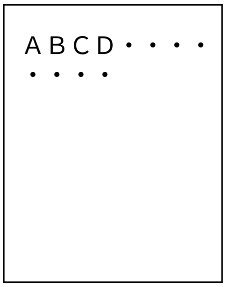
イメージサイズの調整

用紙に展開されたイメージの拡大・縮小率を－50～50%の±で設定します。この値を変更しても出力する用紙に影響は与えません。

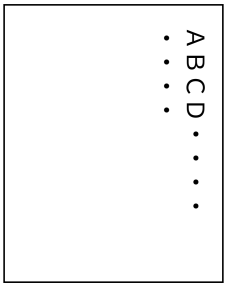
調整値を＋方向に変更した場合、出力する用紙の印刷可能領域（用紙の内側5mmの範囲）をはみ出すことがあります。印刷可能領域からはみ出したイメージは印刷されないのでご注意ください。

用紙方向

用紙の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。



用紙方向　縦
(ポートレイト)



用紙方向　横
(ランドスケープ)

給紙方法

用紙の給紙方法を指定します。

お願い

- **はがきに印刷するときは、「手差し」を選択して、給紙トレイから給紙してください。**
- **不定形の用紙に印刷するときは、「ユーザー定義サイズ」で用紙サイズを指定し、「手差し」を選択して、給紙トレイから給紙してください。**

部　数

印刷する部数を、1～999部の範囲で指定します。

ステータス表示

プリンタと双方向通信可能なときに、プリンタの構成状態の詳細画面を表示します。

ガイド

〔ステータス表示〕は、Printianaviが有効で双方向通信できるときのみ、選択できます。

〔ステータス表示〕ボタンをクリックすると、次のようなステータスウィンドウが表示されます。

プリンタ名 .... プリンタにつけた名前（情報ダイアログに表示されている名前）を表示します。

プリンタモデル名 .... プリンタ本体のモデル名を表示します。

プリンタ状態ビットマップ .... プリンタの状態をビットマップで表示します。

プリンタ状態アイコン .... プリンタの状態をアイコンで表示します。（アイコンの意味については、付録を参照してください。）

プリンタ状態メッセージ ... プリンタの状態を文字で表示します。

詳細メッセージまたはエラー対処方法
.... プリンタ状態メッセージの詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙口情報 .... 給紙口と用紙の情報を表示します。

ステータス表示ウィンドウを閉じるには、〔OK〕をクリックします。

バージョン情報

本プリンタドライバに関するバージョン情報を表示します。

標準に戻す

このダイアログでの設定が標準値に戻ります。

〔レイアウト〕ダイアログ

N-up 印刷

N-up 印刷は、１枚の用紙に複数のページをレイアウトして印刷する機能です。
N-up 印刷を行うときは、1up ～ 16up の中から１枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

ページ配置

N-up 印刷を行うときに、１枚の用紙上のページの配置のしかたを指定します。

レイアウト枠を付ける

通常の１ページに相当する部分に枠を付けるかどうかを設定します。
レイアウト枠を付ける場合は、チェックします。

標準に戻す

このダイアログでの設定が標準値に戻ります。

ガイド

「N-up 印刷」や「出力用紙の選択」を使用して印刷結果を拡大／縮小した場合、まれに内容が用紙に収まらないことがあります。このようなときには、「イメージサイズの調整」で調整してください。

〔グラフィックス〕ダイアログ

解像度

プリンタの解像度を、１インチ当たりのドット数で指定します。

ガイド

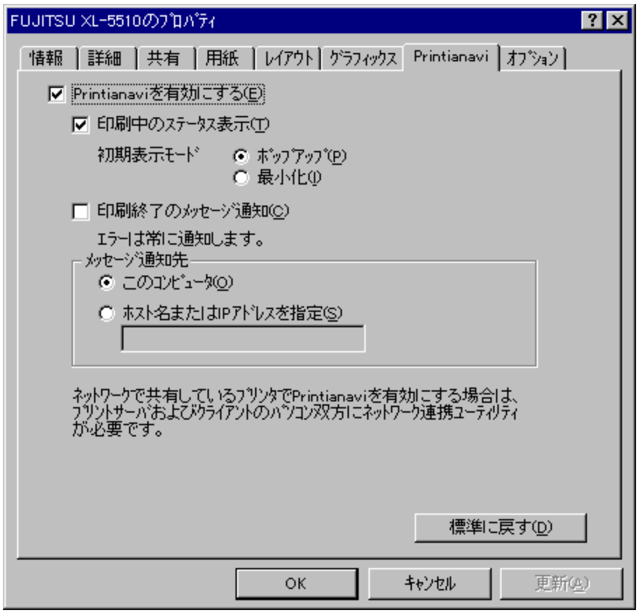
- 8MB 以上(XL-5300A は 4MB 以上)のプリンタ RAM モジュールを取り付けていない場合、600dpi での印刷は A4 用紙サイズまでになります。
- Printianaviが有効で、プリンタRAMモジュールを取り付けずにA3、B4、リーガルおよびユーザー定義（不定形）用紙に600dpiの印刷をしようとした場合、「RAM不足」のメッセージウィンドゥをパソコンの画面に表示して、プリンタは印刷を中止します。その後、エラー状態を自動的に解除して印刷可能な状態となります。
- Printianavi を使用しない場合は、エラーメッセージの表示はされません。したがって、パソコンから印刷打ち切りの操作をすることはできません。
  この場合には、「リセット」スイッチを２回押してプリンタを初期化した後、プリンタをオンラインにしてください。
  再度、印刷する場合は、解像度の設定を300dpiに変更するか、A3、B4用紙の場合はA4サイズ縮小設定にして印刷しなおしてください。

ディザリング
グラフィックスを出力するときに、カラーの部分をモノクロのディザパターンに置き換えて階調をつけます。

濃 度
グラフィックスを印刷する濃度を指定します。

標準に戻す
このダイアログでの設定が標準値に戻ります。

〔Printianavi〕ダイアログ



Printianavi を有効にする

Printianavi を有効にするかどうかを設定します。
Printianavi を有効にするときは、チェックします。

ガイド Printianavi を有効にすると、エラーメッセージは常に表示されます。

印刷中のステータス表示

印刷中のステータスを表示するかどうかを指定します。表示するときはチェックします。
チェックしたときは、ステータス表示のしかたを指定することができます。(「ポップアップ」または「最小化(アイコン)」)

印刷終了のメッセージ通知

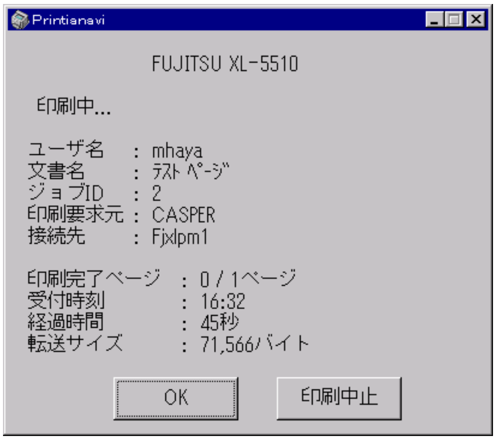
印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。
表示するときは、チェックします。

メッセージ通知先

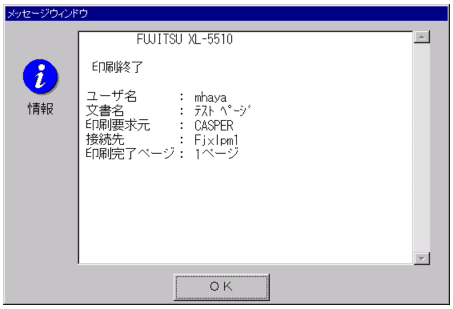
Printianavi が通知する内容を表示するパソコンを設定します。通常は〔このコンピュータ〕を選択します。
現在設定を行っているパソコン以外の場所に表示させたい場合には、〔ホストまたはIP アドレスを指定〕に、表示先のホスト名、またはIP アドレスを指定します。

Printianavi を使用すると、次のようなウィンドウが表示されます。

●印刷中のプリンタの状態表示(ポップアップ)



●印刷終了の通知



●エラーメッセージ通知

〔オプション〕ダイアログ

トナーセーブする

印刷時のトナー量を少なくし、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

トナーセーブするときは、チェックします。

スムージングする

文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかに印刷するかどうかを設定します。

スムージングするときは、チェックします。

ガイド 600dpiで写真などをグラフィック印刷する場合、スムージング OFF の方がきれいな印刷結果を得られる場合があります。

フルページバンディングする

用紙サイズ１枚分のイメージデータを展開するメモリを、パソコン側に確保して印刷するかどうかを設定します。

フルページバンディングする場合は、チェックします。

ガイド 一部のアプリケーションで正しく印刷できない場合にチェックすると、正しく印刷される場合があります。

白紙ページの扱い

印刷する文書に白紙のページが含まれている場合に、白紙のページを印刷するかどうかを設定します。
白紙のページを印刷する場合は、チェックします。
両面印刷可能な機種の場合、片面、両面のそれぞれの場合について設定できます。

標準に戻す

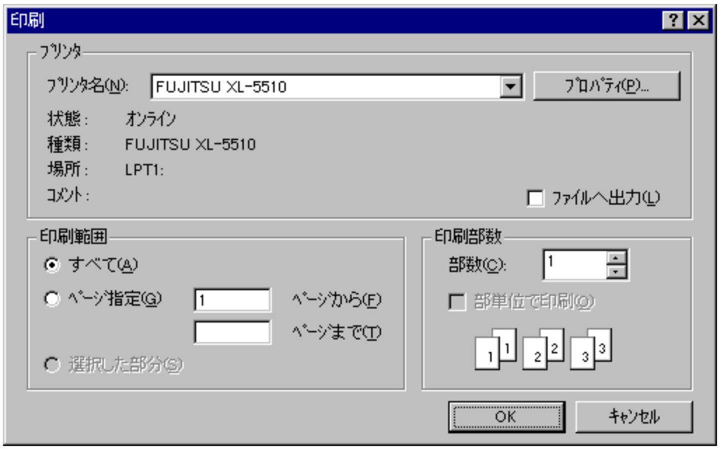
このダイアログでの設定が標準値に戻ります。

アプリケーションソフトから印刷するときの設定

アプリケーションソフトからデータを印刷すると、プリンタに対して設定できる項目が変わります。

ここでは、ワードパッドで作成した文書を印刷する場合を例に、アプリケーションソフトから印刷するときの設定について説明します。(使用するアプリケーションにより、設定内容が異なります。)

アプリケーションソフトから印刷を実行し、〔印刷〕ダイアログボックスを開きます。



〔印刷〕ダイアログボックスで〔プロパティ〕をクリックすると、〔XL-5xxxのプロパティ〕が開きます。目的のダイアログボックスをクリックして、設定を行います。

〔用紙〕ダイアログ

「部数」が設定できないことを除き、XL-5xxx のプロパティのときと同じ設定内容です(37 ページ参照)。

※ アプリケーションによっては、〔用紙〕ダイアログが表示されないことがあります。

〔レイアウト〕ダイアログ

〔レイアウト〕ダイアログの設定内容は、XL-5xxx のプロパティのときと同じです(40 ページ参照)。

〔グラフィックス〕ダイアログ

〔グラフィックス〕ダイアログの設定内容は、XL-5xxx のプロパティのときと同じです(41 ページ参照)。

〔オプション〕ダイアログ

〔オプション〕ダイアログの設定内容は、XL-5xxx のプロパティのときと同じです(45 ページ参照)。

Windows 3.1 の場合

ここでは、Windows 3.1 をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法および印刷設定方法について説明します。

インストール

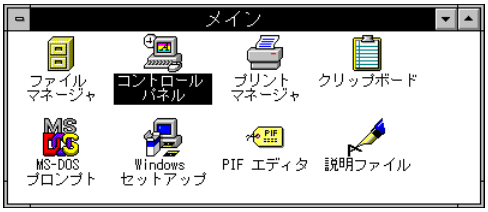
ガイド ご使用のパソコンにインストールされているWindows 3.1のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い **インストールの前に、メモ帳等により CD-ROM の FJXLDRV フォルダにある \WIN31.TXT をお読みください。**

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

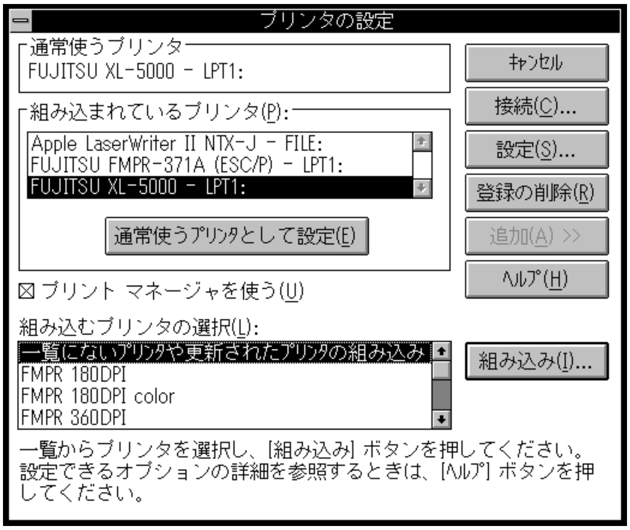
1　Windows 3.1 を起動する

2　〔メイン〕グループ中の＜コントロールパネル＞をダブルクリックする



3　＜コントロールパネル＞中の＜プリンタ＞をダブルクリックするか、または〔設定〕メニューの〔プリンタ..〕を選択する

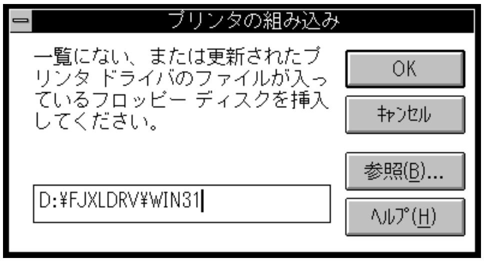
4　〔プリンタの設定〕ダイアログボックスの〔追加 >>〕をクリックする



5　〔組み込むプリンタの選択:〕リストボックス中の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」をクリックし、〔組み込み...〕をクリックする

6　添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

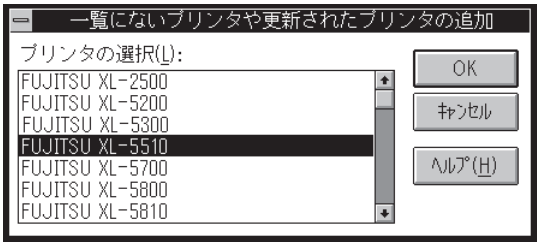
CD-ROMから作成したフロッピィディスクを使用する場合は、フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。



7　***〔プリンタの組み込み〕ダイアログボックスのテキストボックスに、「D:\FJXLDRV\WIN31」と入力する(CD-ROM ドライブが D:のとき)***

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

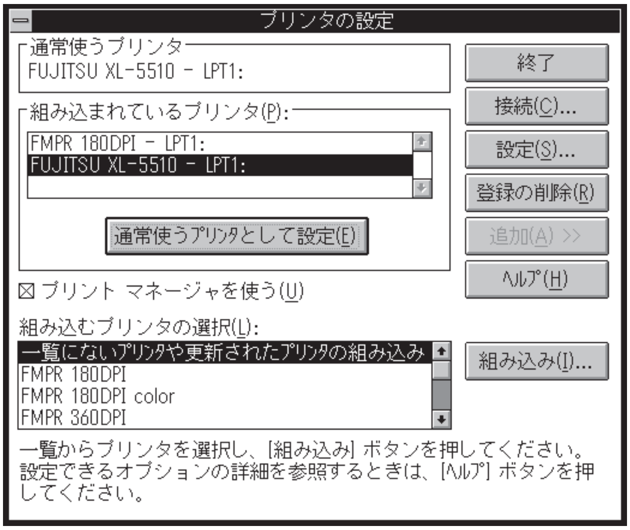
ガイド　フロッピィディスクを使用する場合は、〈配付ファイルのコピー元：〉に「A:\WIN31」と指定します。(フロッピィディスクドライブが A:のとき)



8　***〔プリンタの選択:〕リストボックスの中から、該当するプリンタをクリックして、〔OK〕をクリックする***

〔組み込まれているプリンタ:〕に、選択したプリンタ名が表示されます。

ガイド　〔プリンタの選択:〕リストボックスの表示内容は、プリンタドライバのバージョンによって多少異なる場合があります。



9　***プリンタ名をクリックし、〔通常使うプリンタとして設定〕をクリックする***

選択したプリンタが〔通常使うプリンタ〕に表示され、ドライバが有効になります。

プリンタドライバの設定

本プリンタドライバは、以下の設定項目を用意しています。

設定項目	設定内容	説明
解像度	300dpi	300dpiで印刷する
	600dpi	600dpiで印刷する
用紙サイズ	A3(297×420mm)	A3サイズの用紙に印刷する
	A4(210×297mm)	A4サイズの用紙に印刷する
	A5(148×210mm)	A5サイズの用紙に印刷する
	B4(257×364mm)	B4サイズの用紙に印刷する
	B5(182×257mm)	B5サイズの用紙に印刷する
	Letter(8.5×11ｲﾝﾁ)	レターサイズの用紙に印刷する
	Legal(8.5×14ｲﾝﾁ)	リーガルサイズの用紙に印刷する
	(＊)はがき(100×148mm)	はがきに印刷する
	(＊)ユーザー定義サイズ	不定形の用紙に印刷する
給紙方法	自動給紙	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する
	給紙カセット１	１段目の給紙カセットから給紙する
	給紙カセット２	２段目の給紙カセットから給紙する
	手差し	給紙トレイから給紙する
用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する（ポートレイト）
	横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する（ランドスケープ）

(＊）給紙方法で手差しを選択したときのみ、設定が可能です。

設定項目		設定内容	説 明
オプション	ディザリング	なし	ディザパターンによる階調づけをしない
		粗	粗いパターンで階調をつける
		密	細かいパターンで階調をつける
		ラインアート	黒・白・グレイの間にはっきりとした境界線があるイメージを印刷する
	User Defined Size	幅　□□□ mm	用紙の幅を mm 単位で設定する (100mm ～ 297mm)
		高さ　□□□ mm	用紙の長さを mm 単位で設定する (148mm ～ 420mm)
	縮小	100%(縮小しない)	縮小せずに印刷する
		80%(A3 → B4、B4 → A4、A4 → B5、B5 → A5)	80% 縮小して印刷する
		70%(A3 → A4、B4 → B5、A4 → A5)	70% 縮小して印刷する
	スムージング		文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかに印刷する
	トナーセーブ		トナーの消費量を節約する

設定画面の表示

プリンタドライバの設定は、次の手順で行います。

1 ***<コントロールパネル>中の、<プリンタ>をダブルクリックするか、または〔設定〕メニューの〔プリンタ...〕を選択する***

〔プリンタの設定〕ダイアログボックスが表示されます。

2 ***〔プリンタの設定〕ダイアログボックスで〔組み込まれているプリンタ:〕から、本プリンタをクリックし、〔設定...〕をクリックする***

〔FUJITSU XL-5xxx〕プリンタのダイアログボックスが表示されます。
〔FUJITSU XL-5xxx〕ダイアログボックスで、〔オプション〕ボタンをクリックすると、〔オプション〕ダイアログボックスが表示されます。

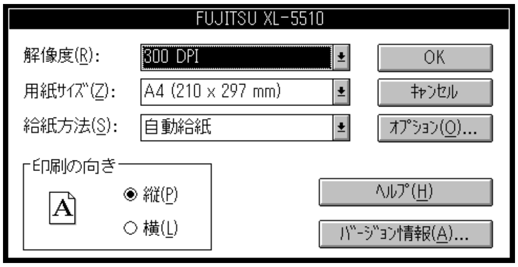
必要な設定を行ったら〔OK〕をクリックします。設定を取り消す場合は〔キャンセル〕をクリックします。

印刷の設定

印刷に関する設定は、〔FUJITSU XL-5xxx〕と〔オプション〕の２つのダイアログボックスで行います。

２つのダイアログボックスの設定内容について説明します。

〔FUJITSU XL-5xxx〕ダイアログボックス



解像度

プリンタの解像度を、１インチ当たりのドット数で指定します。

ガイド

・8MB 以上(XL-5300A は 4MB 以上)のプリンタ RAM モジュールを取り付けていない場合、600dpi での印刷は A4 用紙サイズまでになります。
・プリンタ RAM モジュールを取り付けずに A3、B4、リーガルおよびユーザー定義（不定形）用紙に 600dpi の印刷をしようとした場合は、プリンタの液晶ディスプレイに『RAM　ガ　フソク』『ドライバ　セッテイ　カクニン』と表示されます。この表示が出たら、プリンタの「リセット」スイッチを 2 回押して初期化を行います。その後、オンラインにして解像度設定を 300dpi に変更するか、A3、B4 用紙の場合は A4 サイズ縮小設定にして再度印刷しなおしてください。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを指定します。

ガイド

User Defined Size は、〔オプション〕ダイアログボックスの User Defined Size で指定した大きさの用紙に印刷するときに指定します。給紙方法を手差しにしたときに指定が可能になります。

給紙方法

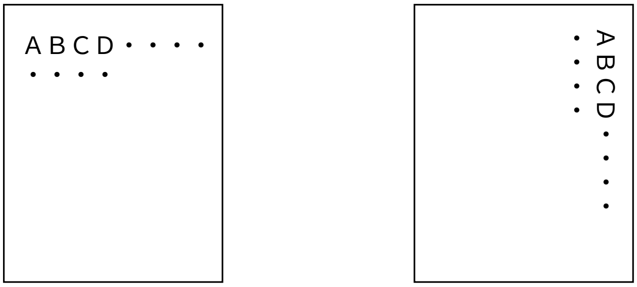
用紙を給紙する方法を指定します。

お願い

・はがきに印刷するときは、「手差し」を選択して、給紙トレイから給紙してください。
・不定形の用紙に印刷するときは、User Defined Size で用紙サイズを指定し、「手差し」を選択して、給紙トレイから給紙してください。

印刷の向き

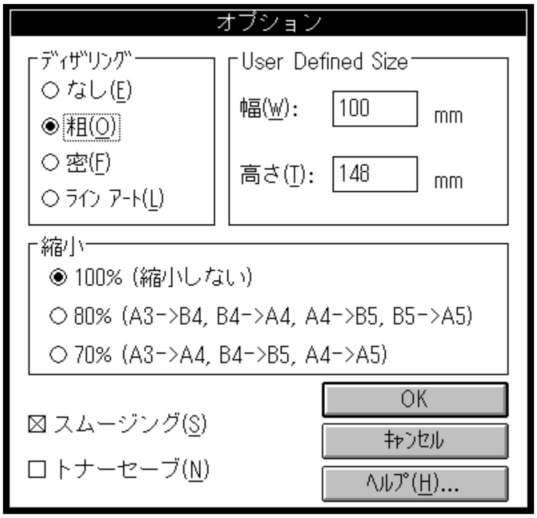
用紙の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。



用紙方向　縦
(ポートレイト)

用紙方向　横
(ランドスケープ)

〔オプション〕ダイアログボックス



ディザリング

グラフィックスを出力するときに、カラーの部分をモノクロのディザパターンに置き換えて階調を付けます。

User Defined Size

用紙サイズをUser Defined Size にしたときの用紙の大きさを指定します。

縮 小

縮小印刷について指定します。

ガイド

縮小印刷は、次の用紙サイズのときに行われます。

80%縮小...... A3，B4，A4 または B5 用紙

70%縮小...... A3，B4 または A4 用紙

上記以外の用紙（A5または手差しのはがきおよびユーザー定義サイズ用紙、70%縮小指定時の B5 用紙）を指定した場合は縮小印刷を行いません。用紙サイズを確認の上、印刷を行ってください。

スムージング

文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかに印刷するかどうかを設定します。

スムージングするときは、□をチェックします。

トナーセーブ

印刷時のトナー量を少なくし、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

トナーセーブするときは、□をチェックします。

第３章

Windows NT4.0/3.51 プリンタドライバの インストールと設定

この章では、Windows NT4.0 および Windows NT3.51が動作するパソコンに、プリンタドライバ(Printia XLドライバ)をインストールする方法と、設定方法について説明します。

Windows NT4.0 の場合 60

インストール 60

新しいドライバに置き換えるとき 64

プリンタドライバの設定 65

Windows NT3.51 の場合 70

インストール 70

プリンタドライバの設定 73

Windows NT4.0 の場合

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- **インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLDRV」フォルダにある「WINNT40.TXT」をお読みください。**
- **Windows NT3.51で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows NT4.0 にアップグレードしている場合は Windows NT4.0 の〔プリンタ〕フォルダからプリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。**

1　Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする

2　マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックする

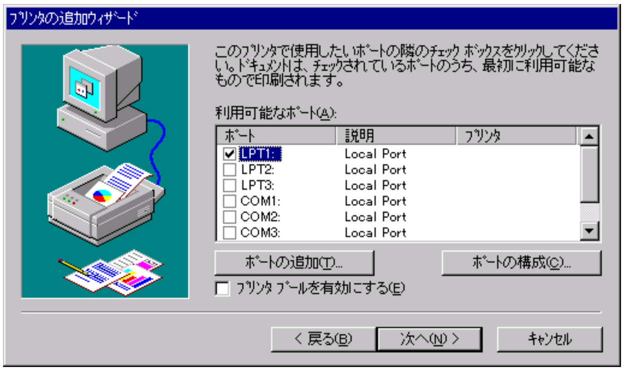
3　Windows の〔プリンタ〕フォルダの〈プリンタの追加〉をダブルクリックする

4　プリンタの管理のしかたを選択して〔次へ〕をクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択します。(以降の操作が簡単になります。)

ガイド　ネットワークプリントサーバーが Windows NT3.51 の場合は、〔このコンピュータ〕を選択してください。また、付録の「Printianavi トラブルシューティング」を参照してください。

〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、〔このコンピュータ〕を選択した場合の操作方法を示します。



5　プリンタを接続したポートを指定して〔次へ〕をクリックする

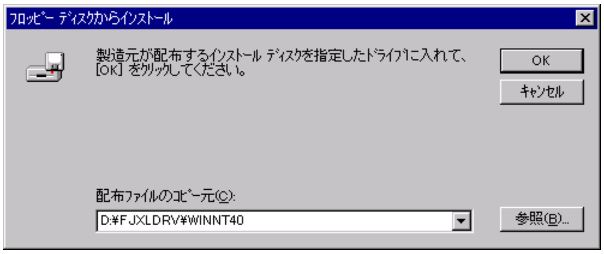
〔利用可能なポート〕から、プリンタを接続したポートを選択します。

6　〔ディスク使用〕をクリックする

7　添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピィディスクを使用する場合は、フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

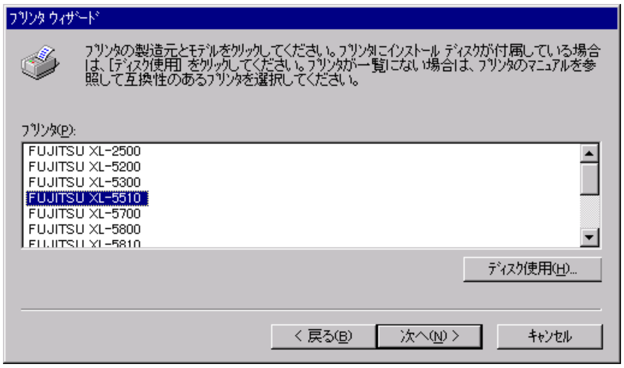
ガイド　CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



8　〈配布ファイルのコピー元:〉に「D:\FJXLDRV\WINNT40」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLDRV\WINNT40」を選択する（CD-ROM ドライブが D:のとき）

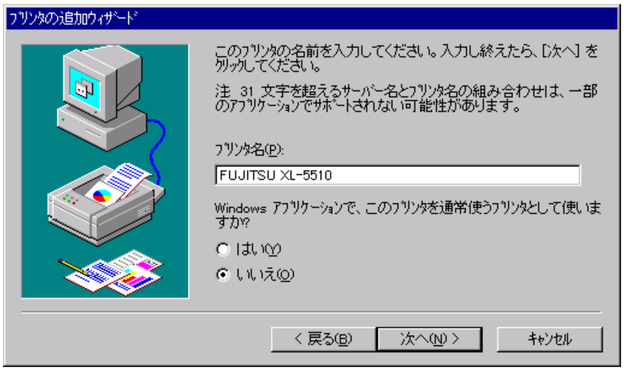
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド　フロッピィディスクを使用する場合は、〈配付ファイルのコピー元：〉に「A:\WINNT40」と指定します。(フロッピィディスクドライブが A:のとき)



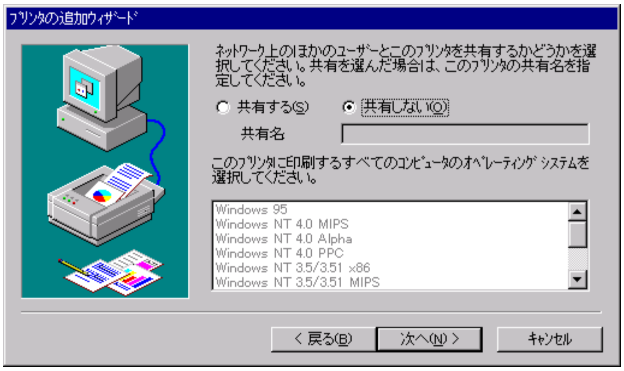
9　該当するプリンタをクリックして、〔次へ〕をクリックする

10 プリンタ名を入力して、〔次へ〕をクリックする



11 「共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、「共有しない」を選択します。

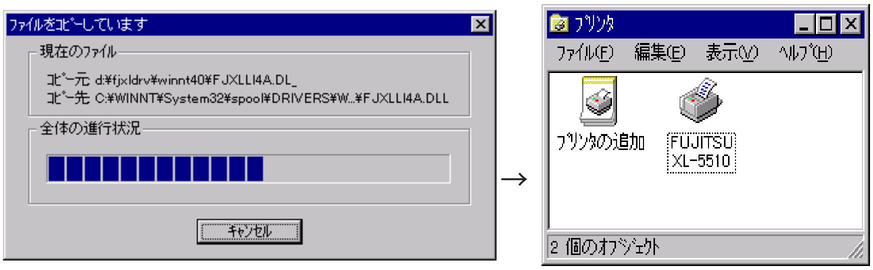


12 テストページを印刷するか、しないか選択して〔完了〕をクリックする

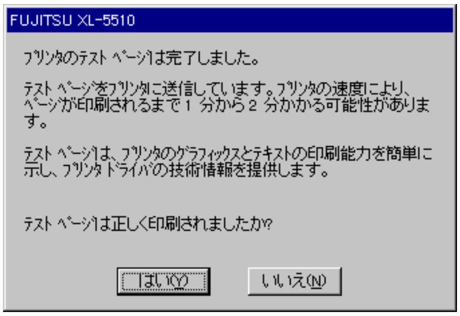
ガイド

LAN 接続機構を標準装備していないプリンタを、FMLBP-LN3 で接続している場合は、双方向通信ができません。このときは、〔いいえ〕を選択してください(テストページを印刷しない)。インストールが終了したら、〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックスの〔ポート〕で、〔双方向サポートを有効にする〕のチェックを外して使用してください。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



「テストページを印刷しますか？」で“はい（推奨）”を選択した場合には以下の操作を行います。



13　テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを終了する

新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

1　マイコンピュータの〔プリンタ〕をダブルクリックし、〔プリンタフォルダ〕を開く

2　該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する

3　〔はい〕をクリックする

4　Windows NT4.0を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。

5　新しいプリンタドライバを、「インストール」（60ページ）の手順でインストールする

6　新しいプリンタドライバをインストール後、Windows NT4.0を再起動する

プリンタドライバの設定

本プリンタドライバの設定は、次の４つのダイアログボックスで行います。

- 〔ドキュメントのプロパティ〕ダイアログボックス
- 〔FUJITSU XL-5xxxの既定のドキュメントのプロパティ〕ダイアログボックス(「XL-5xxx」はプリンタ名)
- 〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックス
- 〔プリントサーバーのプロパティ〕ダイアログボックス

一般ユーザーは、〔ドキュメントのプロパティ〕ダイアログボックス（アプリケーションソフトからのプリンタ設定項目）のみ変更できます。

〔FUJITSU XL-5xxx の既定のドキュメントのプロパティ〕ダイアログボックス

設定項目		設定内容	説　明
用紙	用紙サイズ	A3(297 × 420mm)	A3 サイズの用紙に印刷する
		A4(210 × 297mm)	A4 サイズの用紙に印刷する
		A5(148 × 210mm)	A5 サイズの用紙に印刷する
		B4(257 × 364mm)	B4 サイズの用紙に印刷する
		B5(182 × 257mm)	B5 サイズの用紙に印刷する
		Letter(8.5 × 11 インチ)	レターサイズの用紙に印刷する
		Legal(8.5 × 14 インチ)	リーガルサイズの用紙に印刷する
		はがき(100 × 148mm)	はがきに印刷する
		ユーザー定義サイズ	不定形の用紙に印刷する 幅：100 ～ 297mm 長さ：148 ～ 420mm
	出力用紙の選択(＊1)	自動 145% 拡大	145% 拡大して印刷する （A5 → A4、B5 → B4、A4 → A3）
		自動 125% 拡大	125% 拡大して印刷する （A5 → B5、B5 → A4、A4 → B4、B4 → A3）
		現在の用紙(100%)	拡大・縮小せず、用紙サイズで指定した用紙に印刷する
		自動 94% 縮小	94% 縮小して印刷する （Letter → A4、A4 → Letter）
		自動 80% 縮小	80% 縮小して印刷する （A3 → B4、B4 → A4、A4 → B5、B5 → A5）
		自動 70% 縮小	70% 縮小して印刷する （A3 → A4、B4 → B5、A4 → A5）
		A3 固定	用紙サイズの指定に関わらず A3 用紙に印刷する
		A4 固定	用紙サイズの指定に関わらず A4 用紙に印刷する
		A5 固定	用紙サイズの指定に関わらず A5 用紙に印刷する
		B4 固定	用紙サイズの指定に関わらず B4 用紙に印刷する
		B5 固定	用紙サイズの指定に関わらず B5 用紙に印刷する
		Letter 固定	用紙サイズの指定に関わらずレター用紙に印刷する
		Legal 固定	用紙サイズの指定に関わらずリーガル用紙に印刷する

＊1　用紙サイズがユーザー定義サイズのとき、本設定は無効です。

設定項目		設定内容	説　明
用紙	イメージサイズの調整	－50%～50%	イメージの拡大・縮小率を％で設定する
	用紙方向	縦	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する（ポートレイト）
		横	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する（ランドスケープ）
	給紙方法	自動用紙送り	指定の用紙サイズと一致した用紙が入っている給紙口を自動的に選択して印刷する
		手差し	給紙トレイから給紙する
		給紙カセット１	１段目の給紙カセットから給紙する
		給紙カセット２	２段目の給紙カセットから給紙する
	部数	１～999	印刷部数を指定する
	ステータス表示		双方向通信が可能なときに、プリンタの状態を表示する
	バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示
レイアウト	N-up印刷(＊1)	1up	通常の印刷を行う
		2up	１枚の用紙に２ページ分のデータを印刷する
		4up	１枚の用紙に４ページ分のデータを印刷する
		8up	１枚の用紙に８ページ分のデータを印刷する
		16up	１枚の用紙に16ページ分のデータを印刷する
	ページ配置	右下	用紙の左上から右→下にページを配置する
		左下	用紙の右上から左→下にページを配置する
		下右	用紙の左上から下→右にページを配置する
		下左	用紙の右上から下→左にページを配置する
	レイアウト枠を付ける		N-up印刷のときに、ページごとに枠を付ける
グラフィックス	解像度	300DPI	300dpiで印刷する
		600DPI	600dpiで印刷する
	ハーフトーンカラーの調整		ハーフトーンの階調を設定する
オプション	トナーセーブする		トナーの消費量を節約する
	スムージングする		文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかに印刷する
	フルページバンディングする		パソコン側でイメージデータを展開するメモリを確保して印刷する
	白紙ページの扱い	片面印刷時に白紙ページを印刷する	片面印刷のときに白紙のページを印刷する
		両面印刷時に白紙ページを印刷する	両面印刷のときに白紙ページを印刷する

＊1　用紙サイズがユーザー定義サイズのとき、本設定は無効です。

〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックス

設定項目		設定内容	説 明
全般	コメント		プリンタに関する情報を入力する
	場所		プリンタの設置場所を入力する
	ドライバ		使用しているプリンタドライバを表示する
	新しいドライバ		プリンタドライバを追加または更新する
	区切りページ		区切りページを指定する(＊1)
	プリントプロセッサ		プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する
	テストページの印刷		テストページを印刷する
ポート	印刷するポート		プリンタが接続されているポートを表示する
	ポートの追加		ポートを追加する
	ポートの削除		ポートを削除する
	ポートの構成		ポートの設定を変更する
	双方向サポートを有効にする		パソコンとプリンタの間で情報をやりとりできるようにする
	プリンタプールを有効にする		プリンタプールを利用できるようにする
スケジュール	利用可能時間	常に	プリンタを常に利用できるようにする
		開始 / 終了	プリンタを特定の時間だけ利用できるようにする
	優先順位	1～99	ドキュメントの規定の優先度を指定する
	プログラムの印刷処理を高速に行う	全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る	ドキュメントの最終ページがスプールされるまで待ってから印刷を開始する
		すぐに印刷データをプリンタに送る	ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
	プリンタに直接印刷データを送る		ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る
	一致しないドキュメントを保留する		設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する
	スプールされたドキュメントを最初に印刷する		スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する
	印刷後ドキュメントを残す		印刷が終了したあともスプールを削除しない
共有	共有しない		プリンタを共有しない
	共有する	共有名	プリンタを共有するときの名前を指定する
	代替ドライバ		異なるOSで使用するドライバをインストールする
セキュリティ	アクセス権		プリンタのアクセス権を設定する
	監査		プリンタの使用状況を監査する
	所有権		プリンタの所有権を表示または取得する

設定項目		設定内容	説明
デバイスオプション	ハーフトーンセットアップ		プリンタが使用する ハーフトーンを設定する
Printianavi	Printianavi を有効にする		Printianavi を有効にする
	印刷中のステータス表示		印刷中のステータスを表示する
	初期表示モード	ポップアップ	ウィンドウで表示する
		最小化	アイコンで表示する(タスクバーに登録)
	印刷終了のメッセージ通知		印刷終了のメッセージを通知する
	メッセージ通知先	このコンピュータ	現在設定を行っているパソコンに通知する
		ホスト名または IP アドレスを指定	特定のパソコンに通知する

＊１　Printianavi を使用するときは、区切りページを設定しないでください。

〔プリントサーバーのプロパティ〕ダイアログボックス

設定項目		設定内容	説明
用紙	用紙		サーバで使用可能な用紙の種類を表示する
	用紙の説明	新しい用紙を作成する	新しく用紙を作成する場合にチェックする
		寸法	用紙のサイズを指定する
ポート	このサーバー上のポート		このサーバ上にあるポートを表示する
	ポートの追加		ポートを追加する
	ポートの削除		ポートを削除する
	ポートの構成		ポートの設定を変更する
詳細設定	スプールフォルダ		スプールファイルを格納するフォルダを指定する
	スプーラのエラーイベントのログを収集する		印刷関連のエラーをシステムログに書き込む
	スプーラの警告イベントのログを収集する		印刷関連の警告をシステムログに書き込む
	スプーラの情報イベントのログを収集する		印刷関連の情報をシステムログに書き込む
	リモートドキュメントエラーが発生したら音を鳴らす		エラーが発生したときに警告音を鳴らす
	リモートドキュメントの印刷が終了したら通知する		印刷の完了をクライアントに通知する

Windows NT3.51の場合

ここでは、Windows NT3.51をご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法および印刷設定方法について説明します。

インストール

ガイド　ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT3.51のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い　**インストールの前に、メモ帳等によりCD-ROMのFJXLDRVフォルダにある\WINNT351.TXTをお読みください。**

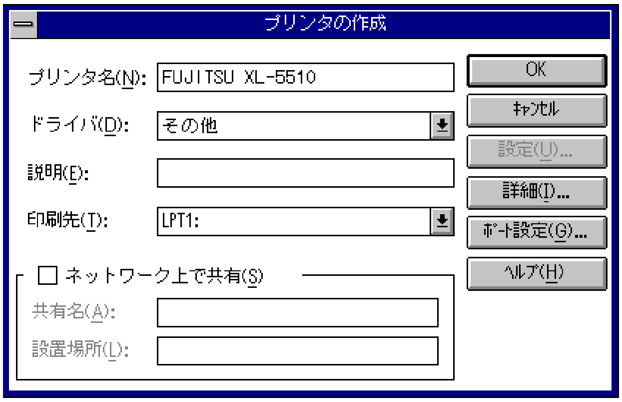
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

1　Windows NT3.51を起動し、管理者グループのメンバとしてログオンする

2　〔メイン〕グループ中の<プリントマネージャ>をダブルクリックする

3　〔プリンタ〕メニューから〔プリンタの作成〕を選ぶ

〔プリンタの作成〕ダイアログボックスが表示されます。

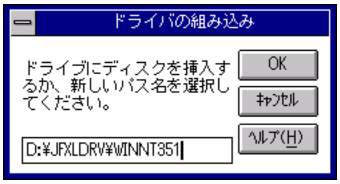


4　プリンタ名を入力し、「ドライバ」から〔その他〕を選択する

〔ドライバの組み込み〕ダイアログボックスが表示されます。

5　添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

CD-ROM から作成したフロッピィディスクを使用する場合は、フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。



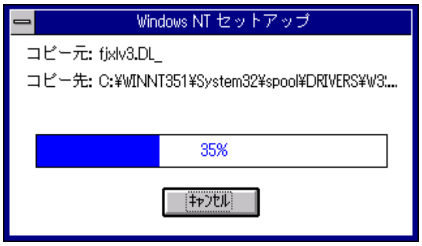
6　パス名「A:\」を「D:\FJXLDRV\WINNT351」と変更し（CD-ROMドライブがD:のとき）、〔OK〕をクリックする

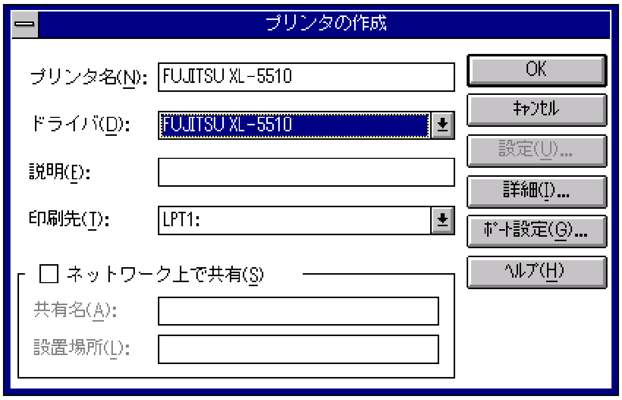
〔ドライバの選択〕ダイアログボックスが表示されます。

ガイド　フロッピィディスクを使用する場合は、〈配付ファイルのコピー元：〉に「A:\WINNT351」と指定します。(フロッピィディスクドライブが A:のとき)

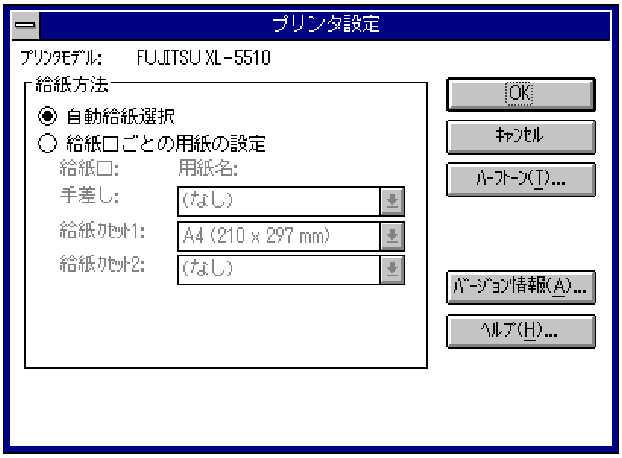
7　該当するプリンタをクリックし、〔OK〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。





8　**「印刷先」からプリンタが接続されているポートを選択し、〔ＯＫ〕をクリックする**



9　**プリンタの設定画面が表示されるので、〔OK〕をクリックする**

プリンタドライバの設定

本プリンタドライバは、以下の設定項目を用意しています。

設定項目		設定内容	説　明
プリンタ設定	給紙方法	自動給紙選択	用紙サイズと一致する給紙口を自動的に選択して印刷する
		給紙口ごとの用紙の設定	給紙口に実際にセットされている用紙サイズを指定する
	ハーフトーン		プリンタが使用するハーフトーンを設定する
	バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
プリンタ詳細	利用可能時間		プリンタを使用するときの開始時間を設定する
	終了時刻		プリンタを使用するときの終了時間を設定する
	セパレータファイル		区切りページを指定する
	追加ポートに印刷		プリンタプールを利用できるようにする
	優先順位		プリンタの優先順位を指定する
	プリントプロセッサ		使用するプリントプロセッサを指定する
	デフォルトデータタイプ		スプールデータの種類を指定する
	ポートの削除		ポートを削除する
	ポートへ直接印刷する		文書をスプールせずに直接プリンタへ送る
	ミスマッチなジョブを保留する		設定がプリンタと一致しない文書を保留する
	印刷後ジョブを削除する		印刷後に文書のスプールを削除する
	スプール中にジョブを印刷する		文書の先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
	スプールされたジョブを最初に印刷する		スプールが完了した文書から印刷を開始する
	標準設定		文書の標準設定を指定する
文書設定	用紙	A3(297 × 420mm)	A3 サイズの用紙に印刷する
		A4(210 × 297mm)	A4 サイズの用紙に印刷する
		A5(148 × 210mm)	A5 サイズの用紙に印刷する
		B4(257 × 364mm)	B4 サイズの用紙に印刷する
		B5(182 × 257mm)	B5 サイズの用紙に印刷する
		Letter(8.5 × 11 インチ)	レターサイズの用紙に印刷する
		Legal(8.5 × 14 インチ)	リーガルサイズの用紙に印刷する
		はがき(100 × 148mm)	はがきサイズの用紙に印刷する
		ユーザー定義サイズ	不定形の用紙に印刷する

設定項目		設定内容	説　明
文書設定	給紙方法	プリントマネージャの設定	「プリンタ設定」の「給紙方法」の設定を使用する
		自動給紙選択	給紙口を自動的に選択して印刷する
		手差し	手差しから印刷する
		給紙カセット１	給紙カセット１から印刷する
		給紙カセット２	給紙カセット２から印刷する
	印字方向	縦	用紙を縦長にして印刷する
		横	用紙を横長にして印刷する
	コピー部数		印刷部数を指定する
	オプション		文書設定の高度なオプションを指定する
	ハーフトーン		ハーフトーンカラーを設定する
	バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
高度なオプション	解像度	300dpi	300dpi で印刷する
		600dpi	600dpi で印刷する
	縮小印刷	100%	縮小せずに印刷する
		80%	80% に縮小して印刷する A3→B4、B4→A4、A4→B5、B5→A5
		70%	70% に縮小して印刷する A3→A4、B4→B5、A4→A5
	用紙オプション	幅	不定形用紙の幅を 0.1mm 単位で指定する(1000～2970)
		高さ	不定形用紙の幅を 0.1mm 単位で指定する(1480～4200)
	スムージング		文字や図形のギザギザ(ジャギー)をなめらかに印刷する
	トナーセーブ		トナーの消費量を節約する
	デフォルト		デフォルトの設定に戻す
ポート設定			ポートに関する設定を行う
フォーム	このコンピュータ上のフォーム		このコンピュータ上にあるフォームを表示する
	フォームの詳細	名前	フォームの名前を定義する
		用紙サイズ	フォームのサイズを設定する
		余白	フォームの余白を設定する
	追加		新しくフォームを追加する
	削除		フォームを削除する
	単位		サイズ指定の単位を設定する

付　録

Printianavi から通知されるエラーメッセージとステータスの一覧、および問題が発生した場合の対処方法(トラブルシューティング)について示します。

プリンタ接続形態別のインストール手順 76
セントロ接続（プリンタを共有しない形態）...... 76
LAN 接続（プリントサーバを設置しない運用形態）........ 78
Windows NT4.0 または Windows 95 環境での
プリンタ共有（Printianavi 印刷）..... 80
Windows NT3.51 環境でのプリンタ共有（LPR 印刷）.. 82
NetWare 環境でのプリンタ共有（NetWare 印刷）..... 83
ステータスウィンドウアイコン一覧 87
Printianavi エラーメッセージ一覧 88
Printianavi ステータス一覧 94
Printianavi トラブルシューティング 95

プリンタ接続形態別のインストール手順

プリンタの接続形態ごとに、Printia XLドライバのインストールの概要、留意事項を示します。

セントロ接続（プリンタを共有しない形態）

Printia XL ドライバのインストール

プリンタ添付の CD-ROM から Printia XL ドライバをインストールします。

ご使用の OS によって、インストール方法が異なります。該当ページをお読みください。

Windows 95 .... 第 2 章 Windows 95/3.1 プリンタドライバの
Windows 3.1　　　　　　インストールと設定(15 ページ)

Windows NT4.0 ...... 第 3 章 Windows NT4.0/3.51 プリンタドライ
Windows NT3.51　　　　バのインストールと設定(59 ページ)

CD-ROM ドライブがないとき

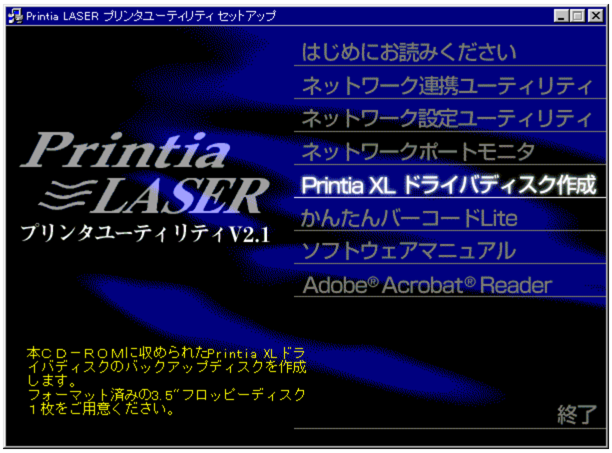
お使いのパソコンに CD-ROM ドライブがない場合には、CD-ROM ドライブのある別のパソコンを使ってドライバディスク（3.5 インチフロッピィディスク）を作成してください。

ドライバディスクを作成するときは、フォーマット済みの 3.5 インチフロッピィディスクを 1 枚用意し、次の手順で操作します。

1　CD-ROMをセットする

インストーラが自動的に起動します。

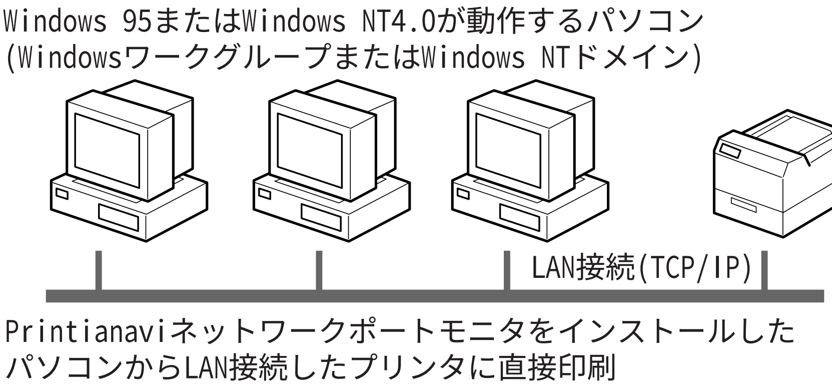
2　〔Printia XLドライバディスク作成〕をクリックする



Windows NTにインストールするとき

Windows NTが動作するパソコンにドライバをインストールするときは、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

LAN接続（プリントサーバを設置しない運用形態）



プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定（管理者のみ）

プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定は、次の 3 つの方法があります。

1. DHCP によるアドレス自動取得
2. プリンタのパネル操作によるアドレス設定(プリンタ編「第 7 章 設定値を変える」参照)
3. ネットワーク設定ユーティリティによるアドレス設定

・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティは、プリンタ添付の CD-ROM からインストールしてご使用ください。
・Printianavi ネットワーク設定ユーティリティを使用する場合、ネットワーク構成に IPX/SPX 互換プロトコル、NetWare クライアントサービスを組み込む必要があります。

TCP/IP プロトコルの設定項目（管理者のみ）

DHCP によるアドレス自動取得	ネットワーク内にDHCPサーバがあり、自動取得できる場合「する」を選択 それ以外の場合「しない」を選択
IP アドレス	DHCP によるアドレス自動取得を行う場合、プリンタへの設定は不要
サブネットマスク	DHCP によるアドレス自動取得を行う場合、プリンタへの設定は不要
ゲートウェイアドレス	DHCP によるアドレス自動取得を行う場合、プリンタへの設定は不要
ポート番号	通常は初期値「9313」を使用

インストール手順

動作条件

Windows 95 または Windows NT4.0 が動作するパソコン

Windows NT4.0 にインストールする場合、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

ネットワーク構成

TCP/IPプロトコル、Microsoftクライアントサービスを組み込む必要があります。

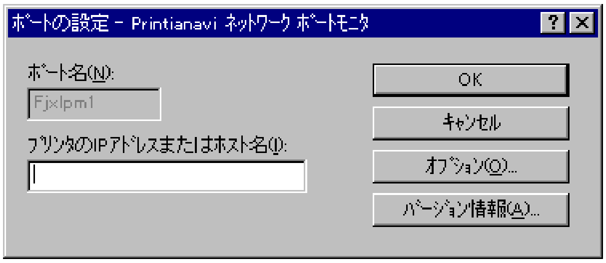
手　順

1 ***プリンタ添付の CD-ROM からネットワークポートモニタをインストールする***

ソフトウェアマニュアル「第 6 章 Printianavi ネットワークポートモニタ」(121 ページ)参照。

2 ***ポートに関する設定をする***

ポートの設定画面でポートの設定をします。



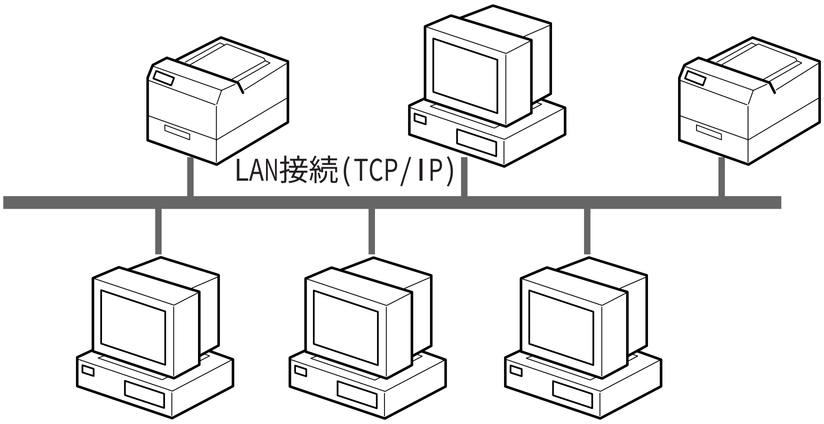
↓〔オプション〕をクリック

3 ***プリンタ添付の CD-ROM から Printia XL ドライバをインストールする***

Windows 95 .... 第 2 章 Windows 95/3.1 プリンタドライバのインストールと設定(15 ページ)

Windows NT4.0 ...... 第 3 章 Windows NT4.0/3.51 プリンタドライバのインストールと設定(59 ページ)

Windows NT4.0 または Windows 95 環境でのプリンタ共有（Printianavi 印刷）



Windows 95またはWindows NT4.0が動作するパソコン
(WindowsワークグループまたはWindows NTドメインでのプリンタ共有)

- ネットワーク連携ユーティリティを各パソコンにインストールして到着通知パネルを起動。
- Printianaviのメッセージ表示や制御を印刷依頼したクライアントで

プリントサーバとなるパソコンの設定

動作条件

Windows 95 または Windows NT4.0 が動作するパソコン（CD-ROM ドライブ必須）

Windows NT4.0 にインストールする場合、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

ネットワーク構成

TCP/IP プロトコル、Microsoft クライアントサービスおよび Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む必要があります。

プリンタの接続形態

セントロ接続または LAN 接続を選択できます。
セントロ接続のインストール手順は、「セントロ接続（プリンタを共有しない形態）」(76 ページ)を参照してください。
LAN 接続のインストール手順は、「LAN 接続（プリントサーバを設置しない運用形態）」(78 ページ)を参照してください。

手　順

1　プリンタのプロパティで共有プリンタに設定する

Windows NT4.0の場合、本設定でWindows 95クライアントが使用する代替ドライバをインストールできます。

2　プリンタ添付のCD-ROMから、Printianaviネットワーク連携ユーティリティをインストールする

ソフトウェアマニュアル「第4章 Printianaviネットワーク連携ユーティリティ」(75ページ)参照。

クライアントパソコンの設定

動作条件

Windows 95またはWindows NT4.0が動作するパソコン

CD-ROMドライブがないパソコンにインストールする場合、プリントサーバとなるパソコンのCD-ROMドライブを共有ドライブに割り当てて使用することができます。

Windows NT4.0にインストールする場合、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

ネットワーク構成

TCP/IPプロトコル、Microsoftクライアントサービスを組み込む必要があります。

手　順

1　〔プリンタの追加〕でネットワークプリンタとしてインストールする

2　添付のCD-ROMからネットワーク連携ユーティリティをインストールする

3　Printianaviネットワーク連携ユーティリティの環境設定を行う

メッセージ操作環境にプリントサーバのコンピュータ名を登録、到着通知パネル（ワイドまたはコンパクト）のプロパティで起動方法（最小化または通常の大きさ）を設定し、スタートアップに登録します。

Windows NT3.51 環境でのプリンタ共有（LPR 印刷）

プリントサーバとなるパソコンの動作条件

Windows NT3.51 が動作するパソコン

管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。

ネットワーク構成

TCP/IP プロトコル、Microsoft TCP/IP 印刷サービス、簡易 TCP/IP サービスを組み込む必要があります。

手　順

1 *プリンタ LAN ポートの TCP/IP 環境設定を行う*

「LAN 接続（プリントサーバを設置しない運用形態）」の「プリンタ LAN ポートの TCP/IP 動作環境設定（管理者）」を参照してください。

2 *Windows NT3.51 用の Printia XL ドライバをインストールする*

接続先として「LPR Port」を選択します。

3 *LPR Port の環境設定を行う*

プリンタ LAN ポートに設定した IP アドレスとプリンタ名として lp を設定します。

4 *共有プリンタに設定する*

ガイド LPR 印刷や NetWare 印刷との組み合わせでは、Windows 95 または Windows NT4.0 が動作するクライアントでも、双方向プリンティングシステム「Printianavi」は機能しません。

NetWare 環境でのプリンタ共有（NetWare 印刷）

NetWare 印刷の設定についての詳しい説明は、プリンタ添付の CD-ROM に収められたソフトウェアマニュアルをお読みください。

プリンタ LAN ポートの NetWare 動作環境設定（管理者のみ）

動作条件

Windows 95 または Windows NT4.0 が動作するパソコン

ネットワーク構成

IPX/SPX 互換プロトコル、NetWare クライアントサービスを組み込む必要があります。

手　順

1. ***プリンタ添付の CD-ROM から、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティをインストールする***
2. ***NetWare サーバにスーパバイザでログインする***
3. ***ネットワーク設定ユーティリティを起動する***
4. ***プリンタの一覧から環境設定を行うプリンタを選択する***
5. ***NetWare プロトコルの設定を選択する***
6. ***設定を行う***

画面に従って、マシン名、パケット形式、動作モード、動作モード別の詳細設定、NetWareポート名を設定し、設定内容をプリンタに反映して終了します。

ガイド 手順 4 でプリンタの一覧に該当するプリンタが表示されない場合は、プリンタのオペレータパネルで NetWare プロトコルが有効に設定されているか確認してください。NetWare プロトコルが無効となっている場合には、有効に変更します。

NetWare プロトコルの設定項目(管理者のみ)

マシン名 .... プリントサーバモード時のプリントサーバ名として使用します。

パケット形式 .... 802.2が初期値です。NetWareサーバが認識できるパケット形式を選択します。

動作モード .... リモートプリンタモードとプリントサーバモードを選択します。
リモートプリンタモードでは、ネットワーク内に対応するNetWareのプリントサーバが起動している必要があります。
プリントサーバモードでは、プリンタ自身がNetWareのプリントサーバとして動作するため、専用のプリントサーバを起動する必要はありません。ただし、NetWareファールサーバに１ユーザとしてログインします。
リモートプリンタモードでは最大8台のプリントサーバに接続して、最大8個のプリントキューを処理することができます。プリントサーバモードでは最大8台のファイルサーバに接続して、最大32個のプリントキューを処理することができます。

リモートプリンタ詳細...... 最大8台までのプリントサーバ名の登録とジョブタイムアウト時間を設定します。

プリントサーバ詳細...... 最大8台までのファイルサーバ名の登録と、ファイルサーバにログインする際に必要となるパスワードの設定、およびジョブポーリング間隔を指定します。

NetWareポート名......... PCONSOLEの「プリントサーバ情報」の「プリンタの構成」に使用する名前です。

ガイド マシン名、プリントサーバ名、ファイルサーバ名、パスワード、NetWareポート名に使用できる文字は31文字以内の英数字（半角文字）です。

NetWare サーバ側の設定(管理者のみ)

お願い

NetWare4.1J（IntranetWare）上で使用する場合、次の点に注意して設定を行ってください。
- プリントサーバモードで使用するとき
  サーバにバインダリモードでログインして設定します。また、NetWare4.1Jのユーザに対してキューを公開する場合は、サーバにNDSモードでログイン後、キューユーザを追加してください。
- リモートプリンタモードで使用するとき
  サーバにNDSモードでログインして設定してください。

設定の手順

1 ***NetWare サーバにスーパーバイザでログインし、PCONSOLE コマンドを実行する***

2 ***「利用可能な項目」から「プリントキュー情報」を選択する***

3 ***「プリントキュー情報」で〔Insert〕キーを押し、任意のプリントキュー名を追加する***

4 ***〔Esc〕キーを押して「利用可能な項目」に戻り、「プリントサーバ情報」を選択する***

5 ***「プリントサーバ」で〔Insert〕キーを押して新プリントサーバ名を入力する***

リモートプリンタモードの場合は、任意のプリントサーバ名を、プリントサーバモードの場合はプリンタ LAN ポートに設定したマシン名を入力します。

6 ***手順 6 で作成したプリントサーバを選択し、「プリントサーバ情報」の「プリントサーバ構成」を選択する***

7 ***「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタの構成」を選択すると表示される「構成完了プリンタ」から「インストールされていません 0」を選択する***

「プリンタ 0 の構成」へ移行します。

8 **「プリンタ0の構成」画面の「名前：」に、プリンタLANポートに設定したNetWareポート名を入力する**

9 **「タイプ：」を選択し、「プリンタタイプ」に移行し、プリンタタイプで「リモートプリンタ、LPT1」を選択する**

10 **〔Esc〕キーを押して、設定を保存する**

11 **「プリントサーバ情報」に戻り、「プリントサーバ構成」、「プリンタでサービスされているキュー」を順に選択して「定義済みのプリンタ」へ移行し、「プリンタ0の構成」で設定したプリンタポート名を選択する**

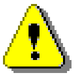
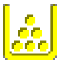
12 **サービスキューリストで〔Insert〕キーを押して、「使用可能キュー」の中から「プリントキュー情報」で設定したキュー名を選択する**

13 **PCONSOLEを終了する**

14 **リモートプリンタモードのときは、PCONSOLEの設定を有効にするため、NetWareのプリントサーバを再起動する**

15 **すべての設定作業が終わったら、プリンタ本体の電源を再投入する**

ステータスウィンドウアイコン一覧

アイコン	説 明
	プリンタは正常に動作しています。
	プリンタにエラーが発生しています。
	プロセスカートリッジがセットされていません。(暗い赤色)
	トナーの残り状態が少なくなっています。
	紙詰まりが発生しています。(暗い赤色)
	プリンタハードで問題が発生しています。(暗い赤色)
	用紙が入っています。(黒色)
	給紙カセットが正しくセットされていません。または、用紙サイズがちがいます。(暗い赤色)
	用紙が残り少なくなっています。
	用紙がありません。(暗い赤色)

Printianavi エラーメッセージ一覧

Printianaviにより、プリンタから通知されるエラーメッセージの一覧を示します。

なお、「自動再開」欄の記号は、次の意味を示します。
○..... プリンタの操作でエラーが解除されると、印刷を自動的に再開します。
□..... 印刷開始前にエラーを検出した場合は、印刷を自動的に再開します。印刷中にエラーを検出した場合は、印刷を打ち切ります。
×..... 印刷を再開しません。(印刷打ち切り)

ストップ状態

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
オフライン	0300	[オフライン] プリンタがオフラインとなっています。	プリンタをオンラインにしてください。	○
用紙なし (自動用紙送り)	0301	[用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ表示)	給紙カセット、または給紙トレイに用紙を補給し、オンラインにしてください。	○
用紙なし (給紙カセット)	0302	[用紙なし] 給紙カセット×に用紙がありません。(用紙サイズ表示)	給紙カセット×に用紙を補給し、オンラインにしてください。	○
用紙なし (給紙トレイ)	0303	[用紙なし] 給紙トレイに用紙がありません。(用紙サイズ表示)	給紙トレイに用紙を補給してください。	○
カセットなし	0304	[カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。	給紙カセットをセットしてください。	○
カバーオープン (XL-5300/5510)	0305	[カバーオープン] 上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じて、オンラインにしてください。	○
カバーオープン (XL-5800/5810)	0306	[カバーオープン] フロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じて、オンラインにしてください。	○

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
カバーオープン (XL-5800/5810)	0307	[カバーオープン] 定着器カバーが開いています。	定着器カバーを閉じて、オンラインにしてください。	○
用紙サイズ不一致 (自動用紙送り)	0309	[用紙交換] 用紙サイズが違います。(用紙サイズ表示)	給紙カセット、または給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	○
用紙サイズ不一致 (給紙カセット)	0310	[用紙交換] 給紙カセット×の用紙サイズが違います。(用紙サイズ表示)	給紙カセット×の用紙を交換し、オンラインにしてください。	○
用紙サイズ不一致 (給紙トレイ)	0311	[用紙交換] 給紙トレイの用紙サイズが違います。(用紙サイズ表示)	給紙トレイの用紙を交換し、オンラインにしてください。	○
用紙サイズエラー (XL-5800/5810)	0312	[用紙サイズエラー] 給紙カセット×が正しくセットされていません。	給紙カセット×をセットし直してください。	○
紙詰まり (排紙部)	0314	[紙詰まり] 排紙部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください。	○ (注 1)
紙詰まり (給紙カセット)	0315	[紙詰まり] 給紙カセット×で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください	○ (注 1)
紙詰まり (給紙トレイ)	0316	[紙詰まり] 給紙トレイで紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください	○ (注 1)
紙詰まり (内部)	0317	[紙詰まり] プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。	各カバー、給紙カセット内を確認し、詰まった紙を取り除いてください	○ (注 1)

注 1：プリンタが XL-5810/5510 でプリントサーバが WindowsNT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
EP カートリッジなし	0319	[カートリッジなし] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。	プロセスカートリッジをセットし直してください。	○
XL:RAM 不足	0353	[RAM 不足] プリンタ RAM モジュール(オプション)が取り付けられていないため、指定した印刷が行えません。	プリンタドライバの解像度を 300dpi に設定し直すか、A3、B4 用紙の場合は A4 縮小設定にして再度印刷してください。	×
パネルリセット(注 2)	0371	[プリンタリセット] プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	□
ソフトウェアリセット	0373	[プリンタリセット] プリンタが初期化中です。	プリンタの初期化終了後、印刷が開始されます。	○

通信エラー

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
通信タイムアウト	0500	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
パラメータ長エラー(最大プロトコル長超え)	0520	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
パラメータ長エラー(プロトコル長とデータ長不一致)	0522	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
パラメータ長エラー(プロトコル長が 8 未満)	0523	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
パラメータ長エラー(指定プロトコル長分データなし)	0524	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
パラメータ長エラー(指定プロトコル長以上あり)	0525	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×

注 2：パネルリセットのタイミングによっては、通信エラーとなることがあります。印刷を中止したいときは、プリンタをオフラインにしてから、Printianavi のエラーメッセージ画面で「印刷打ち切り」を実行することをお勧めします。

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
パラメータ長エラー (Write 以外で Reply なし)	0526	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
未定義コマンド	0540	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (Open/Close 外で無効コマンド受信)	0560	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (OpenBusy で Open 受信)	0561	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (Open/Close 外で RAW 受信)	0562	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (Release 待ちで異常プロトコル受信)	0563	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (Open/Close 間で無効コマンド受信)	0564	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (Write シーケンス番号エラー)	0566	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
コマンドシーケンスエラー (Open/Close 間で RAW 受信)	0567	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
本体検出通信タイムアウト (電源断)	1500	[応答なし] プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。	□ (注 1)
本体検出プロトコル異常	1520	[通信エラー] プリンタとの通信が異常となりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
ポートモニタエラー (バージョンレベル不一致)	5500	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×

注 1：プリンタが XL-5810/5510 でプリントサーバが WindowsNT4.0 の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
ポートモニタエラー(論理プリンタ異常)	5501	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
ポートモニタエラー(ホスト名未定義)	5502	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
ポートモニタエラー(パラメータ長エラー)	5503	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
ポートモニタエラー(未定義コマンド)	5504	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×
ポートモニタエラー(コマンドシーケンスエラー)	5505	[通信エラー] プリンタとの通信が異常になりました。	プリンタの電源を投入し直してください。	×

ハードエラー

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
エンジン異常(FUSER)	0700	[ハードエラー](注3) ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□ (注1)
エンジン異常(ROS モータ)	0701	[ハードエラー](注3) ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□ (注1)
エンジン異常(メインモータ)	0702	[ハードエラー](注3) ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□ (注1)
エンジン異常(ファンアラーム)	0703	[ハードエラー](注3) ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□ (注1)
エンジン異常(メモリ)	0704	[ハードエラー](注3) ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□ (注1)
エンジン異常(パリティエラー)	0705	[ハードエラー](注3) ハードエラーが発生しました。	プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	□ (注1)

注1：プリンタがXL-5810/5510でプリントサーバがWindowsNT4.0の場合、エラーメッセージウィンドウから印刷を再開するページを指定することができます。(印刷ドキュメントをスプールしているときのみ)

注3：電源投入時に発生したエンジン異常は、[応答なし]のエラーメッセージが表示されます。

システムエラー

エラー内容	番号	エラーメッセージ	処 置	自動再開
メモリ不足	1900	[メモリ不足] メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているパソコン上の不要なアプリケーションを終了してください。	×
その他のシステムエラー、内部矛盾	1902	[システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×
ポートモニタ内システムエラー	5900	[システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×
ポートモニタ内部矛盾エラー	5901	[システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷を行ってください。	×

Printianavi ステータス一覧

Printianaviにより、プリンタから通知されるステータスの一覧を示します。

ステータス表示	状　態
印刷中 ...	印刷しています。
プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。	他のポートからプリンタを使用中です。
ウォームアップ中 ...	プリンタがパワーセーブ状態のときに印刷を行いました。この表示は印刷を開始するまで表示されます。
プリンタが印刷設定中	印刷開始時に、プリンタの操作パネルからです。印刷設定を行っていると表示されます。
トナーが残り少なくなりました。	印刷中、またはウォームアップ中にトナーが残り少なくなると表示されます。
印刷の再開準備中 ...	エラーの発生時に印刷再開ページを指定した場合、印刷の再開動作中に表示されます。
プリンタでエラーが発生しました。	プリンタでエラーが発生したときは、エラー番号が同時に表示されます。エラー番号は、「エラーメッセージ一覧」を参照してください。

Printianavi トラブルシューティング

双方向プリンティングシステム「Printianavi」、および Printia XL ドライバを使用中に発生する問題の対処方法を示します。なお、以下の内容とともに、「Printia LASER プリンタユーティリティ V2.1」CD-ROM内の README.TXT もお読みください。

Windows 95 のプリンタポートから印刷できない

・プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。プリンタ切り替え器やプリンタ増設カードをご利用の場合、プリンタとの双方向通信ができずに通信エラーが発生する場合があります。
・プリンタの電源を再投入してください。プリンタとの双方向通信が復旧することがあります。
・双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJ シリーズなど）をインストールしている場合は、他のプリンタの「印刷先のポート」を「FILE:」に変更してください。
・〔スプールの設定〕ダイアログボックスで「このプリンタで双方向通信機能をサポートしない」設定にし、印刷してください。
〔スプールの設定〕ダイアログボックスは、次の手順で開きます。

1 ***〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをダブルクリックします。***

2 ***〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択し、〔詳細〕〔スプールの設定〕を順にクリックします。***

・「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」に設定したときは印刷でき、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定したときは印刷できないときは、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていない、あるいはポートドライバに不具合があると考えられます。
ECPプリンタポートが設定されている場合には、プリンタポートに変更します。
プリンタポートの変更は、次の手順で行います。

1 **〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔コントロールパネル〕の順で選択します。**

2 **〔システム〕をダブルクリックし、〔システムのプロパティ〕ダイアログボックスを開きます。**

3 **〔デバイスマネージャ〕をクリックし、〔ポート(COM/LPT)〕の〔プリンタポート(LPT1)〕をダブルクリックして〔プリンタポートのプロパティ〕ダイアログボックスを開きます。**

4 **〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択します。**

5 **〔プリンタポート〕をダブルクリックし、プリンタポートを変更します。**

※ プリンタポートを変更しても状態が改善されないときは、モジュール「LPT.VXD」を別のバージョンのモジュールに変更する必要があります。

プリントサーバが Windows NT3.51、クライアントが Windows NT4.0 のときに、ネットワークインストールしたプリンタドライバで印刷できない

・プリントサーバとクライアントの Windows NT のバージョンが異なることが原因と考えられます。この環境で、〔ネットワークプリントサーバー〕を選択してインストールを行うと(61 ページ参照)、異なるバージョン用に作成されたドライバがコピーされてしまうことがあります。この場合は、インストールしたドライバを削除し、〔このコンピュータ〕を選択してプリンタドライバをインストールし直します。次に、〔ポートの追加〕で印刷先のポート名に<共有プリンタ名>を割り当てます。
具体的な操作は、次のとおりです。

1 **〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。**

2 **〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕〔ポートの追加〕を順にクリックします。**

3 **利用可能なプリンタポートから〔Local Port〕〔新しいポート〕の順にクリックします。**

4 **ポート名に共有プリンタ名(\\プリントサーバ名\共有プリンタ名)を入力して〔OK〕をクリックします。**

Windows NT4.0でTCP/IP印刷サービスを組み込んでプリンタ LAN カード経由の印刷を行うと、「通信エラー」や「プリンタポートの書き込みエラー」が発生する

TCP/IP 印刷サービス(LPR ポート)は、プリンタとの双方向通信に対応していないため、エラーが発生します。
このエラーを回避するには、〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックスの〔ポートの設定〕で、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。
〔ポートの設定〕は、次の操作で表示します。

1 **〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。**

2 **〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕をクリックします。**

Windows 95 で印刷できるが、Printianavi のメッセージが表示されない

・Printia　XL ドライバが正しく選択されているか確認してください。プリンタを「通常使うプリンタに設定」することをお勧めします。なお、アプリケーションによっては、以前使用したプリンタを記憶している場合がありますので、どのプリンタを選択しているか確認してください。
・〔スプールの設定〕で、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認してください。(「Windows 95のプリンタポートから印刷できない」を参照)
・プリンタのプロパティで「Printianavi を有効にする」が設定されていない場合、Printianavi のメッセージは表示しません。
次の操作で「Printianavi を有効にする」を設定してください。

1 ***〔スタート〕ボタンから、〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、お使いのプリンタをクリックします。***

2 ***〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択し、〔Printianavi〕をクリックします。***

・ネットワーク環境で Printianavi をお使いになる場合は、Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを使用するすべてのパソコン(プリントサーバを含む)にインストールし、動作環境、および到着通知パネルの起動(クライアント)を設定する必要があります。詳しくは、ソフトウェア編「第４章　Printianavi ネットワーク連携ユーティリティ」(75ページ)を参照してください。
・プリントサーバに Printianavi のメッセージが表示される場合は、クライアントの到着通知パネルをいったん終了し、再起動してください。クライアントの到着通知パネルを起動するときにプリントサーバが起動していなかったり、到着通知パネルを起動した後にプリントサーバを再起動したときにこのような現象が発生します。
到着通知パネルを終了するときは、到着通知パネルを右クリックし、「到着通知パネルの終了」または「閉じる」を選択します。

Windows NT4.0 や Windows 95 以外の共有プリンタでPrintianavi 機能を使いたい

Printianaviは、Windows NT4.0およびWindows 95に対応しています。Windows NT4.0 より前のバージョン(3.51 など)や、IntranetWare、NetWare 4.1J ／ NetWare 3.12J では、Printianavi を使用することはできません。（共有プリンタとして利用することはできます。）

Windows NT4.0 で TCP/IP 印刷サービス(LPR ポート)を使用したいがどうすればよいか

・ソフトウェアマニュアル「第７章 Windows NT3.51からのLPR印刷」と同様の設定を行うことにより、LPR 印刷が可能になります。
ただし、その場合には Printianavi の機能は使用できなくなりますので、本プリンタ添付の「Printianavi ネットワークポートモニタ」を使用することをお勧めします。
・〔LPR Port〕を追加するときは、〔サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名〕として、必ず「LP」を指定してください。
・LPR印刷の場合、印刷データのスプール方法は、「全ページ分をスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択してください。
スプール方法の選択は、プリンタのプロパティの「スケジュール」ダイアログで行います。

Windows NT4.0 で区切りページを指定すると、Printianavi のメッセージが表示されない

本プリンタは、Windows NT4.0 の区切りページファイル(*.sep)の印刷をサポートしていません。
また、Printianavi の機能が正常に動作しなくなるため、区切りページは使用しないでください。

「XL ドライバディスク作成」を実行すると、「環境変数のための領域が足りません」と表示される

このメッセージが表示されるときは、次の手順にしたがい、必要なファイルを CD-ROM からフロッピィディスクにコピーしてください。

1. **〔スタート〕ボタンから、〔プログラム〕〔エクスプローラ〕の順で選択し、エクスプローラを起動します。**
2. **CD-ROM ドライブにある「Fjxldrv」フォルダを開きます。**
3. **〔編集〕メニューから〔すべて選択〕を選び、「Fjxldrv」フォルダの中のすべてのファイルを選択します。**
4. **〔ファイル〕メニューから〔送る〕〔3.5インチ FD〕の順に選択します。**

索 引～プリンタ編～

記号

136/LM 設定 93
1 バイト系ゼロ 92
2 バイト系ゼロ 92

A

A3 ユニバーサル 4, 6
ACK タイミング 99
ANK 文字 89, 92

C

CD-ROM 4
CR コード 89, 91, 94

E

EG モード設定 91
EP モード設定 89
ESC/Page モード 9, 87, 91
　—キャラクタコード一覧表 154
　—コマンド一覧表 148
　印刷可能領域 145
ESC/P モード 9, 87, 89
　—キャラクタコード一覧表 153
　—コマンド一覧表 146
　印刷可能領域 145
Ethernet タイプ 100

F

FF コード 91

H

HEX ダンプ印刷 98
　—を行う操作 106

I

INIT 受信 100

J

JIS-90 第一水準漢字一覧表 161
JIS-90 第二水準漢字一覧表 164
JIS C6234-1983 の字体との違い ... 171

L

LAN
　—ケーブルコネクタ 6
　—経由の接続 32
　—初期化 101
　—設定 100
　—に接続するときの注意事項 33
　パソコンと LAN の両方に
　　接続したときの留意事項 35
LF コード 91
LM 位置設定 93

O

OHP フィルム 19

P

PC-PR201 系プリンタとの違い 12
PC-PR201 モード 9, 87
　—キャラクタコード一覧表 158
　—コマンド一覧表 151
　JIS 漢字コードについてのご注意 167
　印刷可能領域 145
PC モード設定 92
Printia XL ドライバ
　—で印刷する 9
　印刷可能領域 145
Printianavi
　使用時のネットワーク接続形態 34
　使用時の留意事項 34

Printia XL ドライバ
—印刷時の表示内容 73

T

TCP/IP 設定 100

ア

アフターサービス 172

イ

移動
近くに移動する 65
イメージパターン 91
印刷
—可能領域 145
—指令 94
—設定 87
—品質が低下したとき 124
—部数を一時的に切り替える 77
Printia XL ドライバで印刷する 9
いろいろな印刷のしかた 9
エミュレーションモードで印刷する 9
印刷濃度
—調整ダイヤル 7
—を調整する 60
印刷方向 72, 73, 87, 144
—スイッチ 8
—を一時的に切り替える 75
インタフェース仕様 143

ウ

運搬
梱包して運搬する 69

エ

液晶ディスプレイ 8
Printia XL ドライバ印刷時の表示内容..... 73
通常時の表示内容 72
エミュレーション設定 87
エミュレーションモード
—で印刷する 9
—を切り替える 10
—を使う上での留意事項 11
エラー
—コード 91
—メッセージが表示されたとき 128

オ

オプション
—カバー 6
—取り付け上のご注意 132
—の取り付け 131
—品 13
オフライン状態 74
オンライン状態とオフライン状態を切り替える ... 74
オペレータパネル 6, 8
—を操作する 74
オンライン
—状態 74
—状態とオフライン状態を切り替える 74
—スイッチ 8
—ランプ 8

カ

改行コード 91
改ページ
—コード 91
書出し桁位置設定 93
拡張給紙ユニット 13
—を取り付ける 137
—を取り外す 139
各国文字 93
紙づまり
—になったとき 118
—の主な原因 119
—の取り除きかた 119
環境設定 95

漢字書体 89, 93
漢字文字サイズ 93
官製はがき 19

キ

キャラクタコード一覧 153
給紙
　—位置 89
　—方法 18
給紙カセット
　—(500 枚) 15
　—(A3 ユニバーサル) 4, 6, 15
　—(A3 ユニバーサル)に用紙をセットする 44
　—(A4・500 枚)に用紙をセットする 49
給紙口 72, 73, 88
　—スイッチ 8
　—を一時的に切り替える 76
給紙トレイ 6
　—印刷 97
　—サイズ 77, 79, 88
　—に用紙をセットする 42
　—番号 92
強制印刷
　—をする 82
　—を中断する 82
　—を取り消す 83
切り替えコマンドの使い方 11

ク

グラフィックモード 94

コ

交換
　プロセスカートリッジの交換 52
項目一覧
　セットアップ項目一覧 107
コネクタピン配列 143
コピー枚数 79, 89
コマンド
　—でエミュレーションモードを切り替える 10
　切り替えコマンドの使い方 11

サ

サイズ
　用紙のサイズ 18
サプライ用品 15

シ

自動 CR & LF 94
自動給紙 96
修理・サービス網一覧表 4
縮小印刷 72, 73, 79, 88
　—を一時的に切り替える 77
仕様 142
　基本仕様 142
状態表示 72, 73
上部カバー 7
消耗品 72, 73

ス

スムージング 95
寸法
　プリンタの寸法 25

セ

セイコーエプソン
　—LP-8000S との違い 12
　—VP-1000 との違い 11
清掃
　プリンタ内部の清掃 63
　プリンタ外部の清掃 62
設置
　—上のお願い 24
　—手順 26

設定
　—の変更手順 103
　選んだ項目に設定する操作 103
　数値を設定する操作 105
セットアップ
　—項目 86
　—項目一覧 107
　—の操作方法 103
接続
　外部との接続 29
　電源コードの接続 36
　パソコンと接続するときの留意事項 ... 34
　パソコンとの接続 30

ソ

操作
　HEX ダンプ印刷を行う操作 106
　選んだ項目に設定する操作 103
　基本的な操作 103
　数値を設定する操作 105
　メニュー印刷やテスト印刷を行う操作...... 105
双方向プリンティングシステム
　使用時のネットワーク接続形態 34
　留意事項 34

タ

第一水準漢字一覧表 161
第二水準漢字一覧表 164
タイマー監視 97
タッチ音 96
縦余白設定 .... 90，94

チ

中止
　印刷を中止する 81

ツ

通風口 6

テ

データ
　—なし印刷 96
　—保証 96
　—ランプ 8
テスト印刷 86
　メニュー印刷やテスト印刷を行う操作...... 105
電源
　—スイッチ 6
　—ランプ 8
　—を入れる 40
　—を切る 41
電源コード 4
　—コネクタ 6
　—の接続 36

ト

動作モード 72
　—を切り替える 87
登録 102
特長
　プリンタの特長 5
トナーセーブ 95
　—補正 98
取扱説明書 4

ハ

排紙
　—トレイ 6
　—部 6
排出スイッチ 8
バイセントロモード .... 99，100
はがき
　官製はがき 19
パソコン
　—インタフェース .... 72，73
　—と LAN の両方に接続したときの留意事項 ... 35
　—と接続するときの留意事項 34
　—との接続 30

パワーセーブ時間 97

ヒ

ビジーディレイ 99
描画位置 73

フ

ブザー 96
復帰改行 91
復帰コード 89, 91, 94
普通紙推奨用紙 15
不定形サイズ 77, 79, 88
プリンタ
　—の寸法 25
　—の特長 5
　—本体 4
プリンタ RAM モジュール 13
　—を取り付ける 133
　—を取り外す 135
プリンタケーブル 14
　—コネクタ 6
プロセスカートリッジ 4, 7, 15
　—の交換 52
　—の取り扱いと保管 59
　—を取り付ける 56
　—を取り外す 55
プロトコル 100

ホ

ポート１設定 99
ポート切替時間 98
保守モード 102
保証書 4
補助機能設定 97

ミ

未印刷データ
　—を強制的に印刷する 82

右マージン位置 89

メ

メッセージランプ 8
メニュー印刷 86
　—設定モード 77
　—設定モードの操作方法 78
　—やテスト印刷を行う操作 105
メニュースイッチ 8
メモリオーバー解除 92

モ

文字コード 89

ユ

ユーザ登録カード 4

ヨ

用紙
　—位置設定 93
　—関係 144
　—について 4
　—のサイズ 18
　—の保管上のご注意 21
　給紙カセット(A3 ユニバーサル)に
　　用紙をセットする 44
　給紙カセット(A4・500 枚)に
　　用紙をセットする 49
　給紙トレイに用紙をセットする 42
　使用できない用紙 20
　使用できる用紙 18
用紙サイズ 72, 73
　—ラベル 4
　—を一時的に切り替える 77
横余白設定 90, 95

ラ

ラベル紙 19

リ

リセット
　—スイッチ 8
　プリンタをリセットする 81
リリースボタン 6

レ

レーザプリンタ置台 15

索 引～ソフトウェア編～

A
Acrobat Reader 3.0J 11

C
CD-ROM
　―ドライブがないとき 76
　―の内容 13

F
FUJITSU XL-5xxx ダイアログボックス........ 55

L
LAN 接続 78
LPR 印刷
　Windows NT3.51 環境でのプリンタ共有 82

N
N-up 印刷 40
NetWare
　―環境でのプリンタ共有 83
　―サーバ側の設定 85
　―プロトコルの設定項目 84

P
Plug & Play によるインストール 16
Printia XL ドライバ 7
　―のインストール 76
Printianavi 5
　―印刷 80
　―インストーラ 14
　―エラーメッセージ一覧 88
　―ステータス一覧 94
　―ダイアログ 43
　―トラブルシューティング 95
　―ネットワーク設定ユーティリティ 8
　―ネットワークポートモニタ 10
　―ネットワーク連携ユーティリティ 7
　―を有効にする 43

U
User Defined Size 57

W
Windows 3.1
　プリンタドライバのインストール 50
Windows 95
　―環境でのプリンタ共有 80
　プリンタドライバのインストール 16
Windows NT3.51
　―環境でのプリンタ共有（LPR 印刷）.... 82
　プリンタドライバのインストール 70
Windows NT4.0
　―環境でのプリンタ共有 80
　プリンタドライバのインストール 60

X
XL ドライバディスク作成...................... 10

ア
アクロバットリーダー 11
アプリケーションソフトから印刷 47

イ
イメージサイズの調整 38
印刷
　―先のポート 34
　―終了のメッセージ通知 43
　―中のステータス表示 43
　―の設定 55
　―の向き 57
　アプリケーションソフトから印刷........ 47

印字テスト 33
インストーラ 14
インストール 50, 60, 70
　―の概要 3
　Plug & Play によるインストール 16
　Printia XL ドライバのインストール 76
　通常のインストール 21
　プリンタドライバのインストール 16, 50, 60, 70

エ

エラーメッセージ一覧 88

オ

置き換え
　新しいドライバに置き換えるとき 26, 64
オプション
　―ダイアログ 45, 57

カ

解除
　プリンタポートの解除 35
解像度 41, 55
かんたんバーコード Lite 11

キ

給紙方法 38, 56
共有
　NetWare 環境でのプリンタ共有 83
　Windows NT3.51 環境でのプリンタ共有（LPR 印刷） 82
　Windows NT4.0 または Windows 95 環境でのプリンタ共有 80

ク

区切りページ 33
クライアント
　―パソコンの設定 81
グラフィックスダイアログ 41

コ

コメント 32

サ

サーバ側の設定
　NetWare サーバ側の設定 85
削除
　ポートの削除 34
作成
　XL ドライバディスク作成 10

シ

縮小 58
出力用紙の選択 37
詳細ダイアログ 34
情報ダイアログ 32

ス

ステータス
　―ウィンドウ 39
　―ウィンドウアイコン一覧 87
　―表示 38
　印刷中のステータス表示 43
　――覧 94
スプールの設定 36
スムージング 58
　―する 45

セ

設定
　―画面の表示 31, 55
　―項目の詳細 32
　印刷の設定 55
　クライアントパソコンの設定 81
　スプールの設定 36
　タイムアウト設定 35
　プリンタドライバの設定 27, 53, 65, 73
　プリントサーバとなるパソコンの設定 80
　ポートの設定 36

セントロ接続 76

ソ

双方向プリンティングシステム 5
ソフトウェアマニュアル 12

タ

ダイアログ
　オプションダイアログ 45
　オプションダイアログボックス 57
　詳細ダイアログ 34
　情報ダイアログ 32
　用紙ダイアログ 37
　レイアウトダイアログ 40
　FUJITSU XL-5xxx ダイアログボックス 55
　Printianavi ダイアログ 43
　グラフィックスダイアログ 41
タイムアウト設定 35

ツ

追加
　ドライバの追加 35
　ポートの追加 34

テ

ディザリング 42, 57
テスト
　印字テスト 33

ト

トナーセーブ 58
　―する 45
ドライバ
　―の追加 35
　新しいドライバに置き換えるとき .. 26, 64
　印刷に使用するドライバ 35
トラブルシューティング 95

ネ

ネットワーク設定ユーティリティ 8
ネットワークポートモニタ 10
ネットワーク連携ユーティリティ 7

ノ

濃度 42

ハ

バージョン
　―情報 39
白紙ページの扱い 46

ヒ

表示
　設定画面の表示 31, 55
標準に戻す 39, 40, 42, 46

フ

部数 38
プリンタ LAN ポート
　―の TCP/IP 動作環境設定 78
　―の機能概要 9
プリンタドライバ
　―の設定 27, 53, 65, 73
プリンタポート
　―の解除 35
　―の割り当て 35
プリンティアナビ 5
プリントサーバ
　―となるパソコンの設定 80
　―のプロパティ 69
フルページバンディングする 45
プロトコル
　NetWare プロトコルの設定項目 84

ヘ

ページ配置 40

ホ

ポート
　―の削除 34
　―の設定 36
　―の追加 34
　印刷先のポート 34

メ

メッセージ通知
　―先 44
　印刷終了のメッセージ通知 43

ヨ

用紙サイズ 37, 56
用紙ダイアログ 37
用紙方向 38

レ

レイアウト
　―ダイアログ 40
　―枠を付ける 40

ページプリンタ　XL-5510
取扱説明書
B1WY-0351-01-01
発行日　　1998年5月
発行責任　富士通株式会社
Printed in Japan

●本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。
●本書は、改善のため予告なし変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU